

国立ハンセン病資料館御中

ハンセン病問題に関するインターネット調査 (一般対象)

2026年2月

公益社団法人日本広報協会

目次

調査概要	P3
調査項目	P4
回答者プロフィール	P5
単純集計(GT)結果	P11
クロス集計結果	P31
【属性別】【セグメント別】【設問間クロス】	
FA傾向まとめ	P93

調査概要

調査目的	ハンセン病問題に関する学習経験、知識、意識などを把握し、ハンセン病問題の啓発・教育の効果や課題を分析し、今後の啓発・教育施策を検討するための基礎データを得る。
調査課題	<ul style="list-style-type: none"> ① ハンセン病問題に関する学校や職場などでの「学習経験」「学習内容」や、接触（認知）経験、関与（行動）経験などを聴取する ② ハンセン病問題やハンセン病元患者等に関する知識・意識等と、学習経験や接触（認知）経験、関与（行動）経験との相関性を分析する ③ ハンセン病問題に関して「知識度が高い層」に対し、何がその要因になったのかを分析する ④ ハンセン病問題をはじめとする人権に係る偏見・差別を解消するための方策を聴取する ⑤ ハンセン病問題に関する知識度とともに、人権問題に対する意識度や情報リテラシー度を聴取し、各層の傾向を分析する ⑥ ハンセン病資料館のウェブサイトを開覧してもらい、資料館そのものの認知を広めるとともに、より効果的な情報発信方法や、資料館の充実に向けた意見を聴取する
調査手法	ネットリサーチ
対象者条件	<p>【性別】 男性、女性</p> <p>【年齢】 10代～60代以上</p> <p>【地域】 全国</p>
回収数	本調査：10,000サンプル
割付	年代（16-19歳/20代/30代/40代/50代/60歳以上）×性別（男性/女性）×居住47都道府県 計564割付
調査期間	2025年11月7日（金）～11月13日（木）
調査機関	調査設計・分析：公益社団法人日本広報協会 ネット調査：株式会社ネオマーケティング

調査項目

- Q1 日頃の人権意識 SA
- Q2 意識している人権問題 MA
- Q3 ハンセン病問題の学習経験 MA
- Q4 ハンセン病問題の学び方 MA
- Q5 ハンセン病問題を見聞きした経験 MA
- Q6 ハンセン病問題を知らうとしたり、行動したりした経験 MA
- Q7 ハンセン病問題に関して知っているもの、見聞きしたことがあるもの MA
- Q8 ハンセン病患者(元患者)や家族に対する考え SAMT
- Q9 人権に係る偏見・差別を解消するための有効な方策 MA
- Q10 人権侵害や差別だと思うこと MA
- Q11 人権が侵害されていると思った経験 SA
- Q12 人権が侵害されていると思った時の行動 MA
- Q13 人権が侵害されていると思った時に「何もしなかった」理由 MA
- Q14 自身が人権を侵害した経験 SA
- Q15 人権に対する認識や考え SAMT
- Q16 情報に関する意識・行動 MA
- Q17-1 ウェブサイトの「デザイン・レイアウト」の見やすさ SA
- Q17-2 ウェブサイトの「内容」の分かりやすさ SA
- Q17-3 ウェブサイトの「文章」の読みやすさ SA
- Q17-4 ウェブサイトの印象・感想や改善点 FA
- Q17-5 資料館の展示やサービスについての意見、要望 FA
- Q18 職業(属性) SA

SA(シングルアンサー)：単一回答

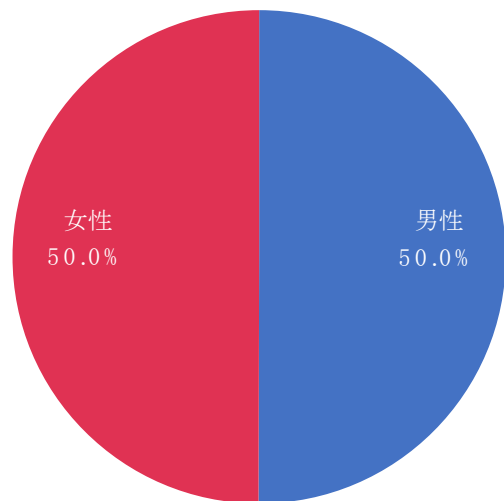
MA(マルチアンサー)：複数回答

FA(フリーアンサー)：自由回答

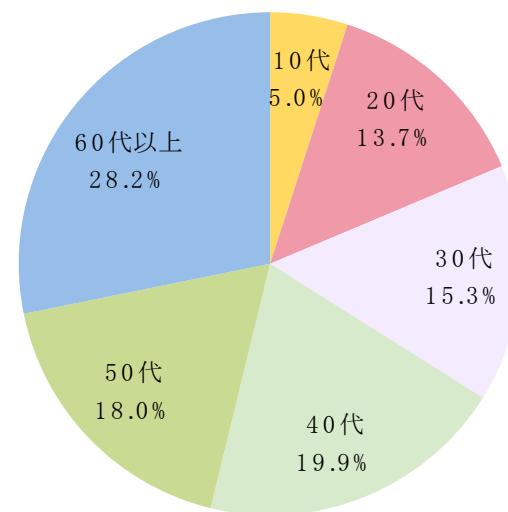
※NUM：数値回答 ※MT：マトリクス(表組)

回答者プロフィール（性別・年代）

性別(n=10,000)



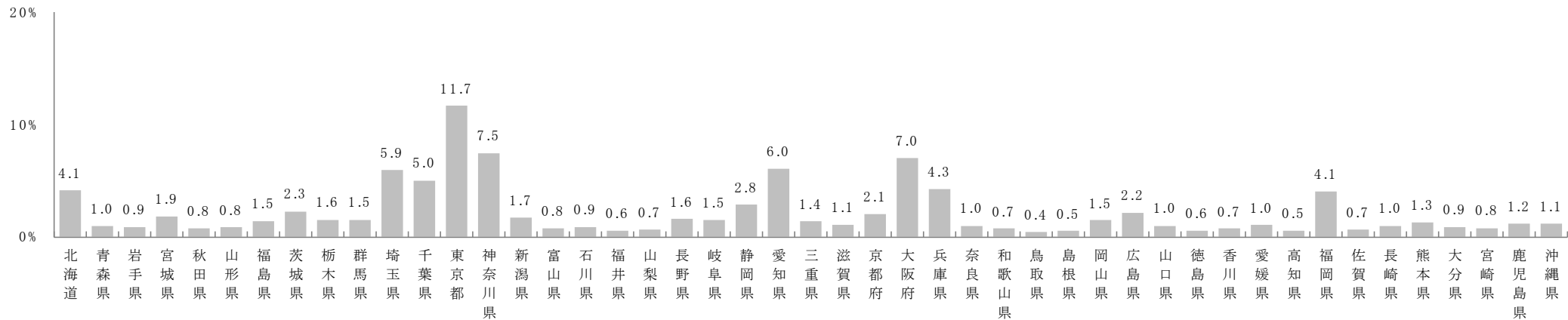
年代(n=10,000)



回答サンプルは、男女比50:50、居住地・年代（16歳～75歳）は人口構成に合わせた割付とした。

回答者プロフィール（居住地域）

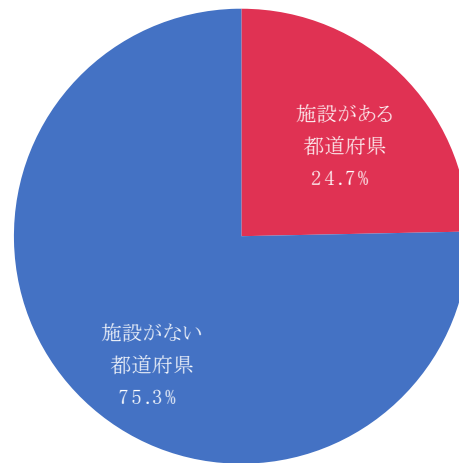
居住地域：都道府県別(n=10,000)



居住地域：ハンセン病施設有無別(n=10,000)

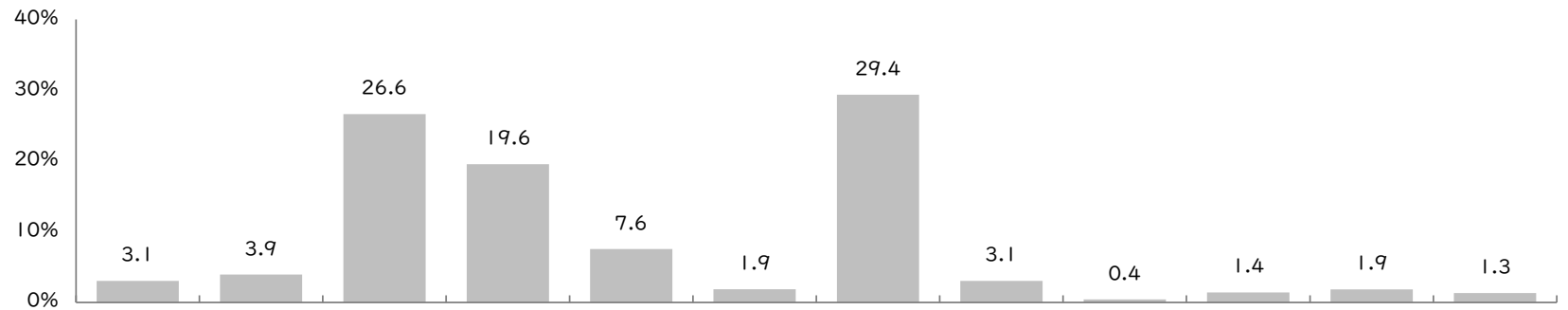
施設がある都道府県

青森県、宮城県、群馬県、東京都、静岡県、
岡山県、香川県、熊本県、鹿児島県、沖縄県



回答者プロフィール（職業）

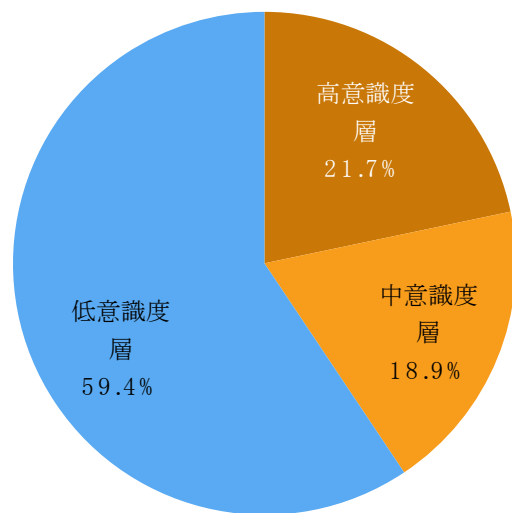
職業(n=10,000)



		公務員 (公的団体職員を含む)	雇用者 (会社役員、管理職等)	正規の被雇用者 (会社員等)	非正規の被雇用者 (契約・派遣・パート・アルバイト等)	自営業・自由業	家族従業者・家業手伝い	無職 (主婦・主夫を含む)	高校生	専門学校生	大学生 (理系)	大学生 (文系)	その他
合計		3.1	3.9	26.6	19.6	7.6	1.9	29.4	3.1	0.4	1.4	1.9	1.3
性別	男性	4.2	6.5	35.1	14.1	10.4	0.6	21.1	3.0	0.4	1.6	1.6	1.5
	女性	1.9	1.4	18.1	25.0	4.7	3.2	37.6	3.1	0.4	1.2	2.1	1.2
年代	10代	0.6	0.4	1.6	2.4	-	0.8	3.0	59.6	5.8	10.6	14.1	1.0
	20代	5.3	3.9	36.5	16.8	3.7	1.1	18.7	0.4	0.5	5.3	7.0	0.9
	30代	4.6	3.8	40.0	22.6	6.0	1.4	19.6	-	0.1	0.5	0.5	0.8
	40代	3.1	4.6	35.9	22.1	8.7	1.9	22.3	0.1	0.2	0.1	0.3	0.8
	50代	3.3	4.9	31.8	20.2	9.6	1.7	27.2	0.1	-	0.1	0.2	0.8
	60代以上	1.3	3.5	9.2	20.1	9.5	2.7	50.9	-	0.0	0.1	0.1	2.6

回答者プロフィール（人権意識度）

人権意識度(n=10,000)



人権問題に日頃から関心があり、人権侵害への感度が高い

- ・高意識度層：上記意識が高い

Q1で「いつも意識している」または「ときどき意識している」を選択し、かつQ11で「大いにある」または「少しはある」を選択した者

- ・中意識度層：上記意識が中程度

Q1で「いつも意識している」または「ときどき意識している」を選択し、かつQ11で「あまりない」または「まったくない」を選択した者

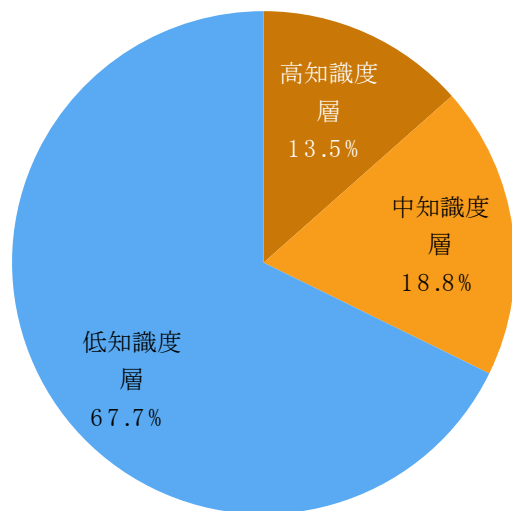
- ・低意識度層：上記意識が低い

Q1で「あまり意識していない」または「まったく意識していない」を選択した者

		高意識度層	中意識度層	低意識度層
全体		21.7	18.9	59.4
性別	男性	22.3	19.6	58.1
	女性	21.1	18.2	60.6
年代	10代	26.7	27.1	46.2
	20代	25.2	17.0	57.8
	30代	21.7	14.7	63.6
	40代	22.5	16.8	60.6
	50代	21.1	16.4	62.4
	60代以上	18.9	23.8	57.3
居住地のハンセン病施設有無	施設あり_計	23.5	19.3	57.2
	施設なし_計	21.1	18.8	60.1

回答者プロフィール（ハンセン病問題知識度）

ハンセン病問題知識度(n=10,000)



		高知識度層	中知識度層	低知識度層
全体		13.5	18.8	67.7
性別	男性	13.3	18.3	68.4
	女性	13.6	19.3	67.1
年代	10代	7.6	16.1	76.3
	20代	5.5	12.9	81.6
	30代	7.5	13.6	78.9
	40代	10.3	15.3	74.4
	50代	15.1	18.9	65.9
	60代以上	22.8	27.3	49.9
居住地のハンセン病施設有無	施設あり_計	14.6	21.0	64.4
	施設なし_計	13.1	18.1	68.8

ハンセン病問題に関し、幅広く正しい知識を持つ

- ・高知識度層：上記知識が高い

Q7の選択肢（「知っているもの、見聞きしたことがあるものはない」を除く）の中から6個以上を選択した者

- ・中知識度層：上記知識が中程度

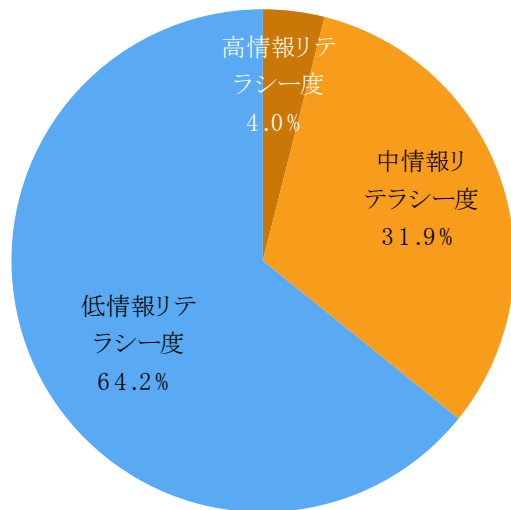
Q7の選択肢（「知っているもの、見聞きしたことがあるものはない」を除く）の中から3～5個を選択した者

- ・低知識度層：上記知識が低い

Q7の選択肢の中から2個以下または「知っているもの、見聞きしたことがあるものはない」を選択した者

回答者プロフィール（情報リテラシー度）

情報リテラシー度(n=10,000)



		高情報リテラシー度	中情報リテラシー度	低情報リテラシー度
全体		4.0	31.9	64.2
性別	男性	5.0	31.3	63.6
	女性	2.9	32.4	64.8
年代	10代	4.0	27.5	68.5
	20代	2.0	22.2	75.7
	30代	3.0	22.7	74.3
	40代	3.6	25.2	71.3
	50代	3.5	33.2	63.3
	60代以上	5.9	46.1	48.0
居住地のハンセン病施設有無	施設あり_計	3.9	33.2	62.9
	施設なし_計	4.0	31.4	64.6

さまざまな情報を適切に収集、理解し、活用できる能力を持つ

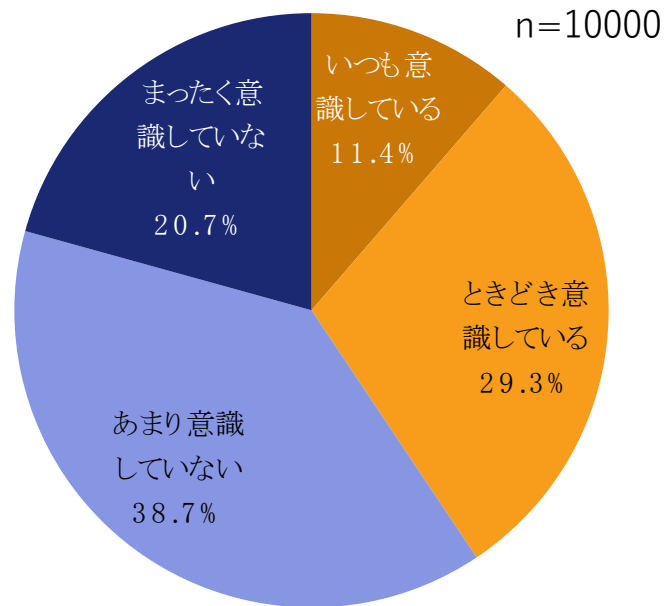
- ・高情報リテラシー層：上記能力が高い
Q16の選択肢（「特にない」を除く）の中から7個以上を選択した者
- ・中情報リテラシー層：上記能力が中程度
Q16の選択肢（「特にない」を除く）の中から3～6個を選択した者
- ・低情報リテラシー層：上記能力が低い
Q16の選択肢の中から2個以下または「特にない」を選択した者

単純集計 (GT) 結果

日頃の人権意識

Q1 あなたは日頃、人権を意識しながら生活していますか。 (SA)

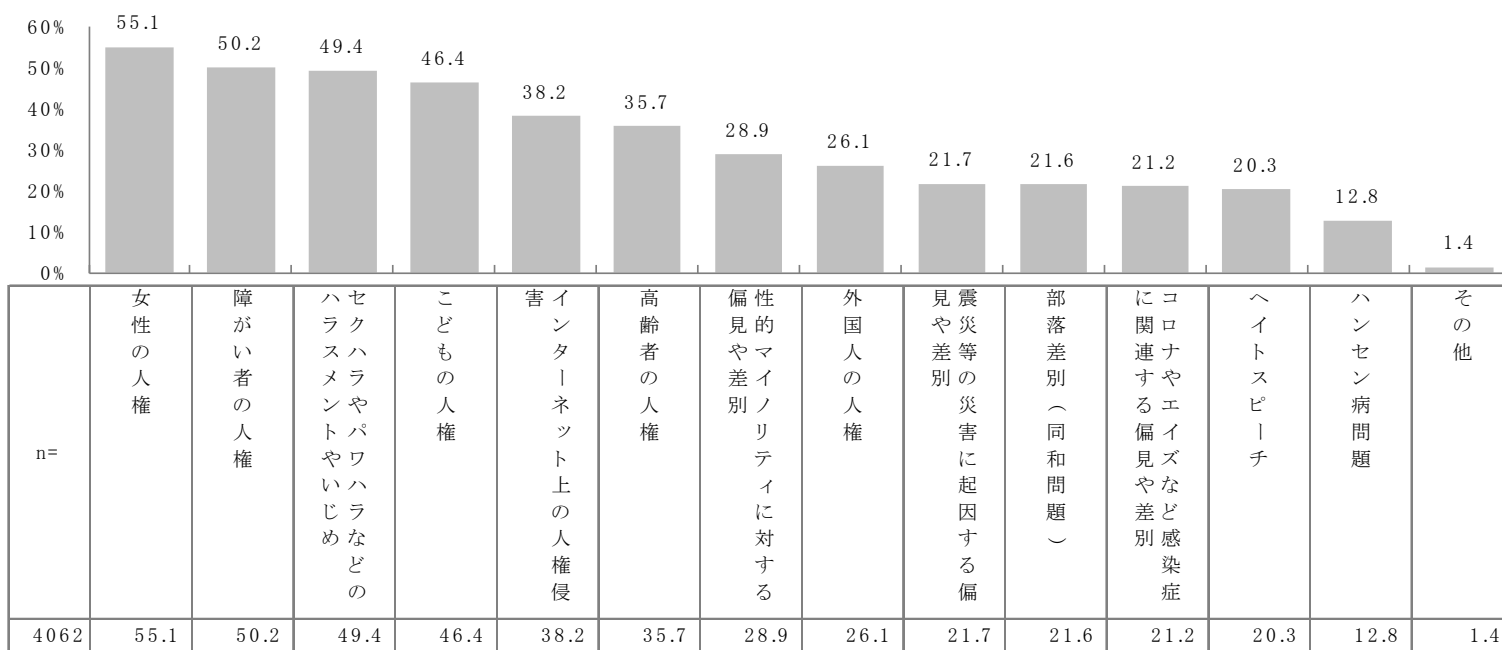
- 「いつも意識している」は、11.4%。「ときどき意識している」(29.3%)を合計すると40.6%。
- 「まったく意識していない」は、20.7%。「あまり意識していない」(38.7%)を合計すると59.4%。



意識している人権問題

Q2 あなたが意識している人権問題はどれですか。 (MA)

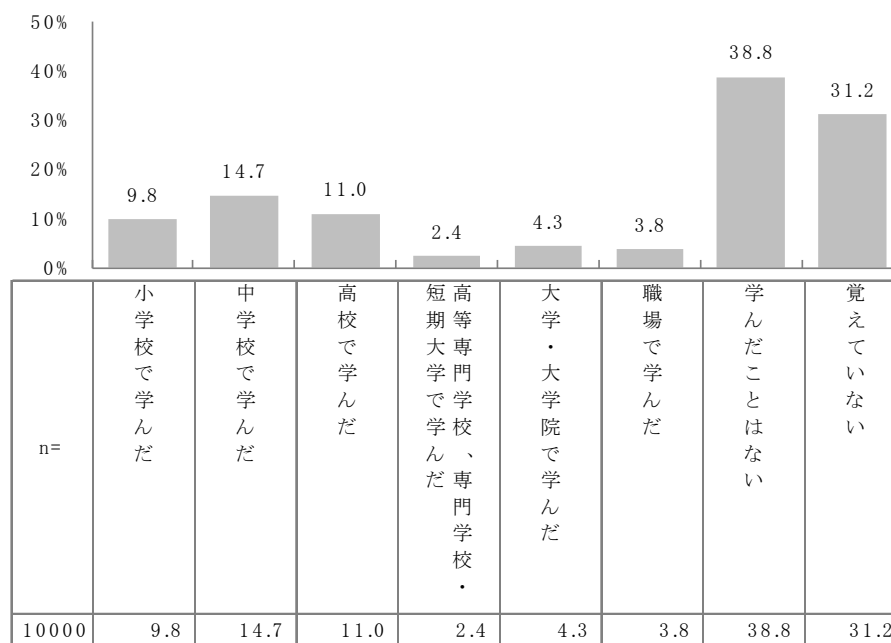
- 最も高いのは、「女性の人権」(55.1%)。次いで「障がい者の人権」(50.2%)、「セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ」(49.4%)、「こどもの人権」(46.4%)と続く。
- 「ハンセン病問題」(12.8%)は、選択肢の中では最も低い。



ハンセン病問題の学習経験

Q3 あなたは、学校や職場でハンセン病問題について学んだことがありますか。（「学んだことはない」「覚えていない」を除き、いくつでも）（MA）

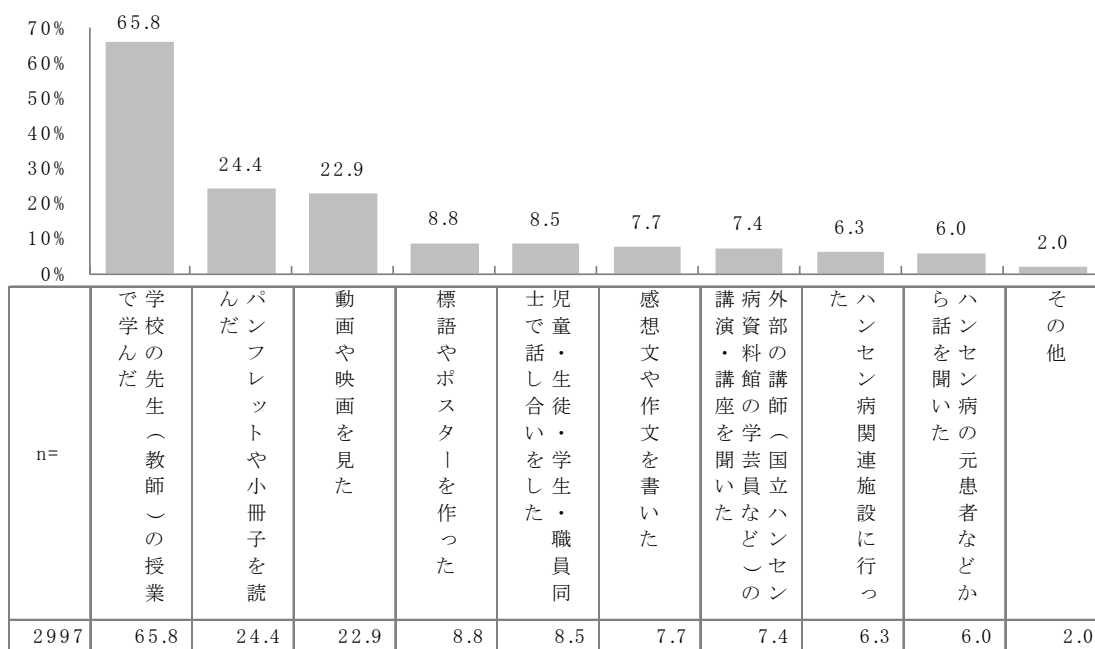
- 最も高いのは、「中学校で学んだ」（14.7%）。次いで「高校で学んだ」（11.0%）、「小学校で学んだ」（9.8%）と続く。
- 「学んだことはない」は、38.8%。「覚えていない」は、31.2%。



ハンセン病問題の学び方

Q4 学校や職場でハンセン病問題について学んだと回答した方にお伺いします。あなたは、どのようにハンセン病問題のことを学びましたか。
(MA)

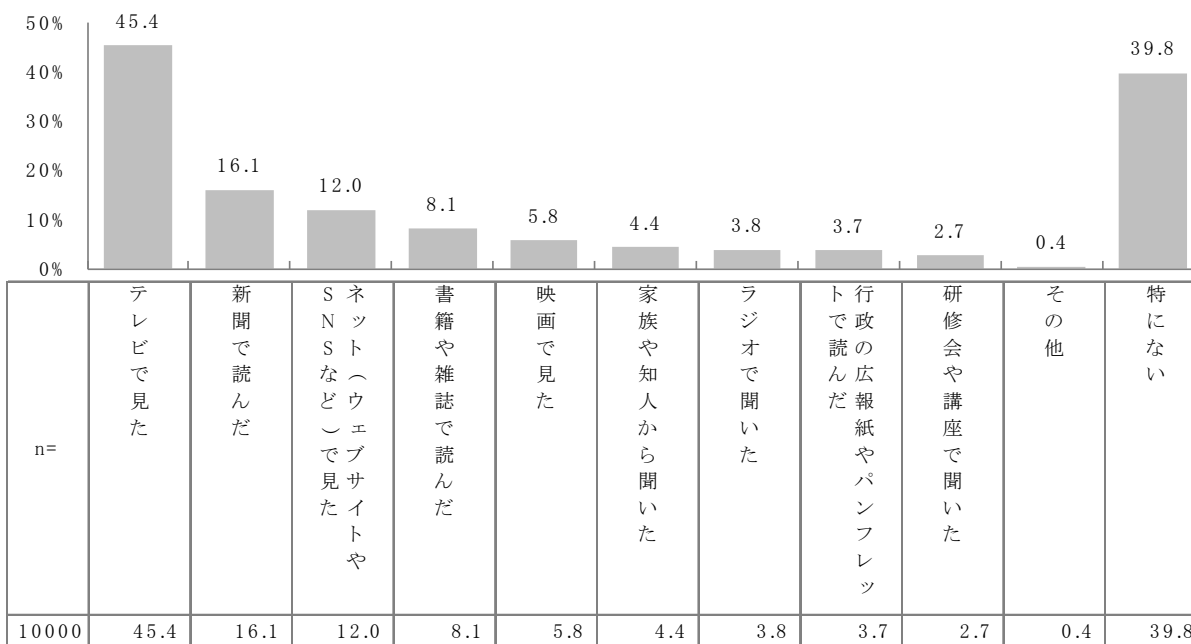
- 最も高いのは、「学校の先生(教師)の授業で学んだ」(65.8%)。次いで「パンフレットや小冊子を読んだ」(24.4%)、「動画や映画を見た」(22.9%)と続く。
- 「標語やポスターを作った」「児童・生徒・学生・職員同士で話し合いをした」「感想文や作文を書いた」など、児童・生徒等の創作や議論による学び経験は、7~8%台。
- 「ハンセン病関連施設に行った」「ハンセン病の元患者などから話を聞いた」は、6%台。



ハンセン病問題を見聞きしたもの

Q5 あなたは、学校・職場での人権学習以外で、ハンセン病問題のことを見聞きしたことがありますか。（「特にない」を除き、いくつでも）
 (MA)

- 最も高いのは、「テレビで見た」(45.4%)。次いで「新聞で読んだ」(16.1%)、「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で見た」(12.0%)、「書籍や雑誌で読んだ」(8.1%)と続く。
- 「特にない」は、39.8%。



*値は以下の割合
 「あてはまる」

ハンセン病問題について知ろうとしたり、行動したりした経験

Q6 あなたは、学校や職場での人権学習以外で、ハンセン病問題について自ら知ろうとしたり、行動したりしたことがありますか。（「特にない」を除き、いくつでも）（MA）

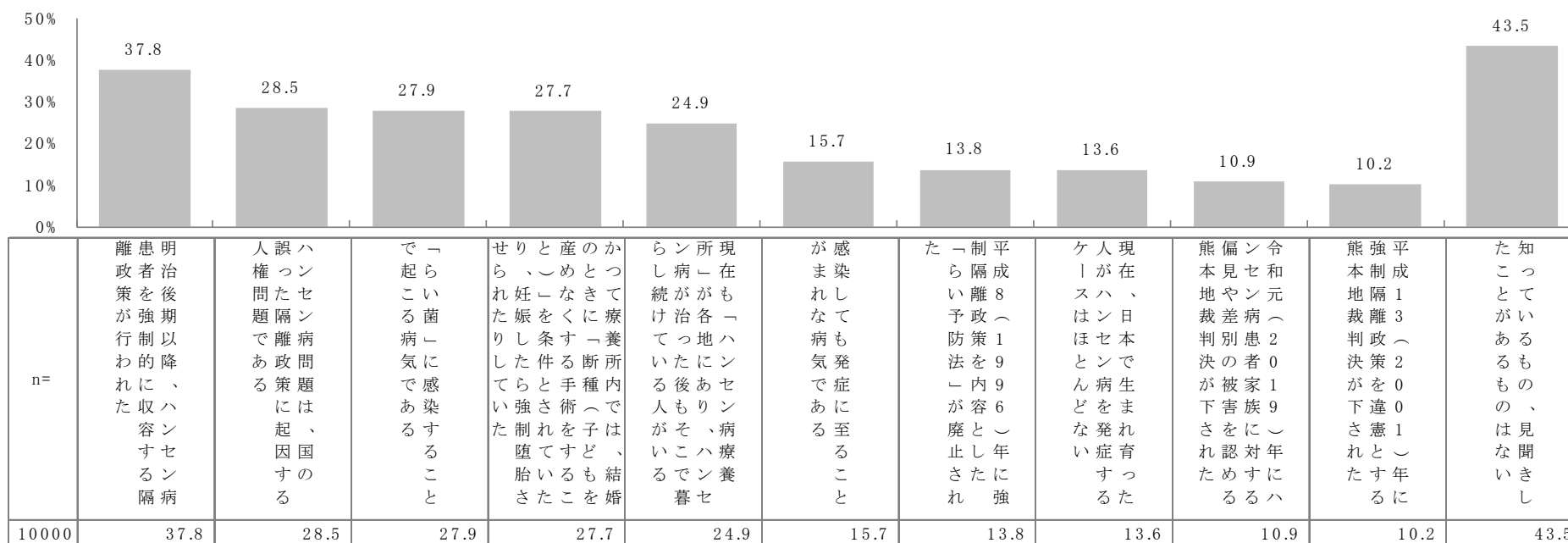
- 最も高いのは、「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた」(11.4%)。次いで「書籍などを読んだ」(7.3%)、「動画や映画を見た」(7.3%)、「家族や知人と話題にした」(4.8%)と続く。
- 「特にない」は、75.1%。



ハンセン病問題に関して知っているもの、見聞きしたことがあるもの

Q7 ハンセン病(問題)に関する以下の記述のうち、あなたが知っているもの、見聞きしたことがあるものはどれですか。(「知っているもの、見聞きしたことがあるものはない」を除き、いくつでも) (MA)

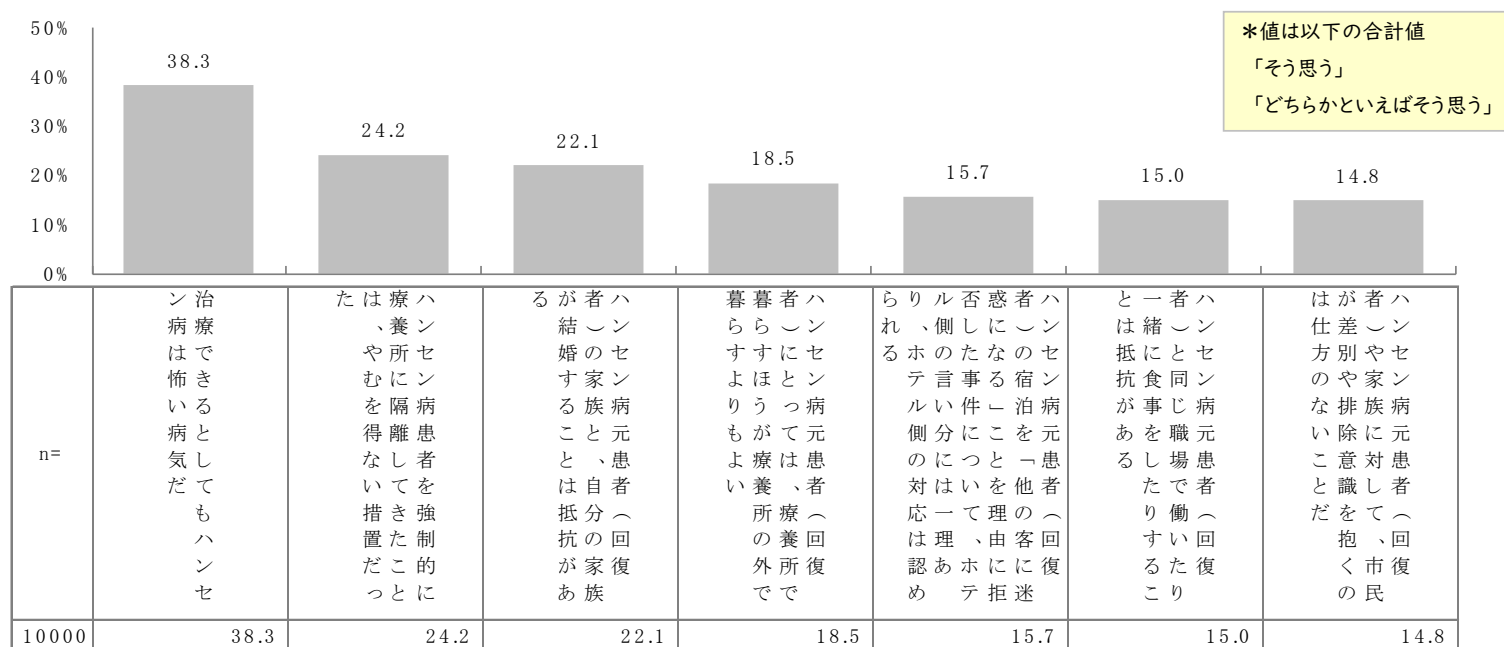
- 最も高いのは、「明治後期以降、ハンセン病患者を強制的に収容する隔離政策が行われた」(37.8%)。次いで「ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する人権問題である」(28.5%)、「らい菌に感染することで起こる病気である」(27.9%)、「かつて療養所内では、結婚のときに断種を条件とされていたり、妊娠したら強制堕胎させられたりしていた」(27.7%)、「現在もハンセン病療養所が各地にあり、ハンセン病が治った後もそこで暮らし続けている人がいる」(24.9%)と続く。
- 「知っているもの、見聞きしたことがあるものはない」は、43.5%。



ハンセン病患者(元患者)や家族に対する考え

Q8 ハンセン病患者(元患者)や家族に対する以下のような考え方について、あなたはどのように思いますか。 (SA)

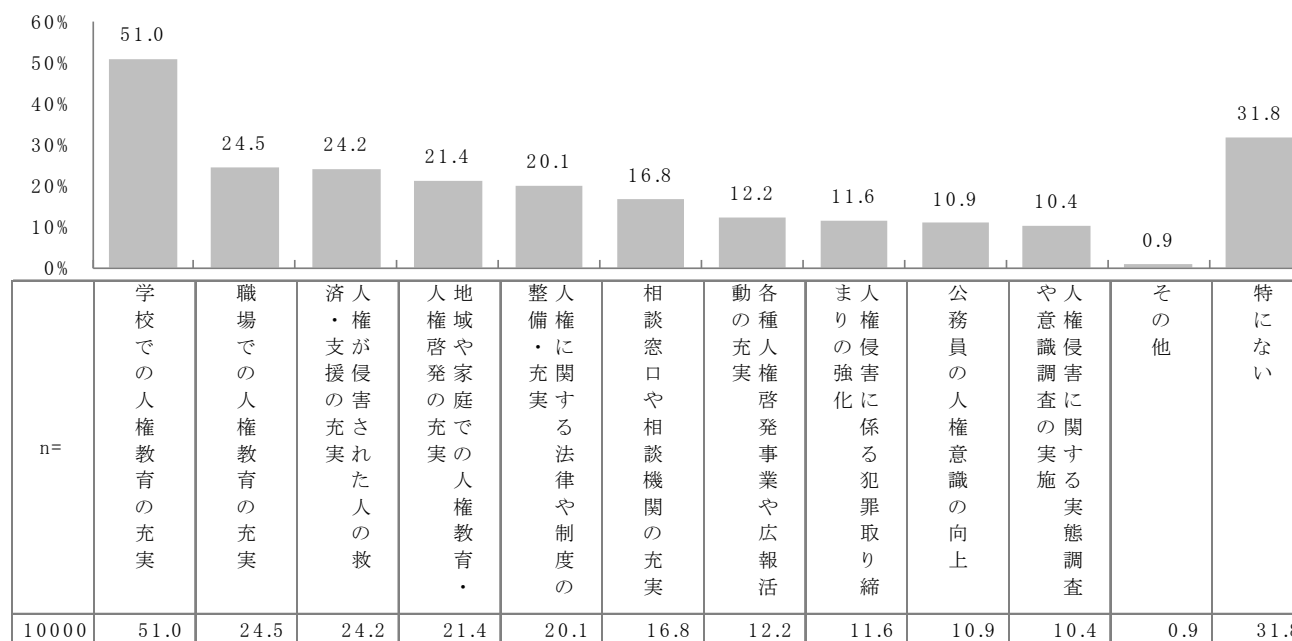
- 最も高いのは、「治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ」(38.3%)。次いで「ハンセン病患者を強制的に療養所に隔離してきたことは、やむを得ない措置だった」(24.2%)、「ハンセン病元患者(回復者)の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある」(22.1%)、「ハンセン病元患者(回復者)にとっては、療養所で暮らすほうが療養所の外で暮らすよりもよい」(18.5%)と続く。



人権に係る偏見・差別を解消するための有効な方策

Q9 あなたは、ハンセン病問題をはじめとする人権に係る偏見・差別を解消するためには、どのような方策が有効だと思いますか。(最大5つまで選択可) (MA)

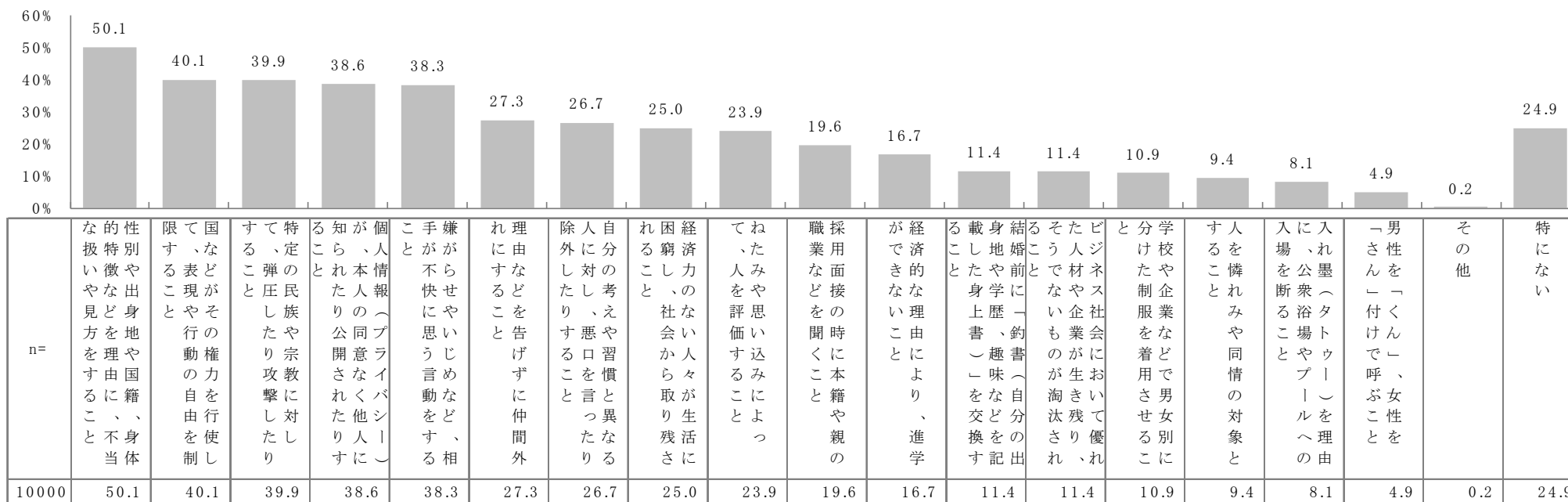
- 最も高いのは、「学校での人権教育の充実」(51.0%)。次いで「職場での人権教育の充実」(24.5%)、「人権が侵害された人の救済・支援の充実」(24.2%)、「地域や家庭での人権教育・人権啓発の充実」(21.4%)、「人権に関する法律や制度の整備・充実」(20.1%)と続く。
- 「特にない」は、31.8%。



人権侵害や差別だと思うこと

Q10 あなたが、人権侵害や差別だと思うことはどれですか。（「特にない」を除き、いくつでも）（MA）

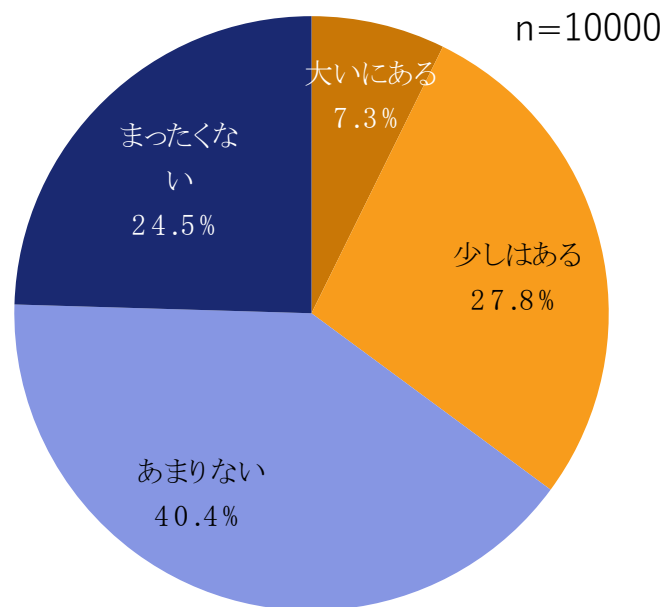
- 最も高いのは、「性別や出身地や国籍、身体的特徴などを理由に、不当な扱いや見方をすること」(50.1%)。次いで「国などがその権力を行使して、表現や行動の自由を制限すること」(40.1%)、「特定の民族や宗教に対して、弾圧したり攻撃したりすること」(39.9%)、「特定の民族や宗教に対して、弾圧したり攻撃したりすること」(39.9%)、「個人情報が、本人の同意なく他人に知られたり公開されたりすること」(38.6%)、「嫌がらせやいじめなど、相手が不快に思う言動をすること」(38.3%)と続く。
- 「特にない」は、24.9%。



人権が侵害されていると思った経験

Q11 あなたは、あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことはありますか。 (SA)

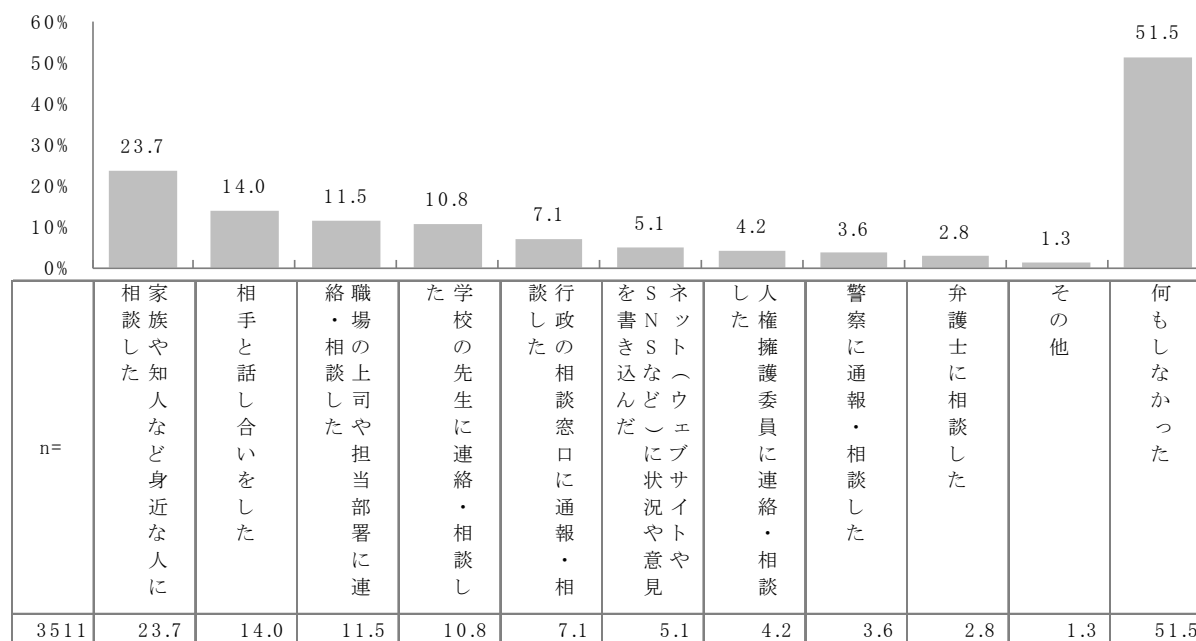
- 「大いにある」は7.3%。「少しはある」(27.8%)を合計すると35.1%。
- 「まったくない」は、24.5%。「あまりない」(40.4%)を合計すると64.9%。



人権が侵害されていると思った時の行動

Q12 あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことがあると回答した方にお伺いします。あなたは、その時にどうしましたか。(「何もしなかった」を除き、いくつでも) (MA)

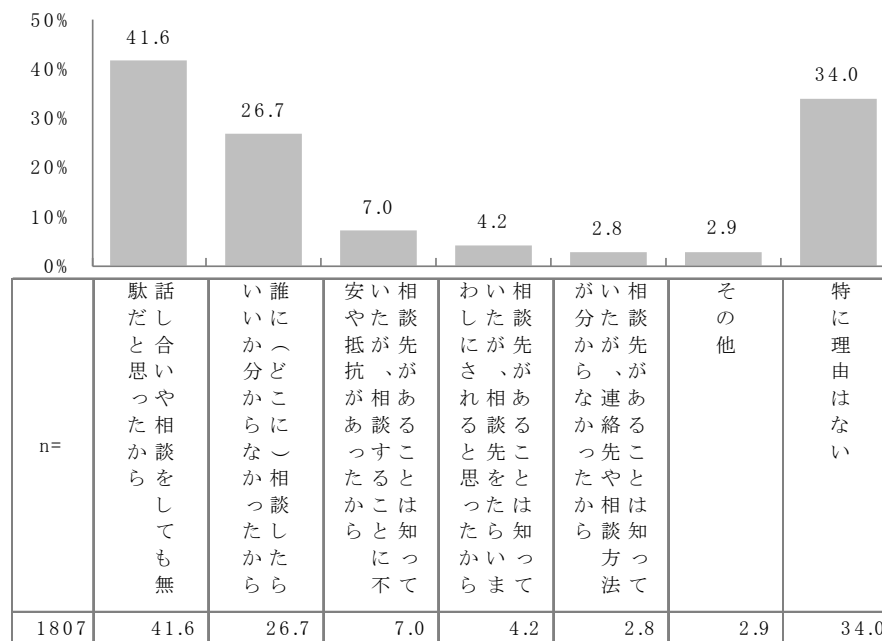
- 最も高いのは、「家族や知人など身近な人に相談した」(23.7%)。次いで「相手と話し合いをした」(14.0%)、「職場の上司や担当部署に連絡・相談した」(11.5%)、「学校の先生に連絡・相談した」(10.8%)と続く。
- 「何もしなかった」は、51.5%。



人権が侵害されていると思った時に「何もしなかった」理由

Q13 あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことがあるが、それに対して「何もしなかった」と回答した方にお伺いします。それはどうしてですか。(「特に理由はない」を除き、いくつでも) (MA)

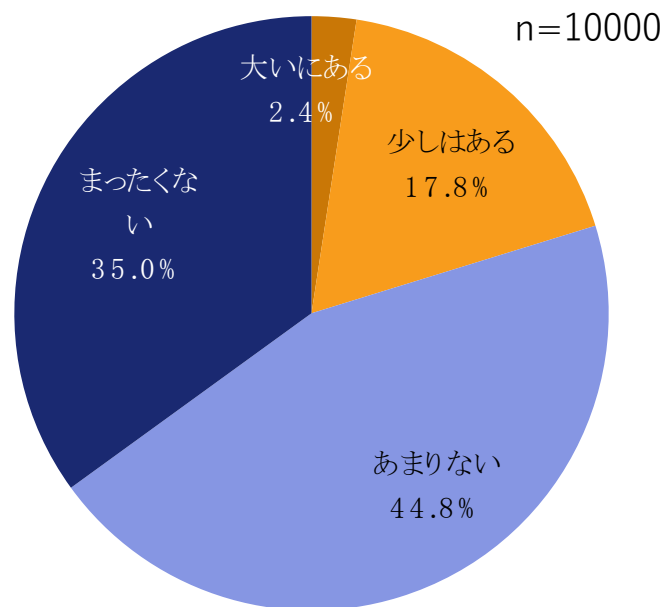
- 最も高いのは、「話し合いや相談をしても無駄だと思ったから」(41.6%)。次いで「誰に(どこに)相談したらいいか分からなかったから」(26.7%)と続く。
- 「相談先があることは知っていた」が、「相談することに不安や抵抗があったから」「相談先をたらいまわしにされると思ったから」「連絡先や相談方法が分からなかったから」は、2.8%~7.0%。
- 「特に理由はない」は、34.0%。



自身が人権を侵害した経験

Q14 あなたは、あなた自身が誰かの人権を侵害していたと思うことはありますか。 (SA)

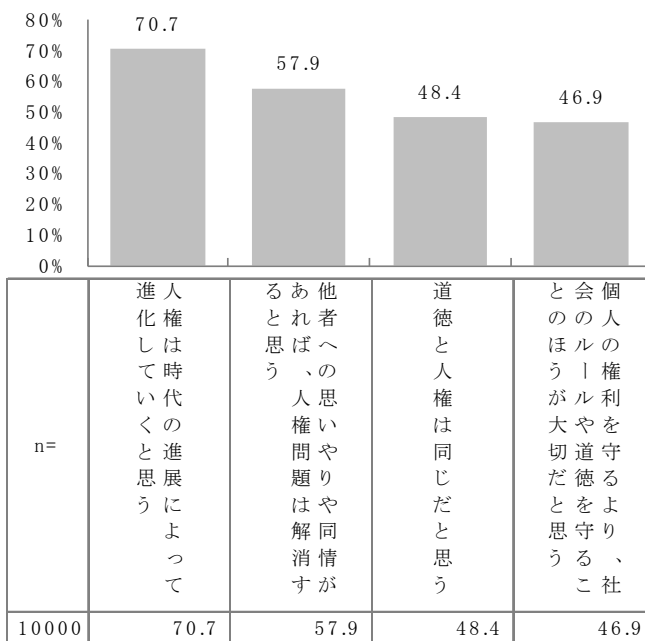
- 「大いにある」は2.4%、「少しはある」(17.8%)を合計すると20.2%。
- 「まったくない」は、35.0%。「あまりない」(44.8%)を合計すると79.8%。



人権に対する認識や考え

Q15 以下の項目について、あなた自身の認識や考えにあてはまると思うものはありますか。 (SA)

- 最も高いのは、「人権は時代の進展によって進化していくと思う」(70.7%)。次いで「他者への思いやりや同情があれば、人権問題は解消すると思う」(57.9%)、「道徳と人権は同じだと思う」(48.4%)、「個人の権利を守るより、社会のルールや道徳を守るのほうが大切だと思う」(46.9%)と続く。

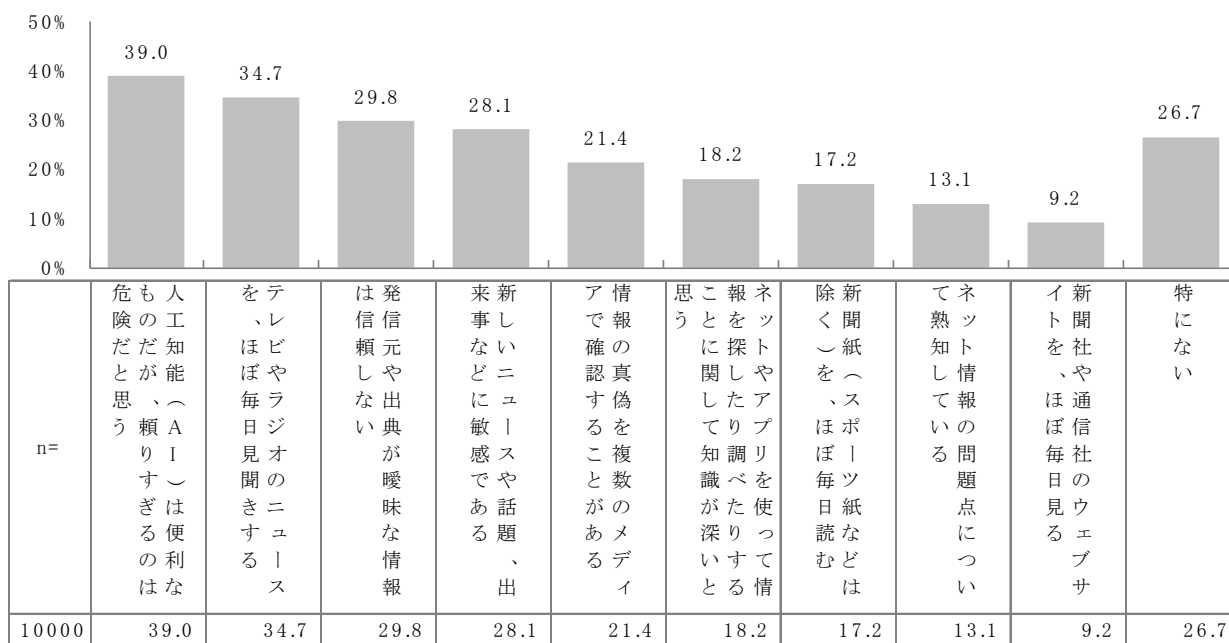


*値は以下の割合
「あてはまる」

情報に関する意識・行動

Q16 あなた自身について、あてはまると思う項目はどれですか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

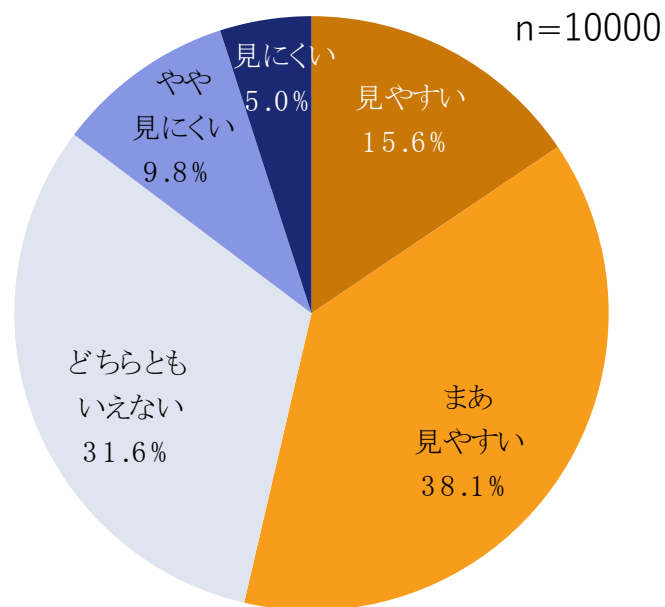
- 最も高いのは、「人工知能(AI)は便利なものだが、頼りすぎるのは危険だと思う」(39.0%)。次いで「テレビやラジオのニュースを、ほぼ毎日見聞きする」(34.7%)、「発信元や出典が曖昧な情報は信頼しない」(29.8%)、「新しいニュースや話題、出来事などに敏感である」(28.1%)と続く。
- 「特にない」は、26.7%。



ウェブサイトの「デザイン・レイアウト」の見やすさ

Q17_1 国立ハンセン病資料館ウェブサイトの「デザイン・レイアウト」は、見やすかったですか。 (SA)

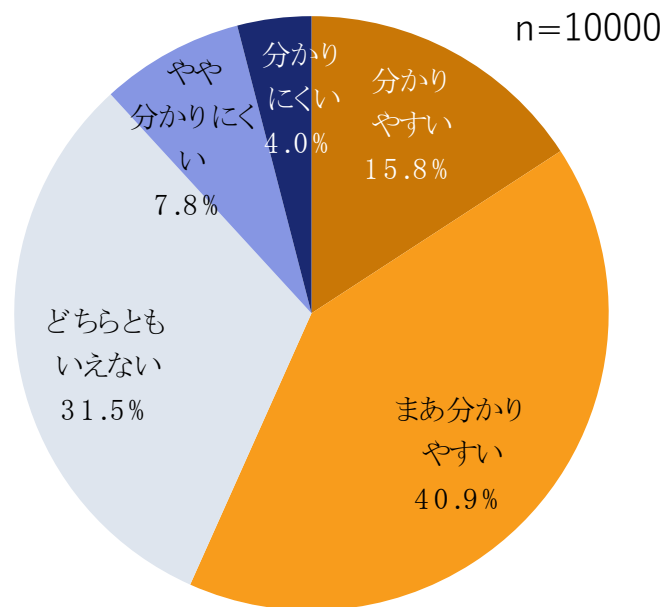
- 「見やすい」は、15.6%。「まあ見やすい」(38.1%)を合計すると53.6%。
- 「見にくい」は、5.0%。「やや見にくい」(9.8%)を合計すると14.8%。



ウェブサイトの「内容」の分かりやすさ

Q17_2 国立ハンセン病資料館ウェブサイトの「内容」は、分かりやすかったですか。 (SA)

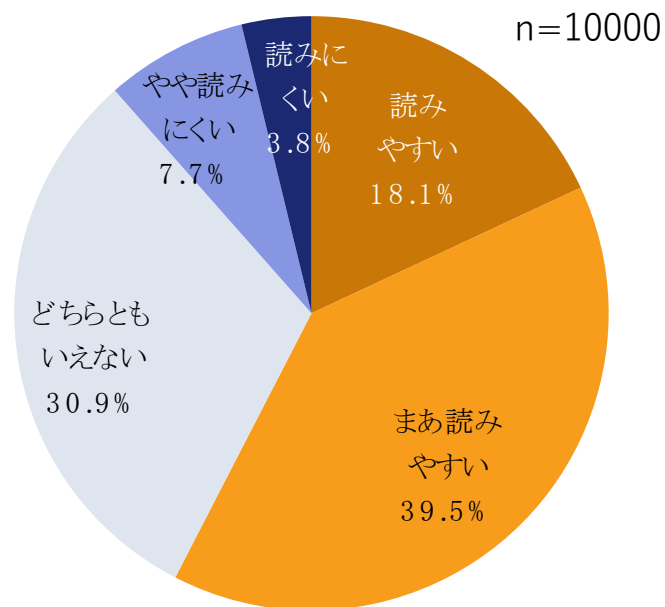
- 「分かりやすい」は、15.8%、「まあ分かりやすい」(40.9%)を合計すると56.7%。
- 「分かりにくい」は、4.0%。「やや分かりにくい」(7.8%)を合計すると11.8%。



ウェブサイトの「文章」の読みやすさ

Q17_3 国立ハンセン病資料館ウェブサイトの「文章」は、読みやすかったですか。 (SA)

- 「読みやすい」は、18.1%。「まあ読みやすい」(39.5%)を合計すると57.6%。
- 「読みにくい」は、3.8%。「やや読みにくい」(7.7%)を合計すると11.5%。



クロス集計結果

【属性別】 性別、年代別、職業別、居住地別（ハンセン病施設有無別）

【セグメント別】 人権意識度別、ハンセン病問題知識度別、
情報リテラシー度別

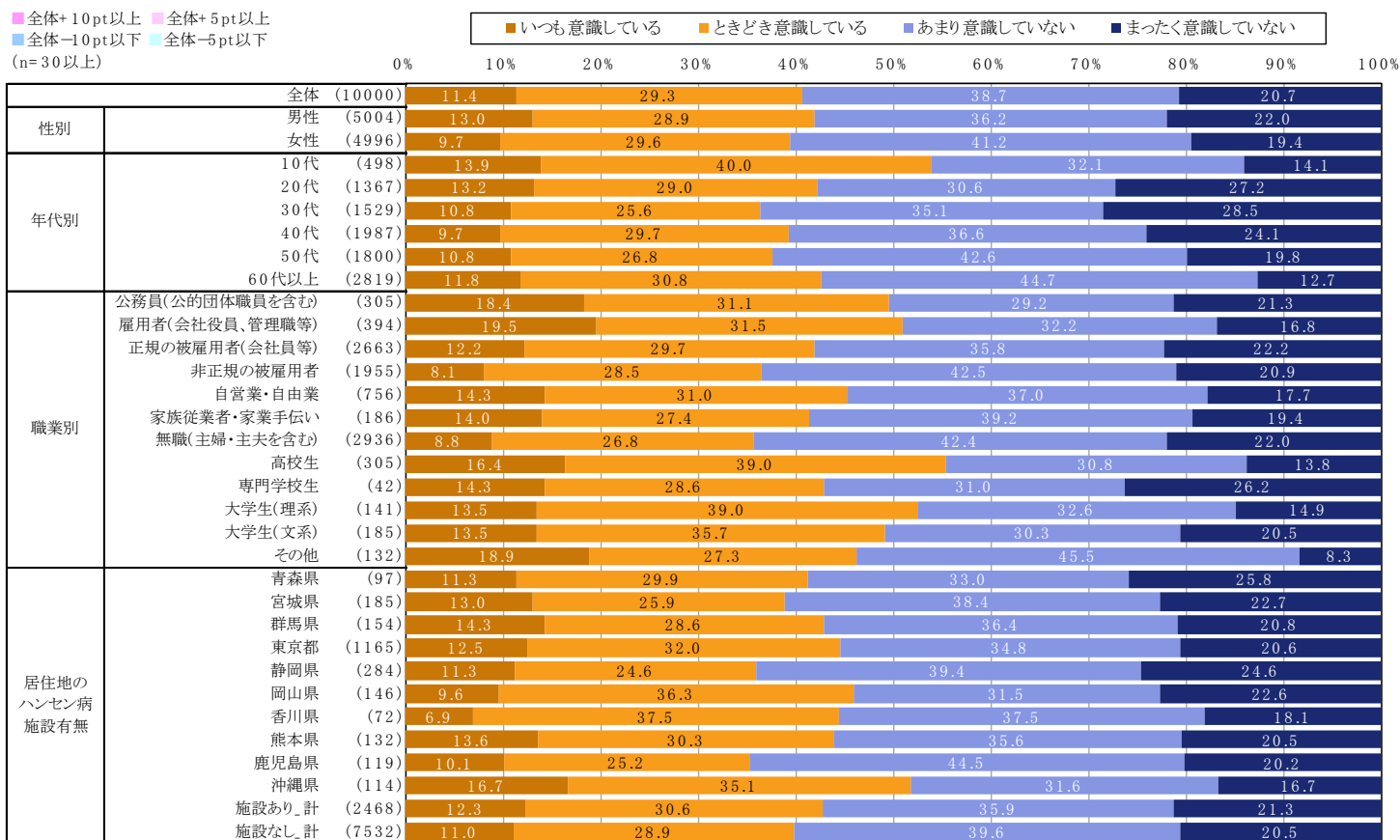
【設問間クロス】

※回答者(n)の母数が少ないものは、コメントの対象外にしています

日頃の人権意識【属性別】

Q1 あなたは日頃、人権を意識しながら生活していますか。 (SA)

- 年代別で見ると、「10代」は「意識している(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 職業別で見ると、「雇用者(会社役員、管理職等)」、「高校生」「大学生(理系)」は「意識している(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無で見ると、「沖縄県」は「意識している(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。



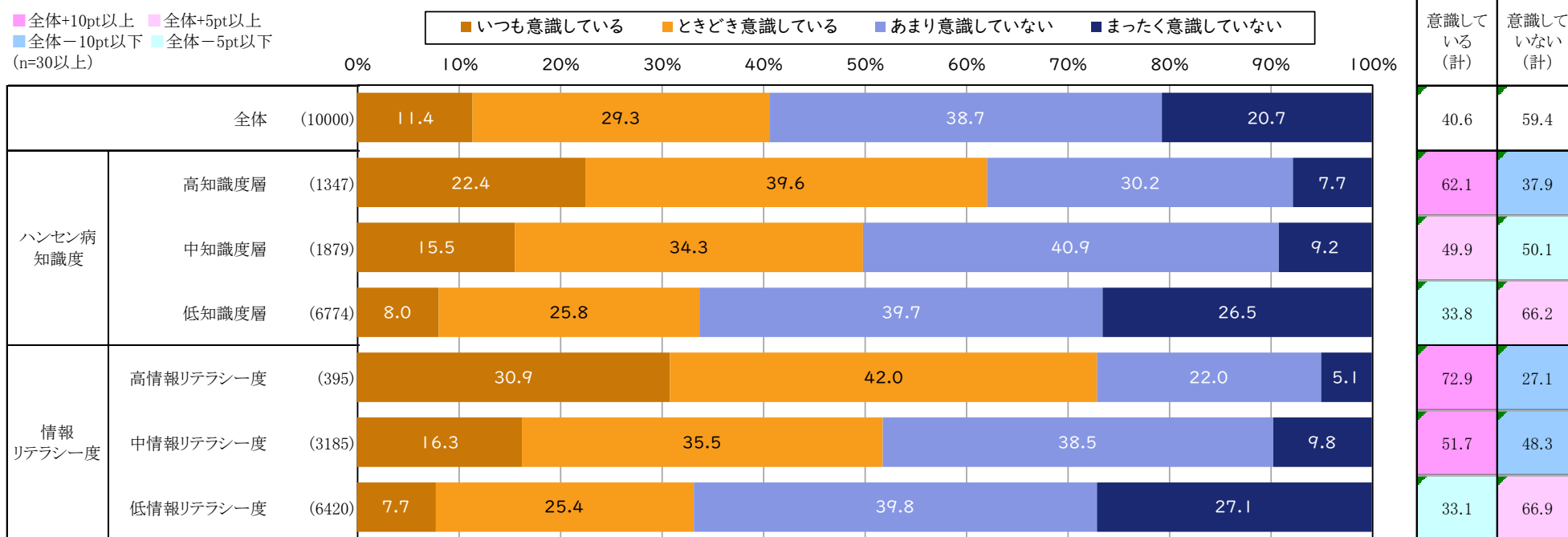
意識している(計)	意識していない(計)
40.6	59.4
41.9	58.1
39.4	60.6
53.8	46.2
42.2	57.8
36.4	63.6
39.4	60.6
37.6	62.4
42.7	57.3
49.5	50.5
51.0	49.0
41.9	58.1
36.6	63.4
45.2	54.8
41.4	58.6
35.6	64.4
55.4	44.6
42.9	57.1
52.5	47.5
49.2	50.8
46.2	53.8
41.2	58.8
38.9	61.1
42.9	57.1
44.5	55.5
35.9	64.1
45.9	54.1
44.4	55.6
43.9	56.1
35.3	64.7
51.8	48.2
42.8	57.2
39.9	60.1

2%未満の数値ラベルは非表示

日頃の人権意識【セグメント別】

Q1 あなたは日頃、人権を意識しながら生活していますか。 (SA)

- ハンセン病知識度別でみると、「高知識度層」は「意識している(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別でみると、「高情報リテラシー度層」「中情報リテラシー度層」は「意識している(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。

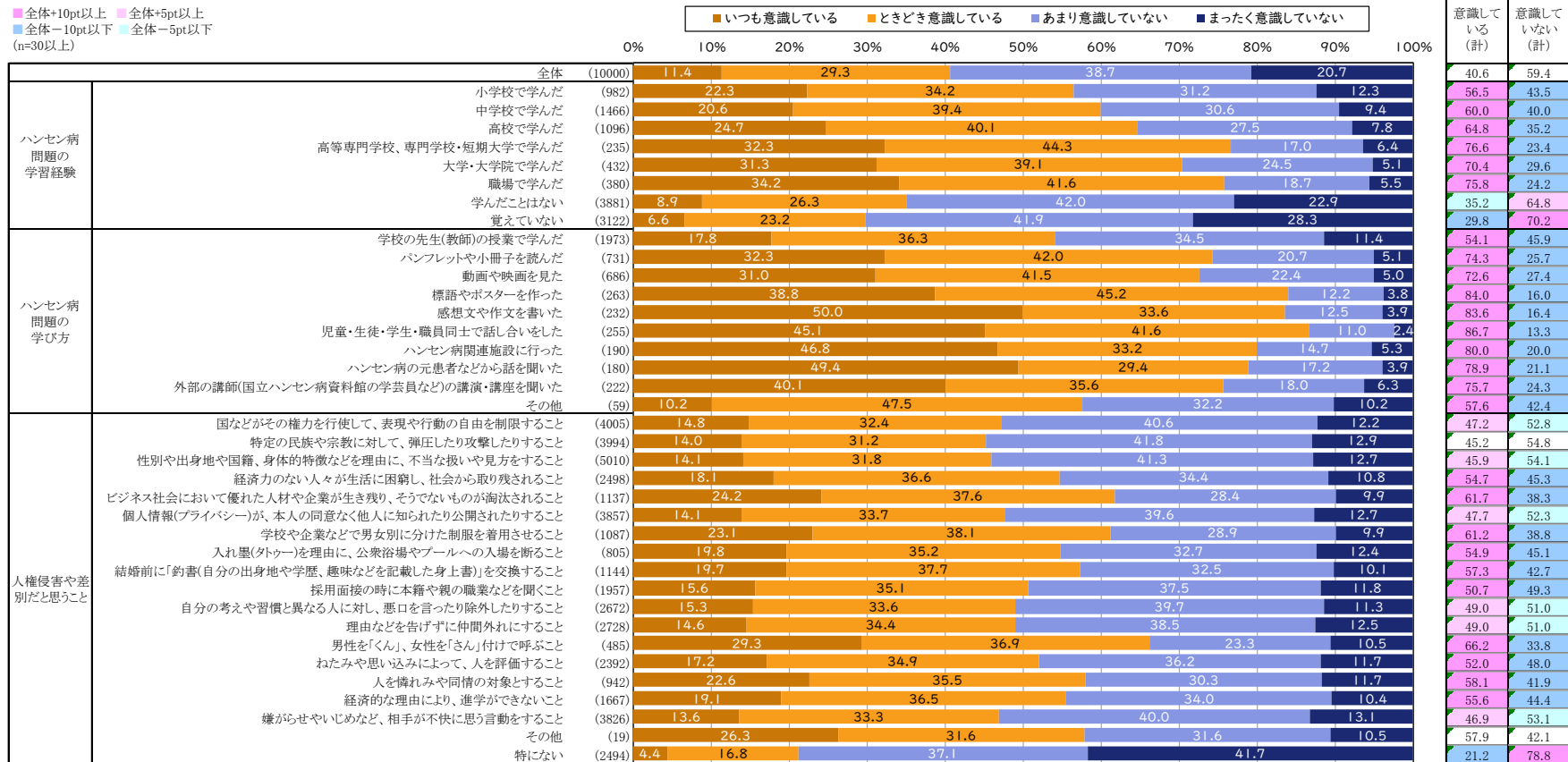


2%未満の数値ラベルは非表示

日頃の人権意識【設問間クロス】Q1×Q3、Q4、Q10

Q1 あなたは日頃、人権を意識しながら生活していますか。 (SA)

- ハンセン病問題の学習経験別で見ると、「高等専門学校、専門学校・短期大学」「大学・大学院」「職場で学んだ」は「意識している(計)」の割合が7割以上と特に高い。一方、「覚えていない」「学んだことはない」層は「意識している」割合が、それぞれ3割未満、4割未満と低い。
- ハンセン病問題の学び方別で見ると、「標語やポスターを作った」「感想文や作文を書いた」「児童・生徒・学生・職員同士で話し合いをした」「ハンセン病関連施設に行った」は「意識している(計)」の割合が8割以上と特に高い。

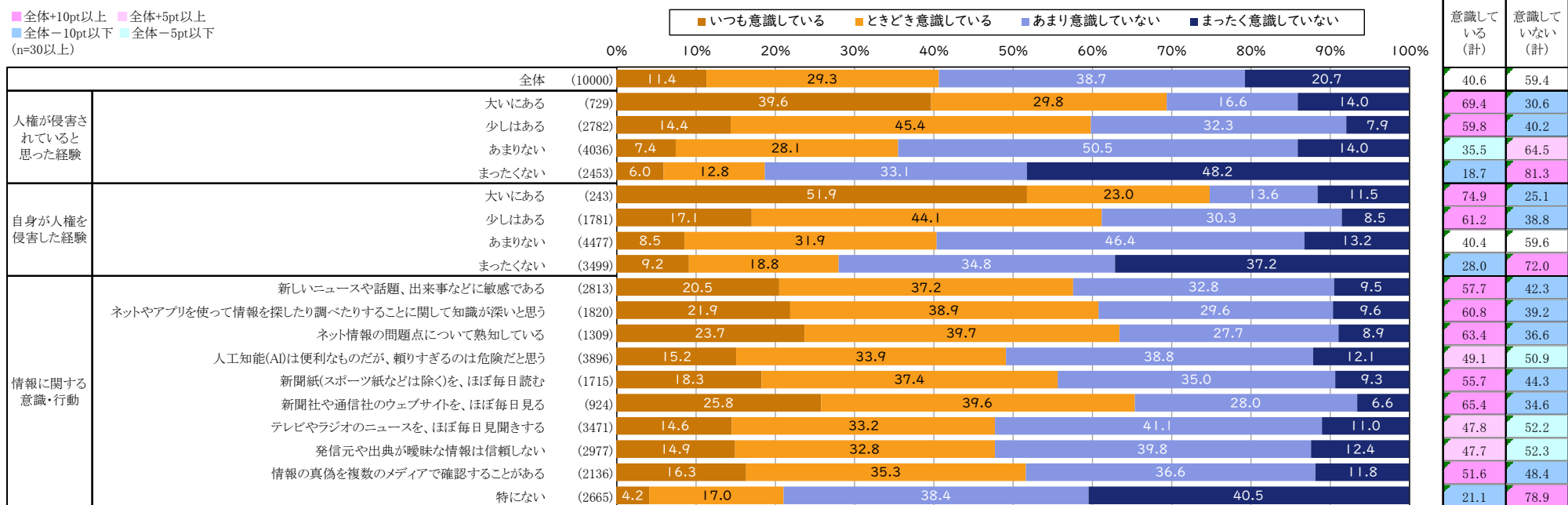


2%未満の数値ラベルは非表示

日頃の人権意識【設問間クロス】Q1×Q11、Q14、Q16

Q1 あなたは日頃、人権を意識しながら生活していますか。 (SA)

- 人権が侵害されていると思った経験別でみると、「大いにある」「少しはある」層は「意識している(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 自身が人権を侵害した経験でみると、「大いにある」「少しはある」層は「意識している(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。「大いにある」層は「意識している(計)」の割合が74.9%で最も高い。
- 情報に関する意識・行動別でみると、「新しいニュースや話題、出来事などに敏感である」「ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに関して知識が深いと思う」「ネット情報の問題点について熟知している」「新聞紙(スポーツ紙などは除く)を、ほぼ毎日読む」「新聞社や通信社のウェブサイト、を、ほぼ毎日見る」「情報の真偽を複数のメディアで確認することがある」層は「意識している(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。

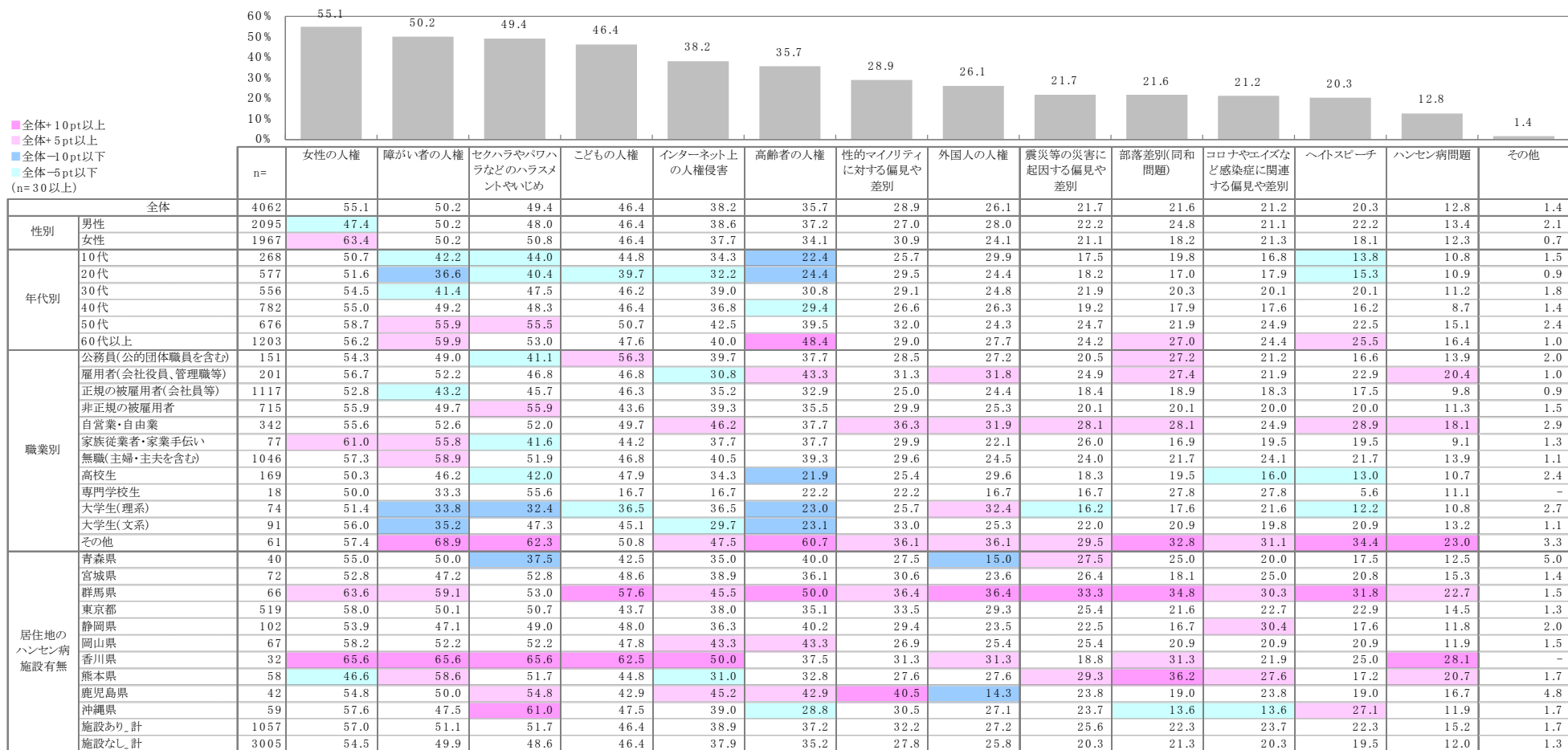


2%未満の数値ラベルは非表示

意識している人権問題 【属性別】

Q2 あなたが意識している人権問題はどれですか。 (MA)

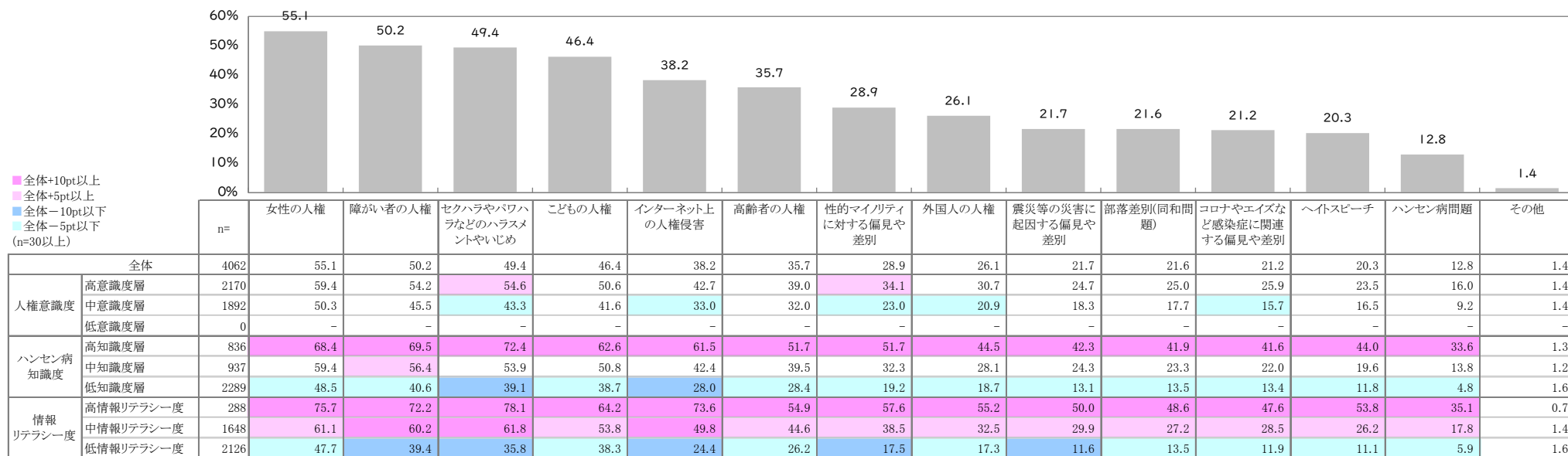
- 年代別でみると、「60代以上」は「高齢者の人権」の割合が全体よりも10p以上高い。「20代」は、「障がい者の人権」「高齢者の人権」の割合が全体より10p以上低い。



意識している人権問題【セグメント別】

Q2 あなたが意識している人権問題はどれですか。 (MA)

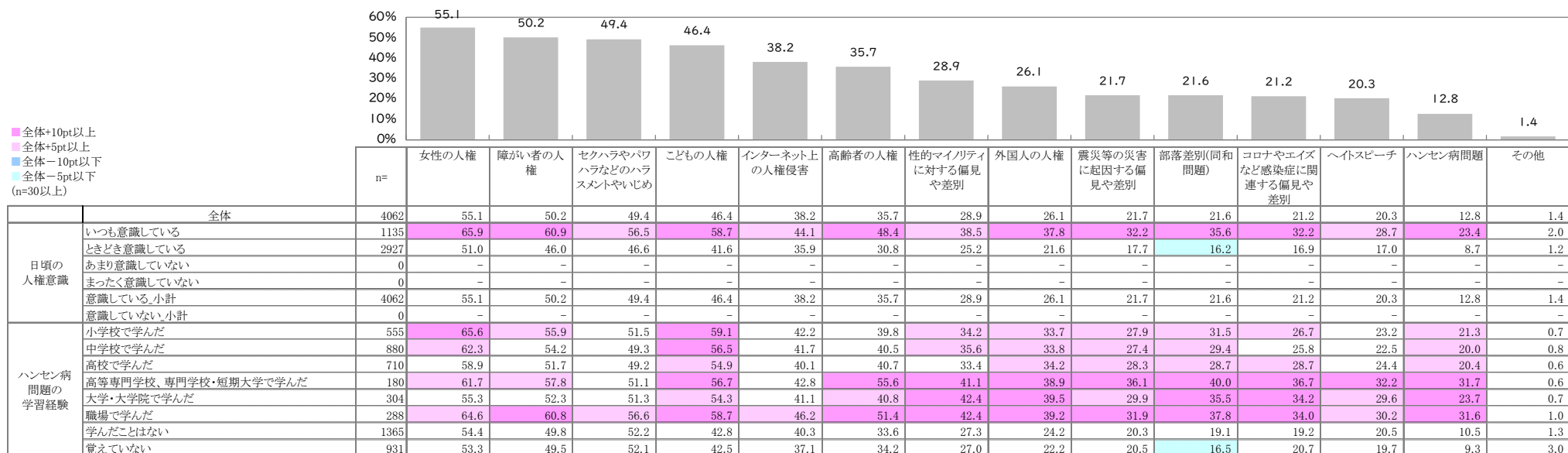
- 人権意識度別で見ると、「高意識度層」は、「セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ」「性的マイノリティに対する偏見や差別」が全体よりも5p以上高い。
- ハンセン病知識度別で見ると、「高知識度層」はすべての項目の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別で見ると、「高情報リテラシー度層」はすべての項目の割合が全体よりも10p以上高い。「中情報リテラシー度層」は「高情報リテラシー層」よりは低い傾向がみられるものの、すべての項目の割合が全体よりも高い。



意識している人権問題【設問間クロス】Q2×Q1、Q3

Q2 あなたが意識している人権問題はどれですか。 (MA)

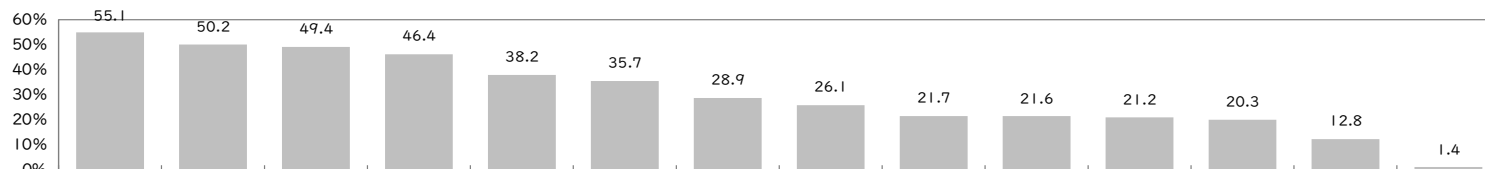
- 日頃の人権意識別でみると、「いつも意識している」層は「女性の人権」「障がい者の人権」「子どもの人権」「高齢者の人権」「外国人の人権」「震災等の災害に起因する偏見や差別」「部落差別(同和問題)」「コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別」「ハンセン病問題」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病問題の学習経験別でみると、「高等専門学校、専門学校・短期大学」「大学・大学院」「職場」で学んだ層は「ハンセン病問題」の割合が全体よりも高い。



意識している人権問題【設問間クロス】Q2×Q11、Q14、Q16

Q2 あなたが意識している人権問題はどれですか。 (MA)

- 人権が侵害されていると思った経験別でみると、「大いにある」層は「セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ」「インターネット上の人権侵害」「性的マイノリティに対する偏見や差別」「震災等の災害に起因する偏見や差別」「部落差別(同和問題)」「コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別」「ハンセン病問題」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 自身が人権を侵害した経験別でみると、「大いにある」層は「女性の人権」「性的マイノリティに対する偏見や差別」「外国人の人権」「震災等の災害に起因する偏見や差別」「部落差別(同和問題)」「コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別」「ハンセン病問題」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報に関する意識・行動別でみると、「新聞社や通信社のウェブサイト、ほぼ毎日見る」層は「ハンセン病問題」の割合が全体よりも高い。

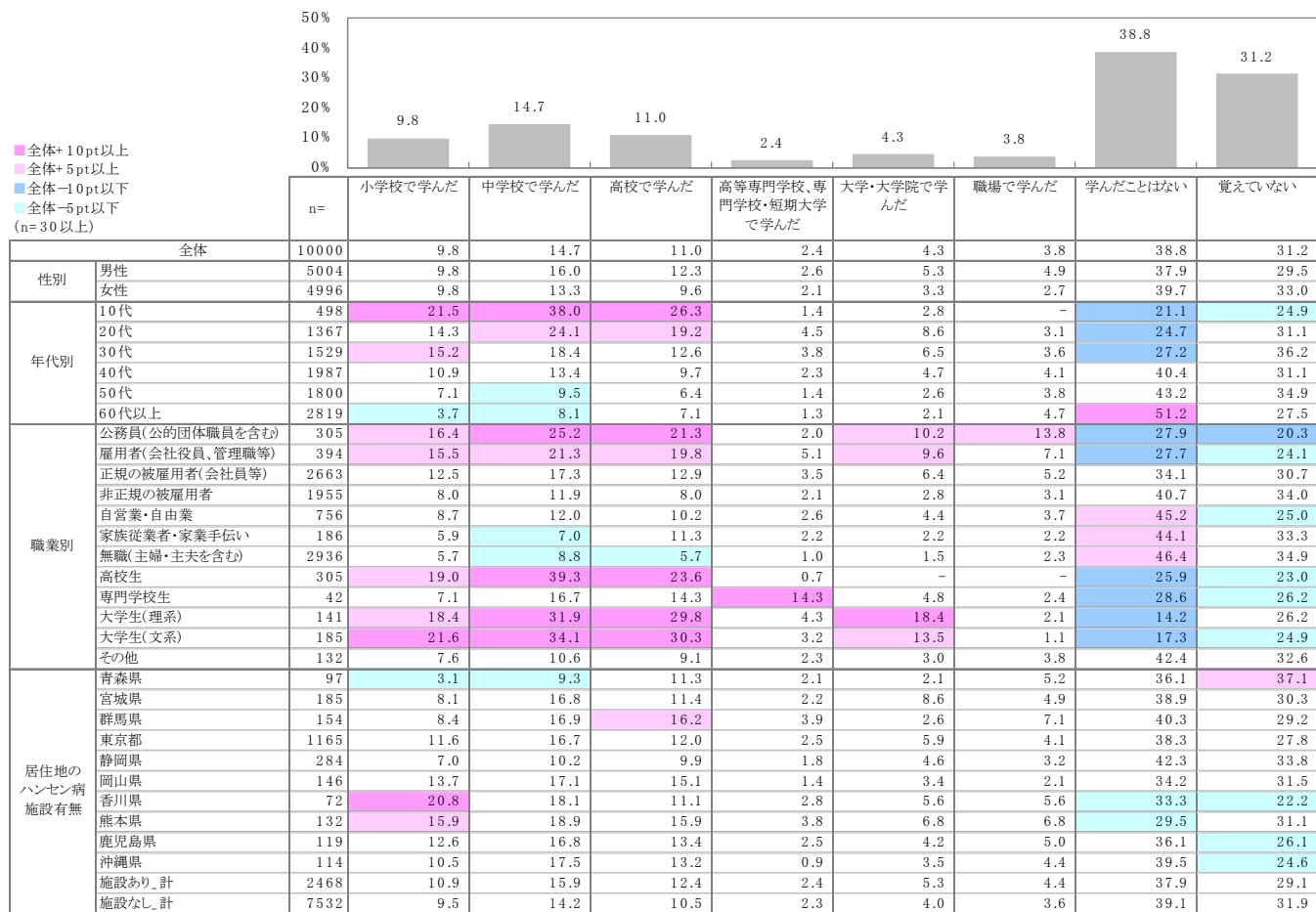


		n=	女性の人権	障がい者の人権	セクハラやパワハラなどのハラスメントやいじめ	こどもの人権	インターネット上の人権侵害	高齢者の人権	性的マイノリティに対する偏見や差別	外国人の人権	震災等の災害に起因する偏見や差別	部落差別(同和問題)	コロナやエイズなど感染症に関連する偏見や差別	ヘイトスピーチ	ハンセン病問題	その他
全体		4062	55.1	50.2	49.4	46.4	38.2	35.7	28.9	26.1	21.7	21.6	21.2	20.3	12.8	1.4
人権が侵害されていると思った経験	大いにある	506	63.8	59.3	63.0	55.1	49.6	43.3	39.7	35.2	33.0	32.8	32.4	29.6	25.3	2.4
	少しはある	1664	58.1	52.7	52.0	49.2	40.6	37.7	32.3	29.3	22.1	22.7	24.0	21.7	13.2	1.1
	あまりない	1433	51.8	46.3	44.2	42.0	35.7	31.9	23.9	22.0	18.9	18.0	16.4	17.0	9.3	1.3
	まったくない	459	45.5	42.9	40.5	40.3	24.6	32.2	20.3	17.6	16.6	16.6	13.5	14.8	8.9	2.0
自身が人権を侵害した経験	大いにある	182	65.9	59.3	52.2	56.0	45.6	45.6	42.3	41.2	36.3	39.6	39.0	30.2	33.0	1.6
	少しはある	1090	55.5	50.8	50.9	50.6	40.0	38.0	32.5	30.6	23.1	23.6	24.3	21.3	14.6	1.1
	あまりない	1809	55.6	48.8	48.3	44.9	37.8	33.5	26.4	24.4	19.7	19.3	18.4	19.0	10.6	1.2
	まったくない	981	51.9	50.4	49.0	42.7	35.6	35.5	27.0	21.6	21.1	20.2	19.6	19.6	11.2	2.1
情報に関する意識・行動	新しいニュースや話題、出来事などに敏感である	1623	65.7	61.4	57.2	55.3	47.4	44.7	37.0	34.8	30.0	29.1	28.1	27.5	19.2	1.0
	ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに知覚が深いと思う	1106	61.9	58.1	56.5	54.9	49.5	42.4	35.9	35.0	29.8	29.5	27.6	26.9	19.6	1.1
	ネット情報の問題点について熟知している	830	61.8	58.4	57.1	55.4	54.0	46.3	40.7	37.3	34.6	33.3	32.4	31.1	22.3	2.0
	人工知能(AI)は便利なものだが、頼りすぎるのは危険だと思う	1913	59.6	57.3	60.5	51.9	50.8	41.0	38.7	32.9	29.8	27.0	27.8	26.5	17.4	1.5
	新聞紙(スポーツ紙などは除く)を、ほぼ毎日読む	955	62.1	60.4	57.8	52.5	44.5	46.1	37.1	35.1	29.8	33.1	31.2	30.1	21.8	0.8
	新聞社や通信社のウェブサイト、ほぼ毎日見る	604	64.6	60.8	60.9	57.5	55.1	50.0	45.0	42.7	37.7	38.6	35.9	35.1	27.8	1.2
	テレビやラジオのニュースを、ほぼ毎日見聞きする	1660	61.6	60.8	62.8	52.5	48.1	45.2	37.8	32.9	29.4	28.3	29.3	28.7	18.3	0.8
	発信元や出典が曖昧な情報は信頼しない	1421	63.5	62.0	69.2	54.5	57.4	44.8	43.2	36.6	36.3	30.8	32.6	34.6	21.0	1.7
	情報の真偽を複数のメディアで確認することがある	1103	61.8	61.7	70.7	55.3	60.5	44.9	43.9	36.2	35.9	30.4	31.3	35.8	20.3	1.7
	特になし	563	45.6	35.0	36.2	36.4	21.1	22.7	14.4	16.0	9.9	12.1	12.8	11.9	5.2	3.0

ハンセン病問題の学習経験【属性別】

Q3 あなたは、学校や職場でハンセン病問題について学んだことがありますか。（「学んだことはない」「覚えていない」を除き、いくつでも）（MA）

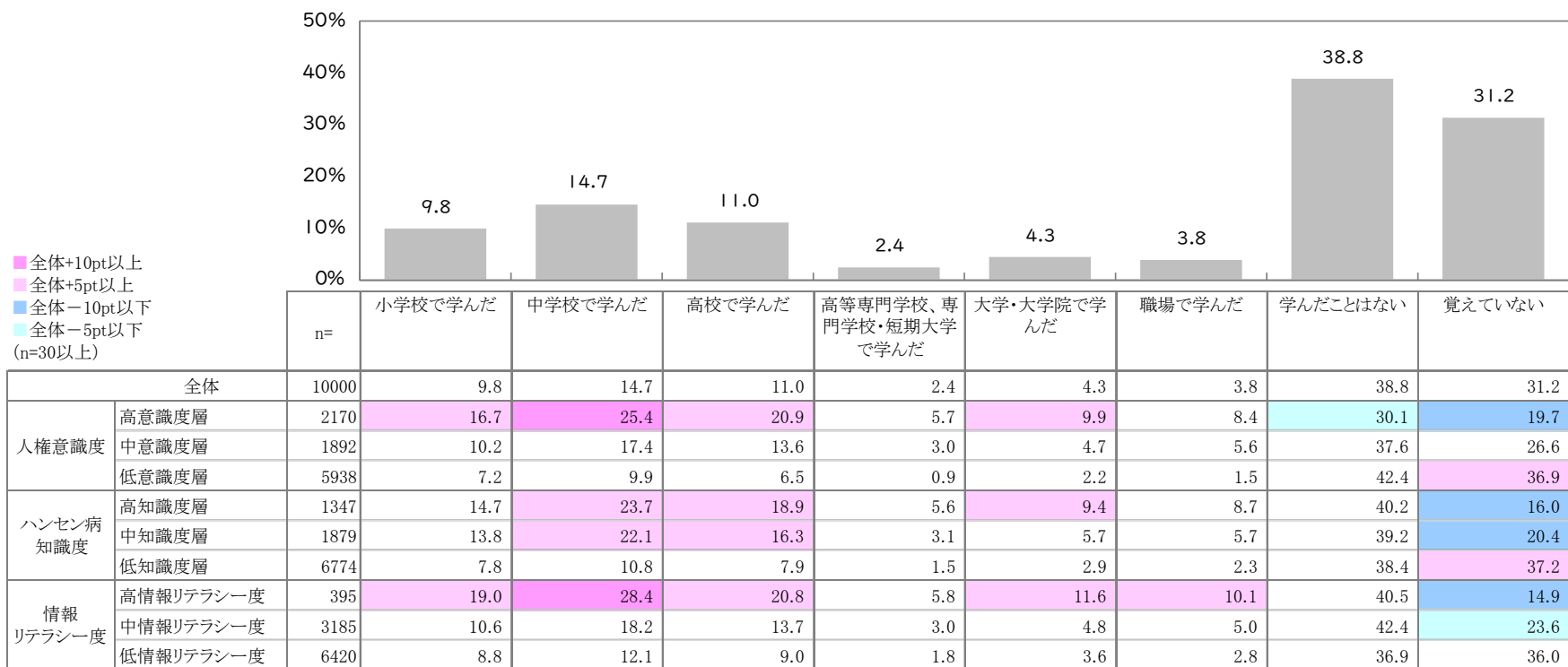
- 年代別でみると、「10代」は「高校で学んだ」「小学校で学んだ」「中学校で学んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。「学んだことはない」の割合が最も高いのは「60代以上」で51.2%。
- 職業別でみると、「公務員」は「中学校で学んだ」「高校で学んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。



ハンセン病問題の学習経験【セグメント別】

Q3 あなたは、学校や職場でハンセン病問題について学んだことがありますか。（「学んだことはない」「覚えていない」を除き、いくつでも）（MA）

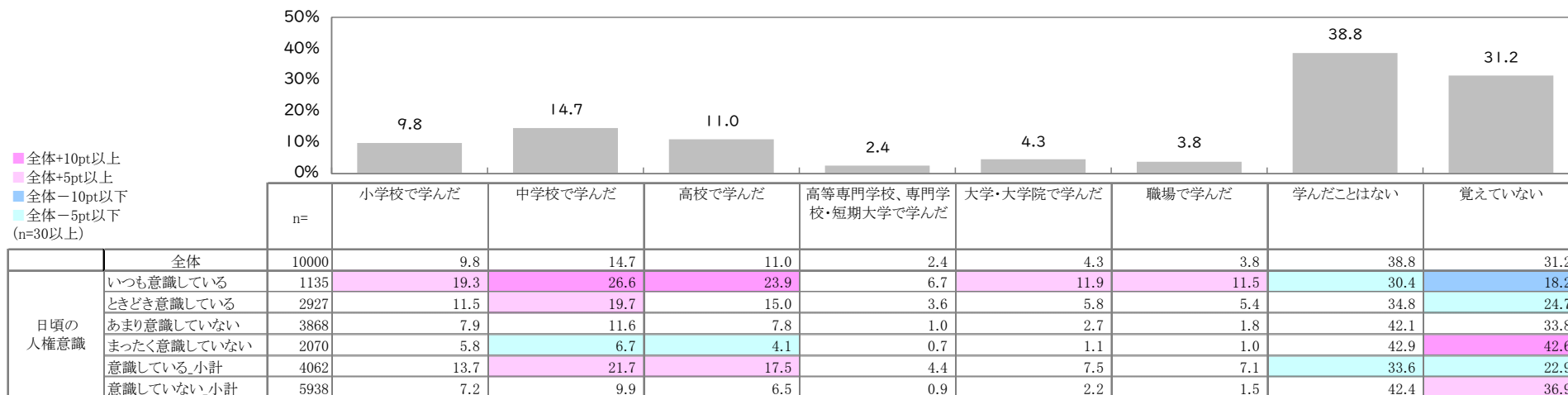
- 人権意識度別でみると、「高意識度層」は「中学校で学んだ」の割合が全体よりも10p以上高く、「小学校で学んだ」「高校で学んだ」「大学・大学院で学んだ」の割合も全体より5p以上高い。
- ハンセン病知識度別でみると、「高知識度層」「中知識度層」は「中学校で学んだ」「高校で学んだ」の割合が全体より5p以上高い。「高知識度層」は「大学・大学院で学んだ」の割合も全体より5p以上高い。
- 情報リテラシー度別でみると、「高情報リテラシー度層」は「中学校で学んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。



ハンセン病問題の学習経験【設問間クロス】Q3×Q1

Q3 あなたは、学校や職場でハンセン病問題について学んだことがありますか。（「学んだことはない」「覚えていない」を除き、いくつでも）（MA）

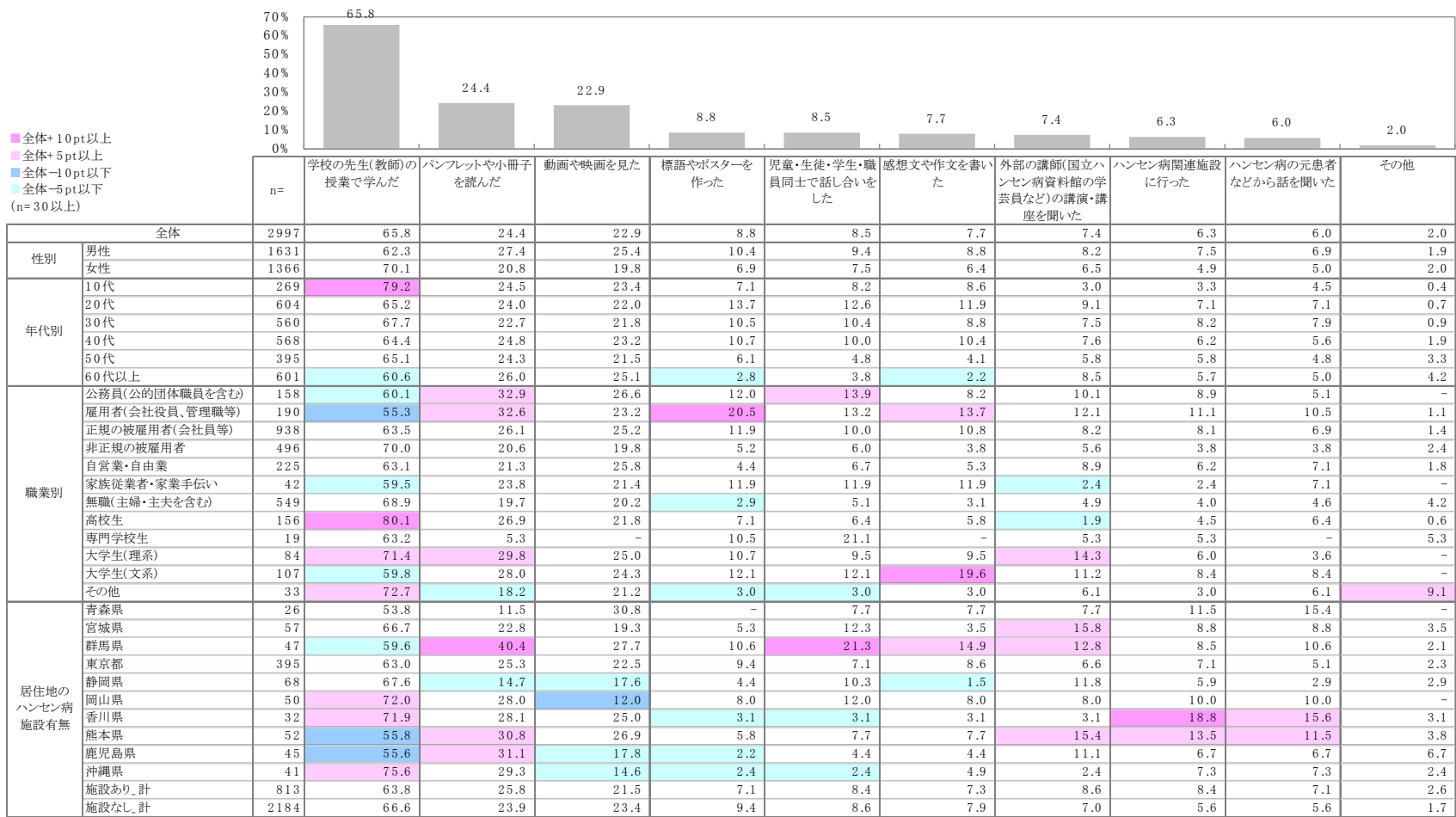
- 日頃の人権意識別でみると、「いつも意識している」層は「中学校で学んだ」「高校で学んだ」、「まったく意識していない」層は「覚えていない」の割合が全体よりも10p以上高い。



ハンセン病問題の学び方【属性別】

Q4 学校や職場でハンセン病問題について学んだと回答した方にお伺いします。あなたは、どのようにハンセン病問題のことを学びましたか。 (MA)

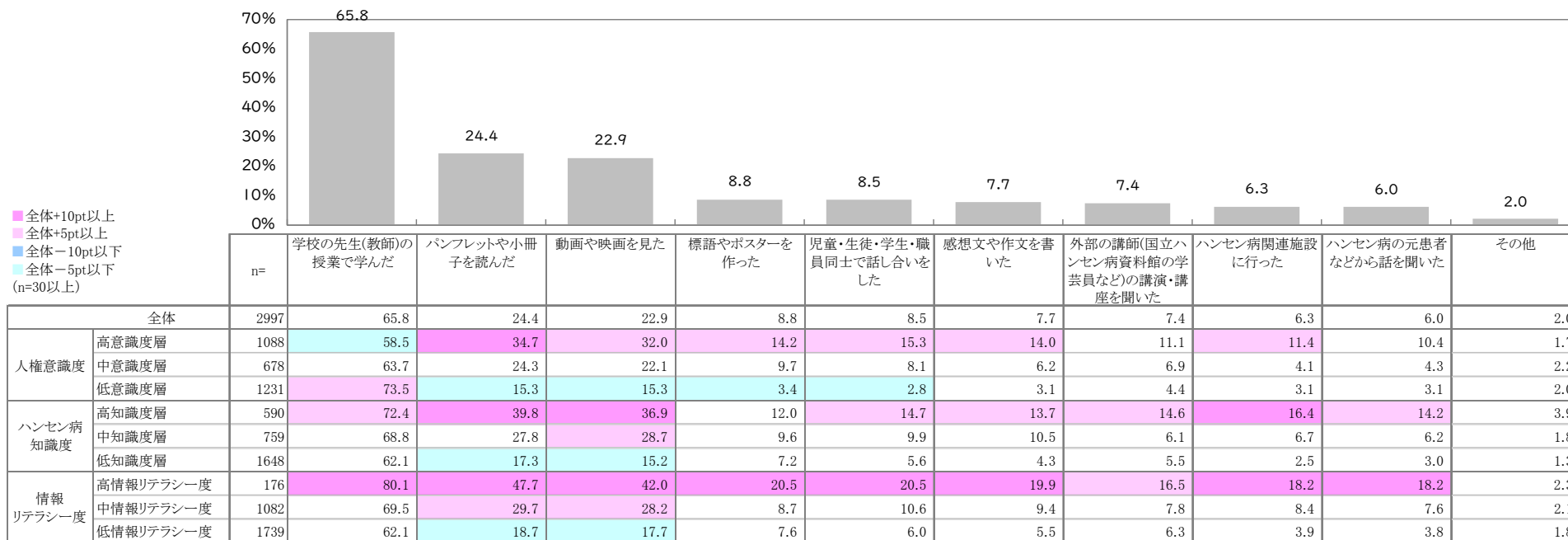
- 年代別でみると、「10代」は「学校の先生(教師)の授業で学んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 職業別でみると、「雇用者(会社役員、管理職等)」は「標語やポスターを作った」、「高校生」は「学校の先生(教師)の授業で学んだ」、「大学生(文系)」は「感想文や作文を書いた」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無別でみると、群馬県は「パンフレットや小冊子を読んだ」「児童・生徒・学生・職員同士で話し合いをした」の割合が全体よりも10p以上高い。



ハンセン病問題の学び方【セグメント別】

Q4 学校や職場でハンセン病問題について学んだと回答した方にお伺いします。あなたは、どのようにハンセン病問題のことを学びましたか。 (MA)

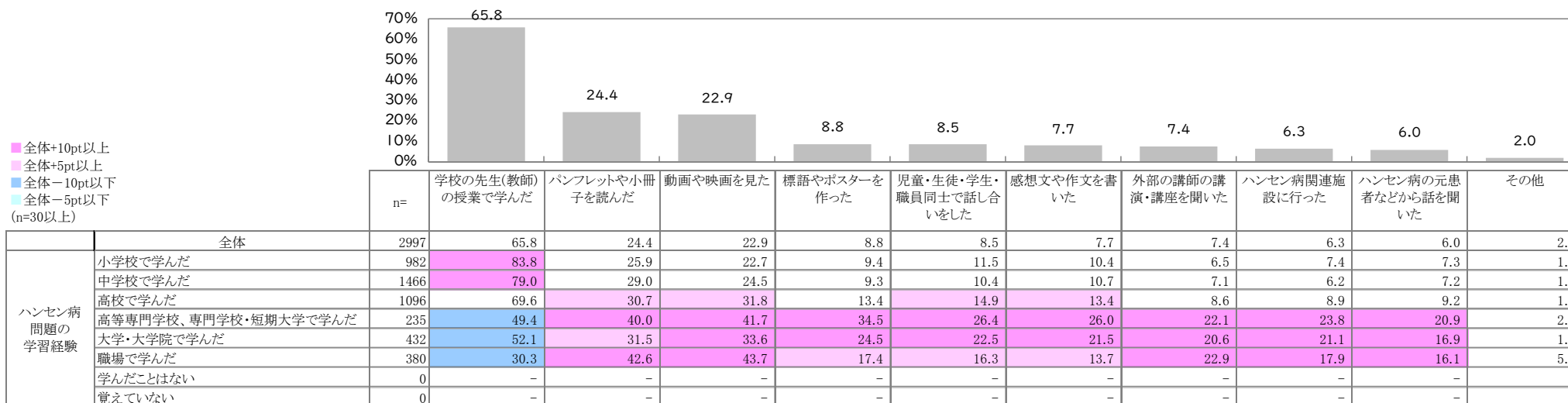
- 人権意識度別で見ると、「高意識度層」は「パンフレットや小冊子を読んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病知識度別で見ると、「高知識度層」は「パンフレットや小冊子を読んだ」「動画や映画を見た」「ハンセン病関連施設に行った」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別で見ると、「高情報リテラシー度層」はほとんどの項目の割合が全体よりも10p以上高い。



ハンセン病問題の学び方【設問間クロス】Q4×Q3

Q4 学校や職場でハンセン病問題について学んだと回答した方にお伺いします。あなたは、どのようにハンセン病問題のことを学びましたか。 (MA)

- ハンセン病問題の学習経験別で見ると、「小学校で学んだ」「中学校で学んだ」層は「学校の先生(教師)の授業で学んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 「高等専門学校、専門学校・短期大学」「大学・大学院、職場」で学んだ層は「学校の先生(教師)の授業で学んだ」の割合が低い。一方、他の項目のほぼすべての割合が全体よりも高い。

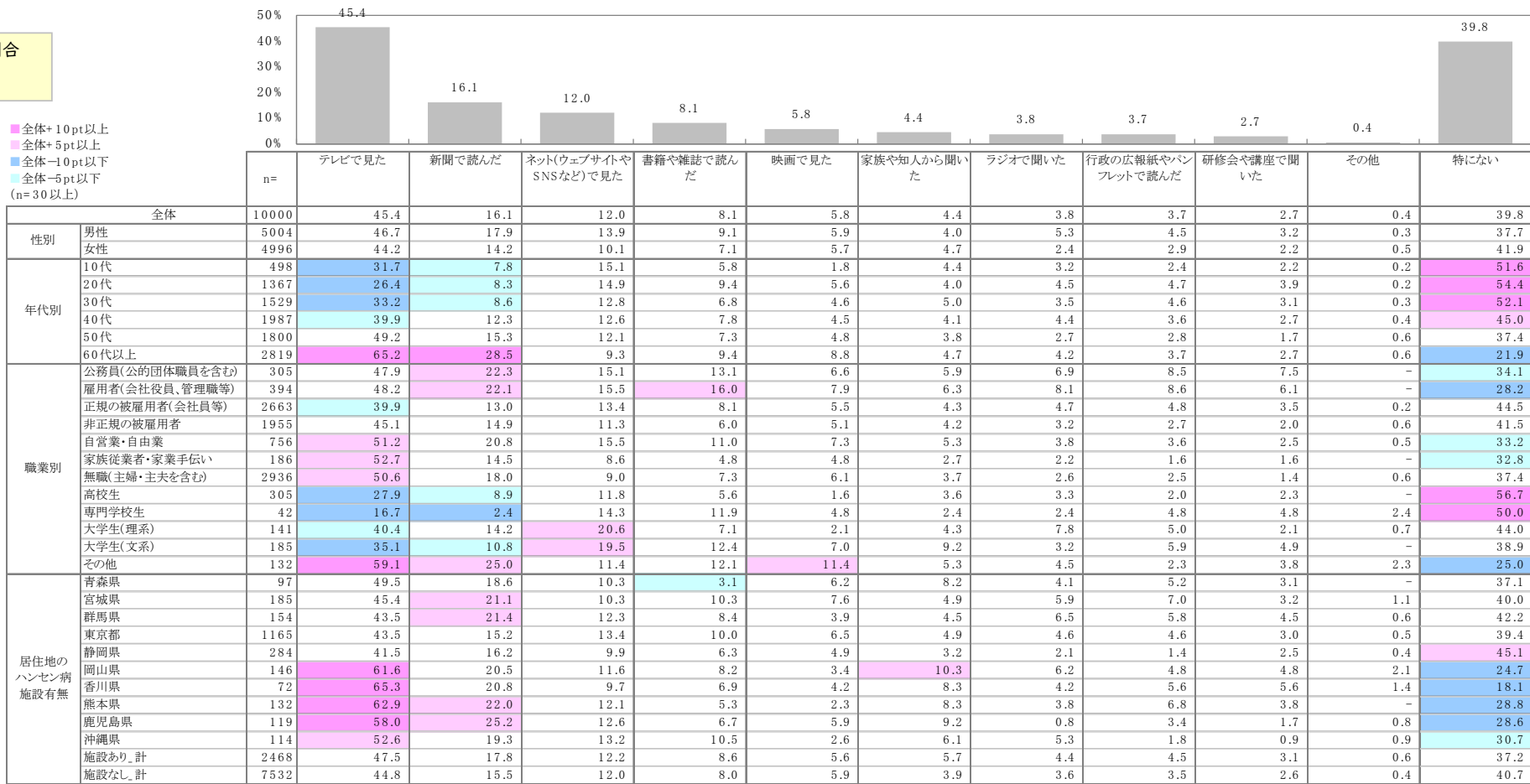


ハンセン病問題を見聞きしたもの【属性別】

Q5 あなたは、学校・職場での人権学習以外で、ハンセン病問題のことを見聞きしたことがありますか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

- 年代別で見ると、「60代以上」は「テレビで見た」「新聞で読んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無で見ると、岡山県、熊本県、鹿児島県は「テレビで見た」の割合が全体よりも10p以上高い。

*値は以下の割合
「あてはまる」

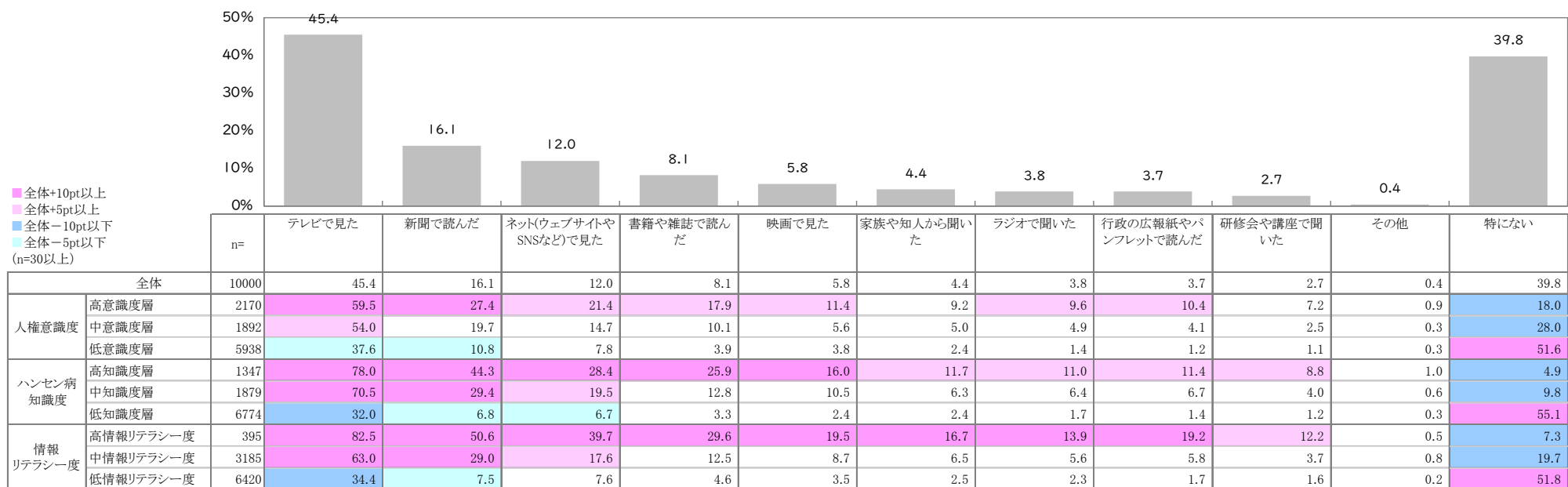


ハンセン病問題を見聞きしたもの【セグメント別】

Q5 あなたは、学校・職場での人権学習以外で、ハンセン病問題のことを見聞きしたことがありますか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

- 人権意識度別でみると、「高意識度層」は「テレビで見た」「新聞で読んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病知識度別でみると、「高知識度層」は「テレビで見た」「新聞で読んだ」「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で見た」「書籍や雑誌で読んだ」「映画で見た」、「中知識度層」は「テレビで見た」「新聞で読んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別でみると、「高情報リテラシー度層」はほとんどの項目の割合が全体よりも10p以上高い。

*値は以下の割合
「あてはまる」



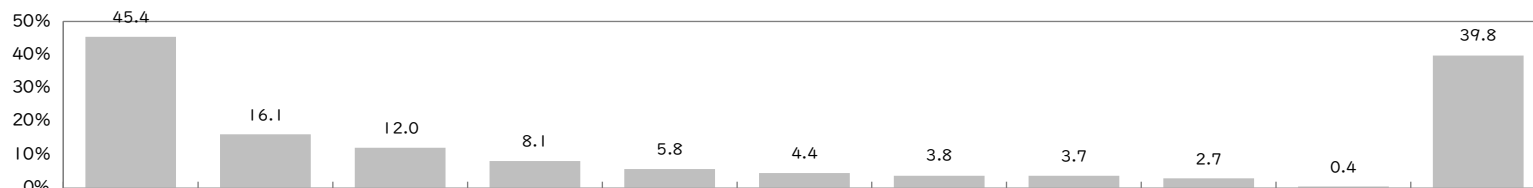
ハンセン病問題を見聞きしたもの【設問間クロス】Q5×Q1、Q3、Q6

Q5 あなたは、学校・職場での人権学習以外で、ハンセン病問題のことを見聞きしたことがありますか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

- 日頃の人権意識別でみると、「いつも意識している」層は「テレビで見た」「新聞で読んだ」「書籍や雑誌で読んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病問題の学習経験別でみると、「高校」「高等専門学校」「専門学校・短期大学」「大学・大学院」「職場」で学んだ層はすべての項目の割合が全体よりも高い。

*値は以下の割合
「あてはまる」

■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-10pt以下
■ 全体-5pt以下
(n=30以上)



	n	見聞きした方法											
		テレビで見た	新聞で読んだ	ネット(ウェブサイトやSNSなど)で見た	書籍や雑誌で読んだ	映画で見た	家族や知人から聞いた	ラジオで聞いた	行政の広報紙やパンフレットで読んだ	研修会や講座で聞いた	その他	特にない	
日頃の人権意識	全体	10000	45.4	16.1	12.0	8.1	5.8	4.4	3.8	3.7	2.7	0.4	39.8
	いつも意識している	1135	61.9	30.0	21.5	22.3	13.6	10.3	13.1	13.2	9.5	0.5	16.4
	ときどき意識している	2927	55.0	21.4	17.0	11.1	6.8	6.0	5.2	5.2	3.3	0.6	25.0
	あまり意識していない	3868	44.9	13.9	9.7	5.0	4.6	2.8	1.5	1.5	1.2	0.4	42.2
	まったく意識していない	2070	23.9	5.0	4.2	1.9	2.2	1.6	1.2	0.6	0.9	0.2	69.0
	意識している小計	4062	56.9	23.8	18.3	14.3	8.7	7.2	7.4	7.5	5.0	0.6	22.6
	意識していない小計	5938	37.6	10.8	7.8	3.9	3.8	2.4	1.4	1.2	1.1	0.3	51.6
ハンセン病問題の学習経験	小学校で学んだ	982	61.2	20.4	19.6	15.9	12.6	10.0	10.8	10.4	7.4	0.4	24.4
	中学校で学んだ	1466	62.3	22.7	22.0	17.5	10.6	8.9	10.6	10.6	7.6	0.3	19.6
	高校で学んだ	1096	60.5	29.7	26.6	21.4	14.3	10.5	12.9	13.7	9.1	0.3	15.1
	高等専門学校、専門学校・短期大学で学んだ	235	58.7	39.6	33.6	37.0	26.4	18.3	23.0	26.8	20.4	0.4	9.8
	大学・大学院で学んだ	432	51.6	34.7	32.9	30.8	25.5	16.0	18.5	23.4	18.5	0.7	13.2
	職場で学んだ	380	62.9	34.5	25.5	27.1	21.1	16.1	18.2	22.9	23.4	0.5	7.9
	学んだことはない	3881	46.7	16.5	10.7	6.1	4.9	3.6	2.3	1.9	0.7	0.5	40.6
	覚えていない	3122	33.1	9.5	7.0	3.3	2.5	2.2	1.4	1.1	0.7	0.3	58.6
ハンセン病問題を知ろうとしたり、行動したりした経験	書籍などを読んだ	727	74.3	43.7	28.3	51.9	22.3	15.3	17.7	19.1	13.1	1.2	3.2
	ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた	1144	71.4	32.1	46.9	24.5	15.6	12.7	14.4	14.2	8.9	0.7	4.2
	動画や映画を見た	727	72.2	41.4	37.6	34.1	35.1	15.1	18.4	20.5	13.2	1.0	1.7
	研修会・講座に参加(視聴)した	294	57.1	51.7	39.5	54.1	32.3	22.1	33.0	37.1	36.4	0.3	0.7
	家族や知人と話題にした	484	68.6	45.2	37.8	34.5	28.3	34.1	21.7	22.5	19.0	1.0	1.9
	学校や職場などで話題にした	335	60.0	46.0	44.2	42.4	32.8	24.5	27.2	36.4	29.0	0.3	3.6
	ネット(ウェブサイトやSNSなど)で話題にした	283	62.5	41.0	53.7	42.4	33.2	30.0	29.7	36.4	28.6	0.4	2.8
	国立ハンセン病資料館を訪ねた	131	65.6	50.4	53.4	51.1	43.5	42.0	43.5	54.2	48.1	2.3	2.3
	全国各地のハンセン病療養所や記念館などを訪ねた	88	79.5	64.8	59.1	50.0	45.5	51.1	39.8	52.3	52.3	6.8	2.3
	元患者(回復者)やその家族と会った	64	65.6	60.9	57.8	59.4	53.1	60.9	48.4	62.5	60.9	4.7	1.6
	その他	25	60.0	28.0	8.0	12.0	16.0	8.0	-	4.0	-	24.0	16.0
	特にない	7512	39.3	11.4	6.1	2.4	2.3	2.1	1.5	1.0	0.8	0.2	51.5

ハンセン病問題について知ろうとしたり、行動したりした経験【属性別】

Q6 あなたは、学校や職場での人権学習以外で、ハンセン病問題について自ら知ろうとしたり、行動したりしたことがありますか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

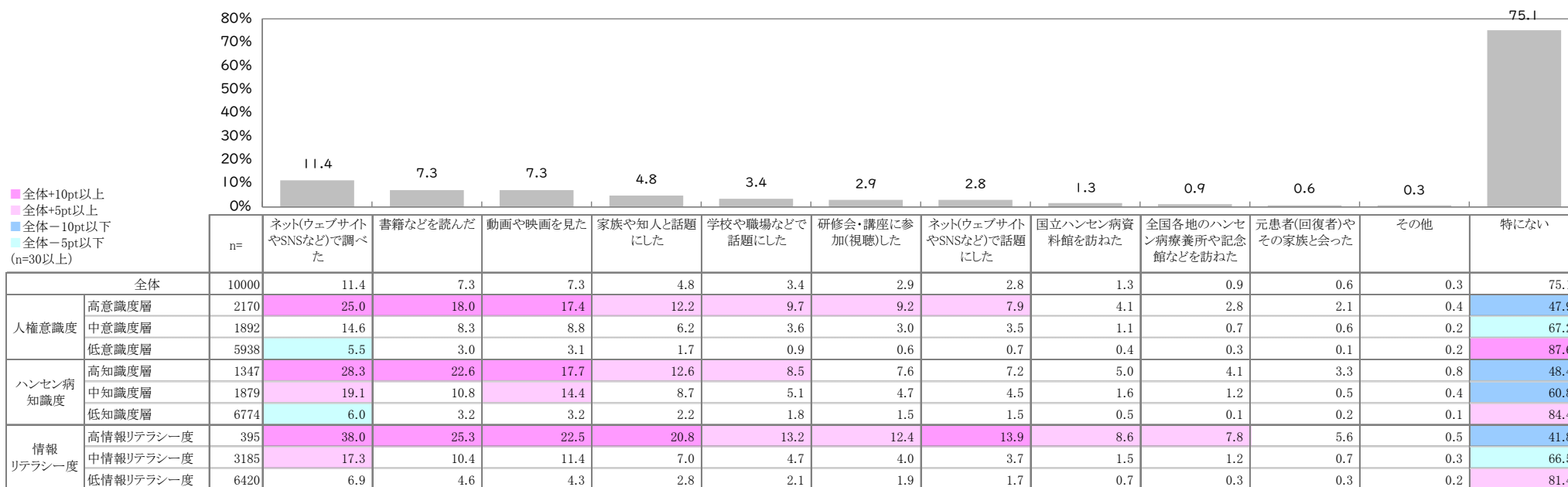
- 職業別でみると、「雇用者(会社役員、管理職等)」は、「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた」「書籍などを読んだ」「動画や映画を見た」「研修会、講座に参加した」の割合が全体より5p以上高い。「公務員」は「動画や映画を見た」、「大学生(理系)」「大学生(文系)」は「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた」が全体より5p以上高い。



ハンセン病問題について知ろうとしたり、行動したりした経験【セグメント別】

Q6 あなたは、学校や職場での人権学習以外で、ハンセン病問題について自ら知ろうとしたり、行動したりしたことがありますか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

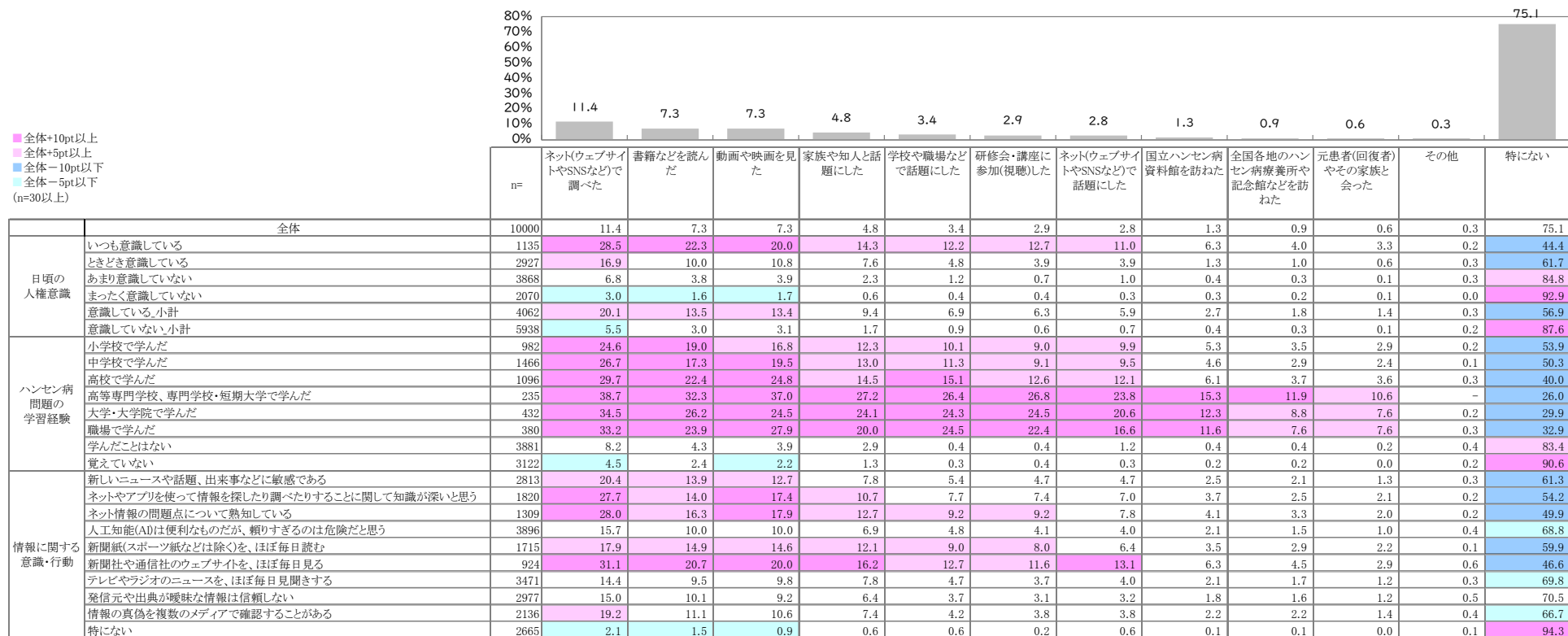
- 人権意識度別で見ると、「高意識度層」は「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた」「書籍などを読んだ」「動画や映画を見た」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病知識度別で見ると、「高知識度層」は「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた」「書籍などを読んだ」「動画や映画を見た」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別で見ると、「高情報リテラシー度層」は「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた」「書籍などを読んだ」「動画や映画を見た」「家族や知人と話題にした」「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で話題にした」の割合が全体よりも10p以上高い。



ハンセン病問題について知ろうとしたり、行動したりした経験【設問間クロス】Q6×Q1、Q3、Q16

Q6 あなたは、学校や職場での人権学習以外で、ハンセン病問題について自ら知ろうとしたり、行動したりしたことがありますか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

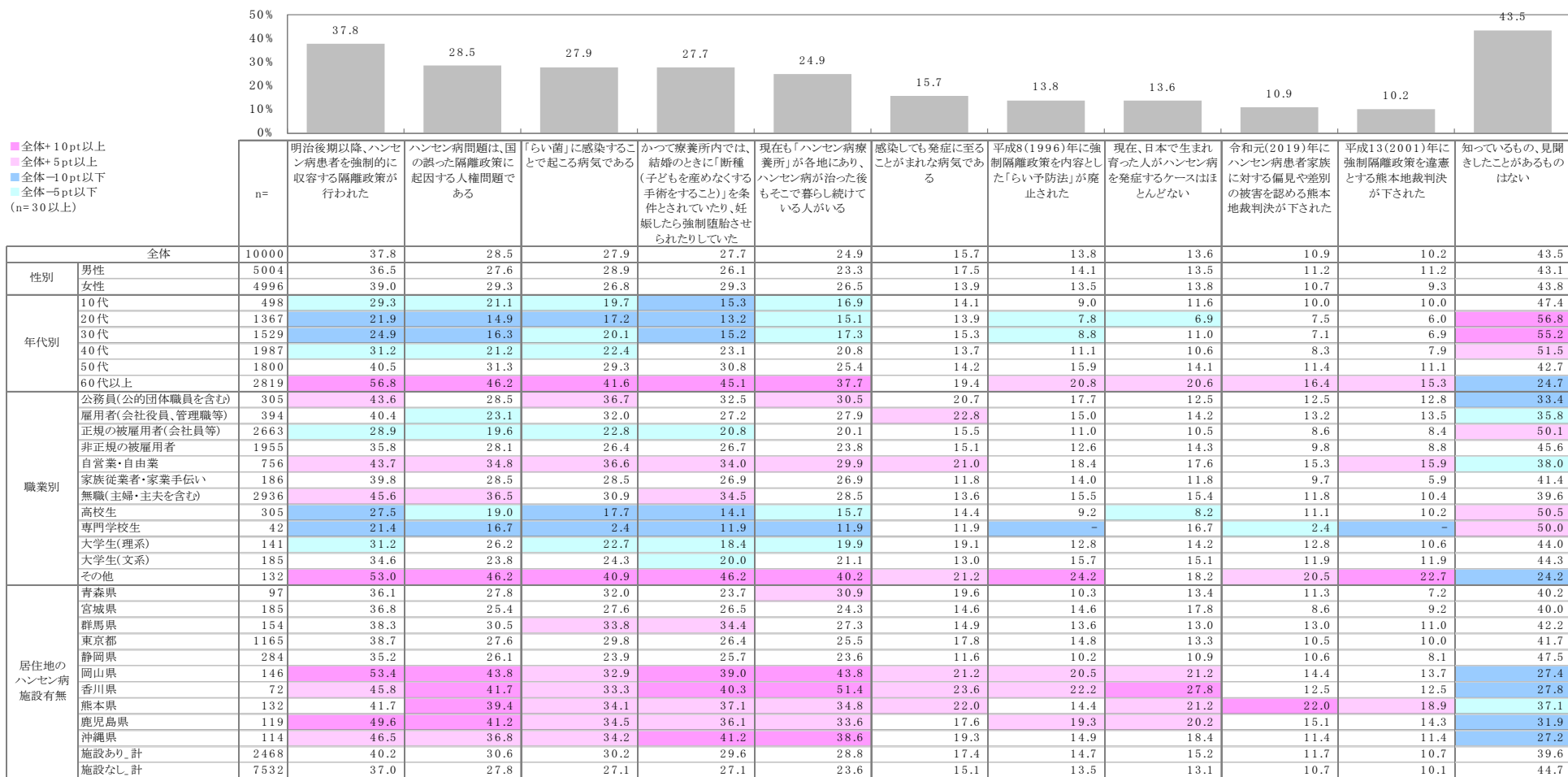
- 日頃の人権意識別でみると、「いつも意識している」層は「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた」「書籍などを読んだ」「動画や映画を見た」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病問題の学習経験別でみると、「高等専門学校、専門学校・短期大学」「大学・大学院」「職場」で学んだ層はすべての項目の割合が全体よりも高い。「高等専門学校、専門学校・短期大学で学んだ」層は、「全国各地のハンセン病療養所や記念館などを訪ねた」割合が高い。
- 情報に関する意識・行動別でみると、「ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることにに関して知識が深いと思う」層は「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた」「動画や映画を見た」、「ネット情報の問題点について熟知している」層は「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた」「動画や映画を見た」、「新聞社や通信社のウェブサイトや、ほぼ毎日見る」層は「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で調べた」「ネット(ウェブサイトやSNSなど)で話題にした」「書籍などを読んだ」「動画や映画を見た」「家族や知人と話題にした」の割合が全体よりも10p以上高い。



ハンセン病問題に関して知っているもの、見聞きしたことがあるもの【属性別】

Q7 ハンセン病(問題)に関する以下の記述のうち、あなたが知っているもの、見聞きしたことがあるものはどれですか。(「知っているもの、見聞きしたことがあるものはない」を除き、いくつでも) (MA)

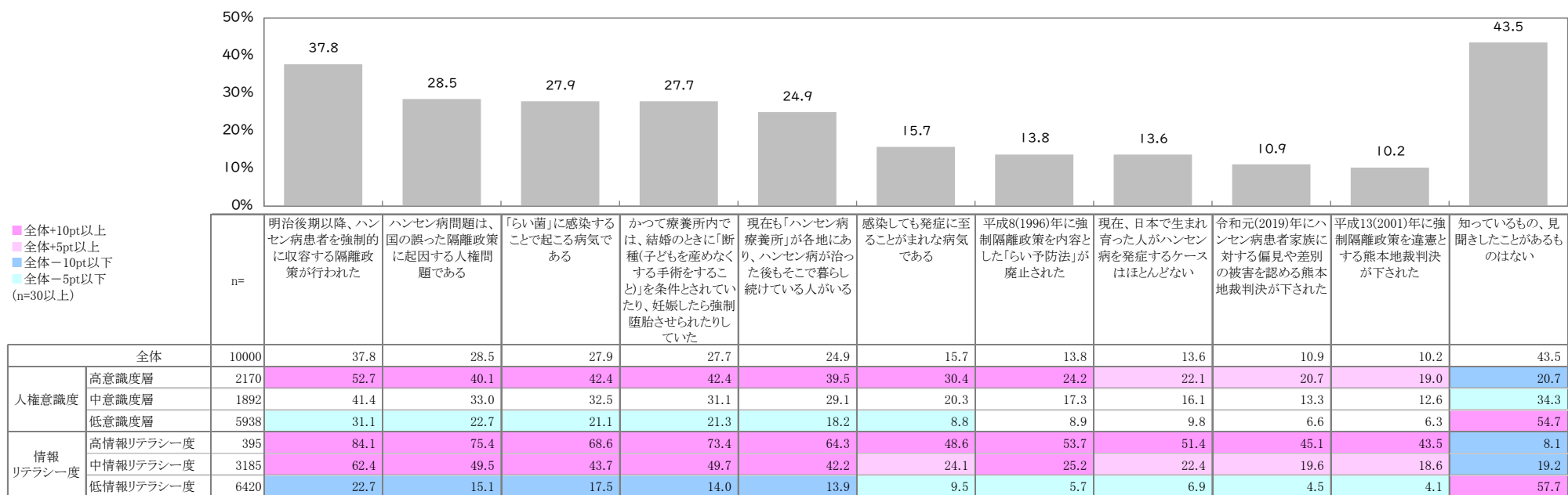
- 年代別で見ると、「60代以上」は多くの項目で割合が全体よりも高い。「20代」「30代」は「知っているもの、見聞きしたことがあるものはない」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無別で見ると、「岡山県」「熊本県」「鹿児島県」「沖縄県」で多くの項目の割合が全体より高い。



ハンセン病問題に関して知っているもの、見聞きしたことがあるもの【セグメント別】

Q7 ハンセン病(問題)に関する以下の記述のうち、あなたが知っているもの、見聞きしたことがあるものはどれですか。(「知っているもの、見聞きしたことがあるものはない」を除き、いくつでも) (MA)

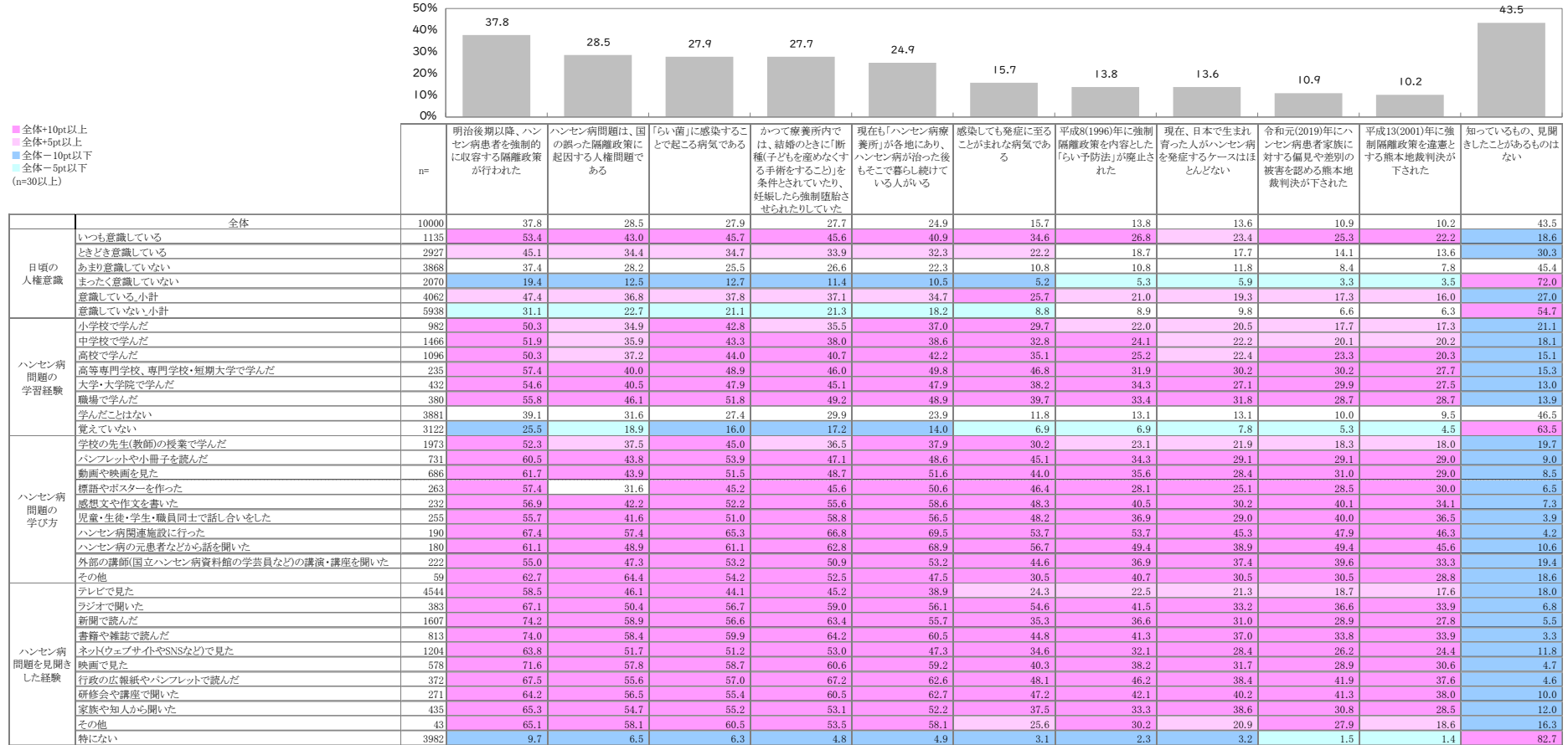
- 人権意識度別で見ると、「高意識度層」はほとんどの項目の割合が全体よりも高い。
- 情報リテラシー度別で見ると、「高情報リテラシー度層」はすべての項目の割合が全体より10p以上高い。「中情報リテラシー度層」は「高情報リテラシー層」よりは低い傾向がみられるものの、多くの項目の割合が全体よりも高い。



ハンセン病問題に関して知っているもの、見聞きしたことがあるもの【設問間クロス】Q7×Q1、Q3、Q6

Q7 ハンセン病(問題)に関する以下の記述のうち、あなたが知っているもの、見聞きしたことがあるものはどれですか。(「知っているもの、見聞きしたことがあるものはない」を除き、いくつでも) (MA)

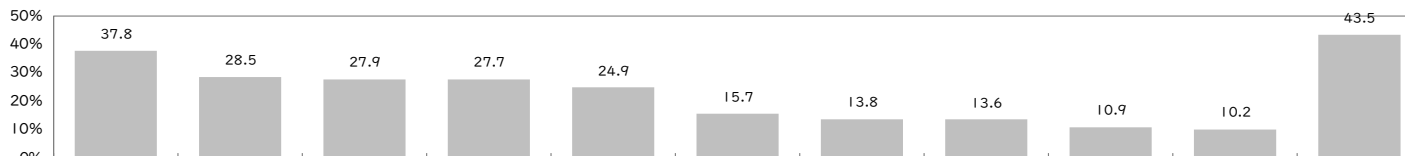
- 日頃の人権意識別でみると、「いつも意識している」層はすべての項目の割合が全体よりも高い。「まったく意識していない」層はすべての項目の割合が全体よりも低い。
- ハンセン病問題の学習経験別でみると、学習経験者はすべての項目の割合が全体よりも高い。「覚えていない」層はすべての項目の割合が全体よりも低い。
- ハンセン病問題を見聞きした経験別でみると、見聞きした経験者はすべての項目の割合が全体よりも高い。「特になし」と答えた層はすべての項目の割合が全体よりも低い。



ハンセン病問題に関して知っているもの、見聞きしたことがあるもの【設問間クロス】Q7×6、Q16

Q7 ハンセン病(問題)に関する以下の記述のうち、あなたが知っているもの、見聞きしたことがあるものはどれですか。(「知っているもの、見聞きしたことがあるものはない」を除き、いくつでも) (MA)

- ハンセン病問題を知ろうとしたり、行動したりした経験別で見ると、経験者はすべての項目の割合が全体よりも10p以上高い。「特になし」と答えた層はすべての項目の割合が全体よりも低い。
- 情報に関する意識・行動別で見ると、「特になし」と答えた層はすべての項目の割合が全体よりも低い。



■ 全体+10pt以上
■ 全体+5pt以上
■ 全体-10pt以下
■ 全体-5pt以下
 (n=30以上)

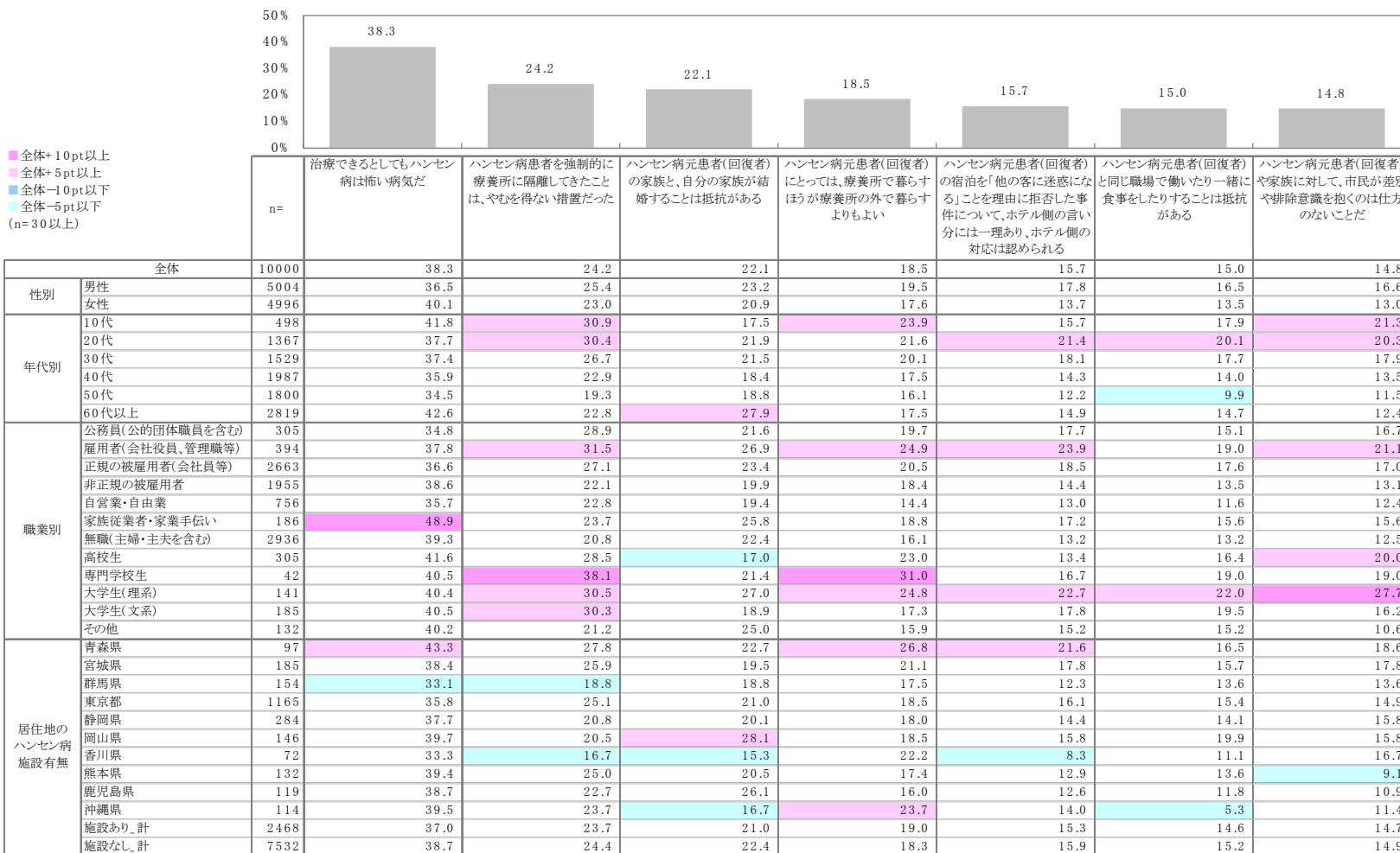
		n=	37.8	28.5	27.9	27.7	24.9	15.7	13.8	13.6	10.9	10.2	43.5
全体		10000	37.8	28.5	27.9	27.7	24.9	15.7	13.8	13.6	10.9	10.2	43.5
ハンセン病問題を知ろうとしたり、行動したりした経験	書籍などを読んだ	727	66.3	53.5	67.8	56.4	54.5	50.3	41.7	34.9	33.3	32.6	5.8
	ネット(ウェブサイトやSNSなどで調べた)	1144	64.7	47.8	58.1	52.1	50.3	44.4	35.1	28.4	28.4	27.4	6.2
	動画や映画を見た	727	66.2	48.7	57.4	54.7	54.6	47.2	35.2	28.5	30.7	28.5	4.1
	研修会・講座に参加(視聴した)	294	65.0	42.9	51.7	56.5	60.9	52.7	38.8	31.0	34.4	35.7	2.7
	家族や知人と話題にした	484	67.4	51.0	51.4	61.0	59.3	42.1	37.2	30.6	33.9	31.8	3.9
	学校や職場などで話題にした	335	52.2	46.3	48.1	55.2	57.6	49.9	36.7	31.3	38.8	33.1	7.2
	ネット(ウェブサイトやSNSなどで)話題にした	283	59.0	47.0	51.6	58.3	57.2	44.5	37.1	32.2	37.5	37.5	5.3
	国立ハンセン病資料館を訪ねた	131	64.9	59.5	62.6	67.2	67.9	61.8	55.0	48.1	55.0	51.1	3.1
	全国各地のハンセン病療養所や記念館などを訪ねた	88	78.4	75.0	73.9	84.1	81.8	65.9	67.0	67.0	60.2	58.0	2.3
	元患者(回復者)やその家族と会った	64	76.6	71.9	65.6	75.0	76.6	67.2	67.2	70.3	65.6	51.6	6.3
その他	25	68.0	72.0	52.0	72.0	48.0	24.0	32.0	36.0	28.0	20.0	16.0	
特になし	7512	30.8	23.0	20.2	21.0	17.5	8.6	8.6	9.6	6.8	6.2	55.4	
情報に関する意識・行動	新しいニュースや話題、出来事などに敏感である	2813	53.1	43.1	44.0	41.1	37.6	26.2	23.4	22.8	19.6	18.2	23.0
	ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに知識が深いと思う	1820	55.9	40.9	41.6	42.2	39.3	30.5	23.3	21.8	20.5	18.5	22.7
	ネット情報の問題点について熟知している	1309	58.6	44.8	45.8	46.1	43.7	33.6	29.6	27.2	25.9	24.2	18.5
	人工知能(AI)は便利なものだが、頼りすぎると危険だと思う	3896	58.7	45.4	39.6	44.4	38.0	22.4	23.0	21.8	18.4	17.1	24.7
	新聞紙(スポーツ紙などは除く)を、ほぼ毎日読む	1715	65.9	53.0	49.6	55.5	48.7	28.8	30.8	26.8	23.5	21.7	13.9
	新聞社や通信社のウェブサイトを、ほぼ毎日見る	924	62.0	51.4	48.1	55.6	49.6	35.9	34.2	31.6	30.0	28.7	15.8
	テレビやラジオのニュースを、ほぼ毎日見聞きする	3471	59.7	49.2	41.9	47.6	39.9	22.5	24.4	23.5	19.7	18.4	22.4
	発信元や出典が曖昧な情報は信頼しない	2977	63.5	53.0	44.7	50.7	42.1	22.9	27.5	25.6	20.9	20.4	22.3
	情報の真偽を複数のメディアで確認することがある	2136	63.0	52.7	46.3	49.7	43.0	26.2	30.0	28.3	23.5	22.8	22.5
	特になし	2665	9.2	6.3	8.1	5.9	5.8	3.4	2.7	3.5	1.7	1.8	83.0

ハンセン病患者(元患者)や家族に対する考え【属性別】

Q8 ハンセン病患者(元患者)や家族に対する以下のような考え方について、あなたはどのように思いますか。 (SA)

- 職業別でみると、「家族従業者・家業手伝い」は「治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ」、「大学生(理系)」は「ハンセン病元患者(回復者)や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方ないことだ」の割合が全体よりも10p以上高い。

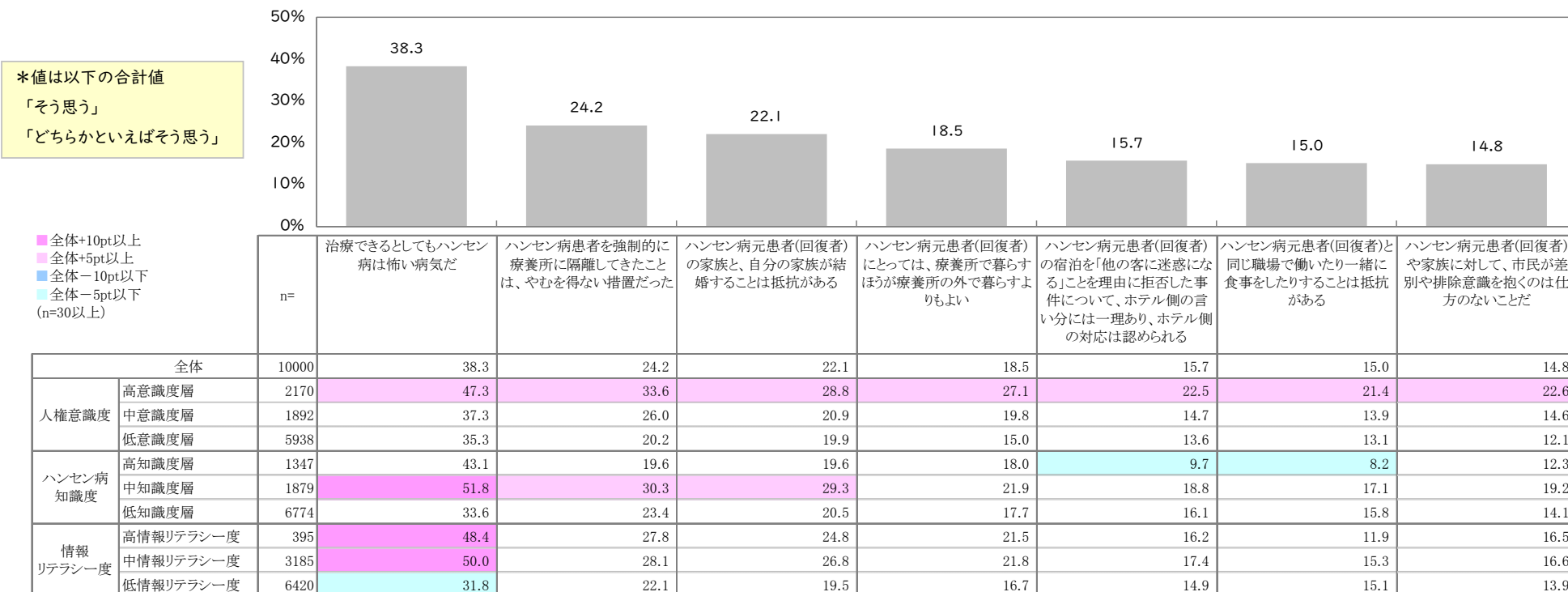
*値は以下の合計値
 「そう思う」
 「どちらかといえばそう思う」



ハンセン病患者(元患者)や家族に対する考え【セグメント別】

Q8 ハンセン病患者(元患者)や家族に対する以下のような考え方について、あなたはどのように思いますか。 (SA)

- ハンセン病知識度別で見ると、「中知識度層」は「治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別で見ると、「高情報リテラシー度層」「中情報リテラシー度層」は「治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ」の割合が全体よりも10p以上高い。

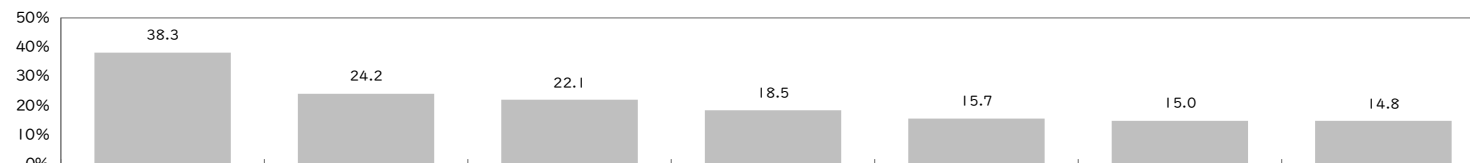


ハンセン病患者(元患者)や家族に対する考え【設問間クロス】Q8×Q1、Q3、Q4

Q8 ハンセン病患者(元患者)や家族に対する以下のような考え方について、あなたはごどう思いますか。 (SA)

- 日頃の人権意識別でみると、「いつも意識している」層は「ハンセン病患者を強制的に療養所に隔離してきたことは、やむを得ない措置だった」「ハンセン病元患者(回復者)にとっては、療養所で暮らすほうが療養所の外で暮らすよりもよい」「ハンセン病元患者(回復者)や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方のないことだ」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病問題の学習経験別でみると、学習経験者はすべての項目の割合が全体よりも高い。「覚えていない」と答えた層はすべての項目の割合が全体よりも低い。

*値は以下の合計値
「そう思う」
「どちらかといえばそう思う」

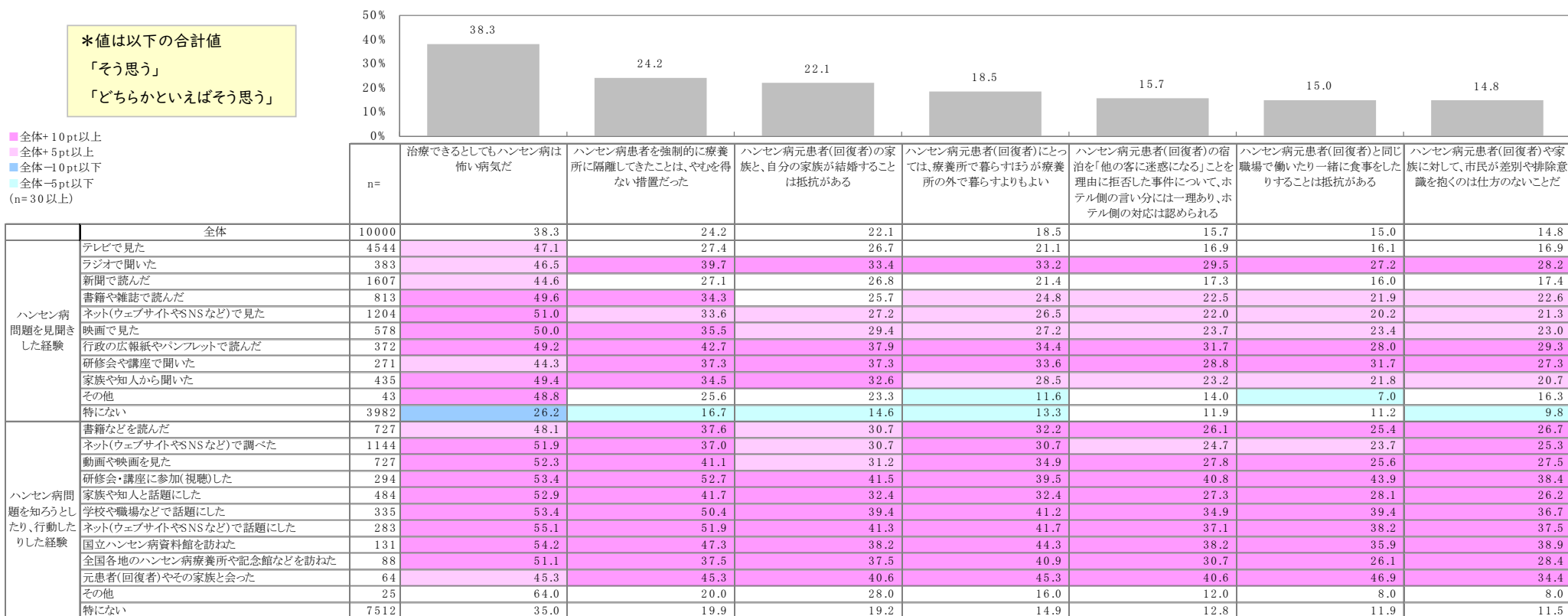


	n=	*値は以下の合計値							
		治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ	ハンセン病患者を強制的に療養所に隔離してきたことは、やむを得ない措置だった	ハンセン病元患者(回復者)の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある	ハンセン病元患者(回復者)にとっては、療養所で暮らすほうが療養所の外で暮らすよりもよい	ハンセン病元患者(回復者)の宿泊を「他の客に迷惑になる」ことを理由に拒否した事件について、ホテル側の言い分には一理あり、ホテル側の対応は認められる	ハンセン病元患者(回復者)と同じ職場で働いたり一緒に食事をしたりすることは抵抗がある	ハンセン病元患者(回復者)や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方のないことだ	
全体	10000	38.3	24.2	22.1	18.5	15.7	15.0	14.8	
日頃の人権意識	いつも意識している	1135	47.9	36.0	30.0	30.7	25.1	23.7	25.4
	ときどき意識している	2927	40.6	27.7	23.2	21.0	16.5	15.7	16.3
	あまり意識していない	3868	40.8	22.0	22.3	16.8	14.2	14.2	12.7
	まったく意識していない	2070	25.1	17.0	15.5	11.6	12.4	10.9	10.8
	意識している、小計	4062	42.7	30.0	25.1	23.7	18.9	17.9	18.9
	意識していない、小計	5938	35.3	20.2	19.9	15.0	13.6	13.1	12.1
ハンセン病問題の学習経験	小学校で学んだ	982	51.2	37.8	27.5	29.0	22.7	21.2	23.7
	中学校で学んだ	1466	50.5	38.1	28.8	29.7	23.2	22.4	24.5
	高校で学んだ	1096	51.1	39.3	32.8	30.4	25.7	25.7	26.4
	高等専門学校、専門学校・短期大学で学んだ	235	50.6	45.5	36.2	36.6	35.3	37.4	30.6
	大学・大学院で学んだ	432	42.1	41.0	33.3	33.3	28.9	30.8	29.2
	職場で学んだ	380	40.3	35.0	29.7	29.2	21.1	22.9	21.3
ハンセン病問題の学び方	学んだことはない	3881	37.6	20.9	22.4	15.7	14.0	13.4	12.5
	覚えていない	3122	30.6	16.8	15.1	12.7	10.7	9.6	9.8
	学校の先生(教師)の授業で学んだ	1973	51.2	33.9	26.9	26.6	20.8	19.4	20.9
	パンフレットや小冊子を読んだ	731	47.2	40.4	33.0	33.9	26.3	26.9	27.2
	動画や映画を見た	686	49.9	41.3	32.8	33.8	26.8	26.2	27.0
	標語やポスターを作った	263	48.3	57.0	40.3	43.0	41.1	41.1	38.4
	感想文や作文を書いた	232	59.9	54.7	44.0	43.5	41.4	39.7	36.6
	児童・生徒・学生・職員同士で話し合いをした	255	54.1	55.7	41.6	42.7	39.2	41.6	43.1
	ハンセン病関連施設に行った	190	51.1	48.9	36.8	39.5	33.7	37.4	36.3
	ハンセン病の元患者などから話を聞いた	180	52.2	48.3	38.9	43.9	35.0	35.0	36.7
	外部の講師(国立ハンセン病資料館の学芸員など)の講演・講座を聞いた	222	44.6	39.2	37.8	33.3	30.6	31.5	27.9
	その他	59	35.6	28.8	20.3	16.9	15.3	8.5	10.2

ハンセン病患者(元患者)や家族に対する考え【設問間クロス】Q8×Q5、Q6

Q8 ハンセン病患者(元患者)や家族に対する以下のような考え方について、あなたはごどう思いますか。 (SA)

- ハンセン病問題を見聞きした経験別で見ると、「行政の広報紙やパンフレットで読んだ」層はすべての項目の割合が全体よりも10p以上高い。「ラジオで聞いた」「ネット(ウェブサイトやSNSなどで見た)」「映画で見た」「研修会や講座で聞いた」「家族や知人から聞いた」層はすべての項目の割合が全体よりも高い。

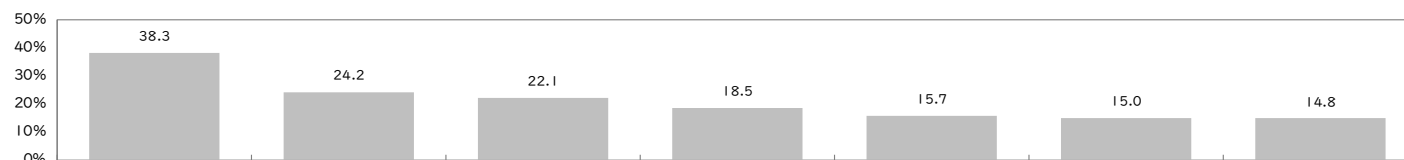


ハンセン病患者(元患者)や家族に対する考え【設問間クロス】Q8×Q7、Q11、Q12、Q16

Q8 ハンセン病患者(元患者)や家族に対する以下のような考え方について、あなたはごどう思いますか。(SA)

- 知っているもの、見聞きしたことがあるハンセン病問題別でみると、「らい菌」に感染することで起こる病気である」ことを見聞きしたことがある層は「治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 人権が侵害されていると思った経験別でみると、「大いにある」層はすべての項目の割合が全体よりも高い。
- 自身が人権を侵害した経験別でみると、「大いにある」層はすべての項目の割合が全体よりも10p以上高い。「少しはある」層もすべての項目の割合が全体よりも高い。

*値は以下の合計値
「そう思う」
「どちらかといえばそう思う」



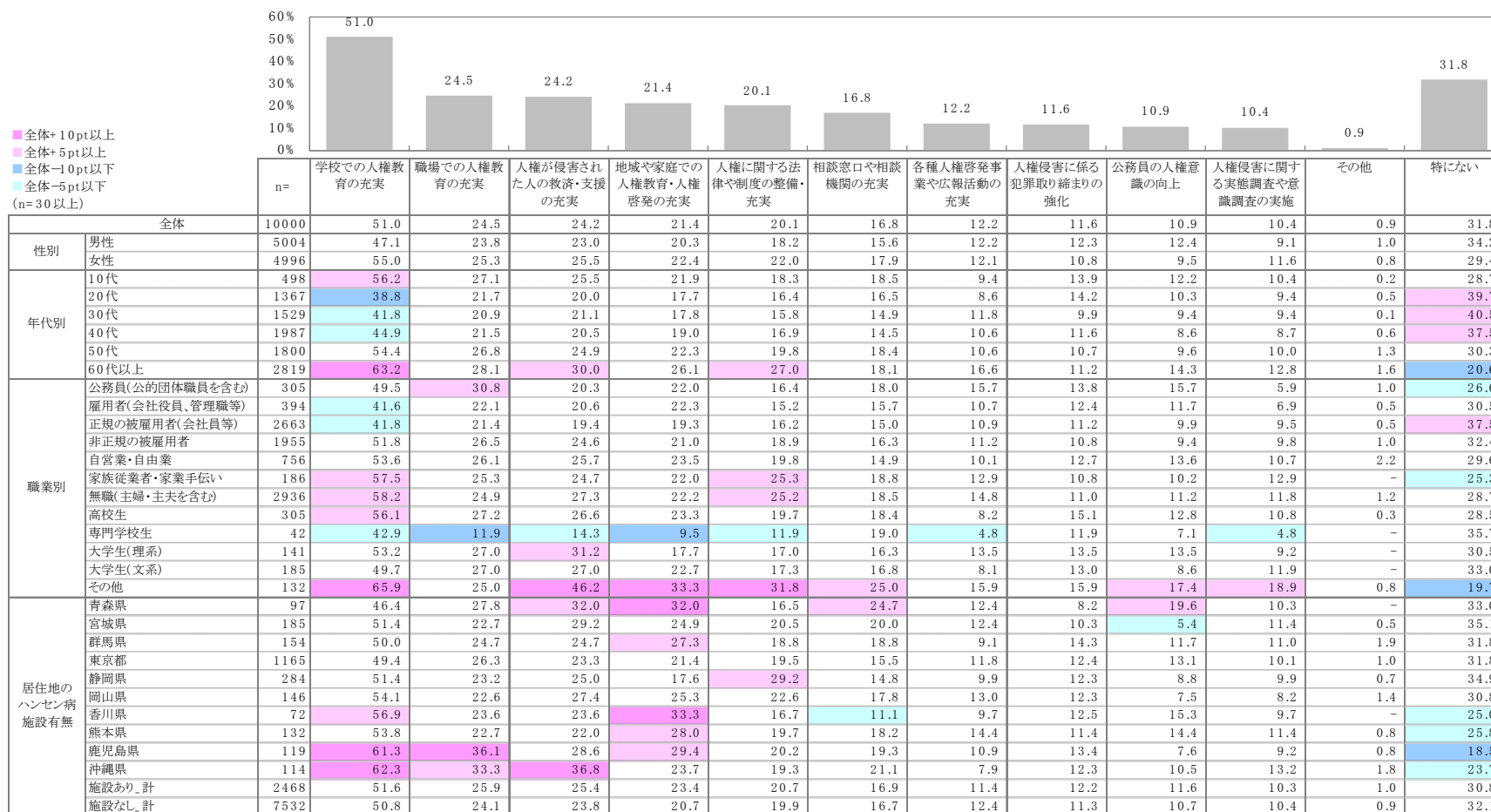
■全体+10pt以上
■全体+5pt以上
■全体-10pt以下
■全体-5pt以下
(n=30以上)

	全体	n=	治療できるとしてもハンセン病は怖い病気だ	ハンセン病患者を強制的に療養所に隔離してきたことは、やむを得ない措置だった	ハンセン病元患者(回復者)の家族と、自分の家族が結婚することは抵抗がある	ハンセン病元患者(回復者)にとっては、療養所で暮らすほうが療養所の外で暮らすよりもよい	ハンセン病元患者(回復者)の宿泊を「他の客に迷惑になる」ことを理由に拒否した事件について、ホテル側の言い分には一理あり、ホテル側の対応は認められる	ハンセン病元患者(回復者)と同じ職場で働いたり一緒に食事をしたりすることは抵抗がある	ハンセン病元患者(回復者)や家族に対して、市民が差別や排除意識を抱くのは仕方のないことだ
知っているもの、見聞きしたことがあるハンセン病問題	「らい菌」に感染することで起こる病気である	10000	38.3	24.2	22.1	18.5	15.7	15.0	14.8
	感染しても発症に至ることがまれな病気である	2785	49.1	29.9	27.8	22.8	17.0	16.1	18.1
	明治後期以降、ハンセン病患者を強制的に収容する隔離政策が行われた	1569	46.4	33.7	27.5	28.4	21.0	19.7	23.3
	現在も「ハンセン病療養所」が各地にあり、ハンセン病が治った後もそこで暮らし続けている人がいる	3775	48.2	26.3	24.8	19.9	14.9	13.3	15.4
	かつて療養所内では、結婚のときに「断種」を条件とされていたり、強制随胎させられたりしていた	2489	45.4	27.0	25.2	21.9	14.9	14.9	16.8
	平成8(1996)年に強制隔離政策を内容とした「らい予防法」が廃止された	2774	47.0	23.9	24.5	19.2	14.5	13.3	15.2
	平成13(2001)年に強制隔離政策を違憲とする熊本地裁判決が下された	1379	41.6	23.8	21.8	19.5	11.6	10.5	13.8
	令和元年にハンセン病患者家族に対する偏見や差別の被害を認める熊本地裁判決が下された	1024	42.7	22.6	21.1	21.1	13.8	10.8	15.0
	ハンセン病問題は、国の誤った隔離政策に起因する人権問題である	1093	46.3	24.2	24.2	21.4	15.6	12.7	16.7
	現在、日本で生まれ育った人がハンセン病を発症するケースはほとんどない	2846	46.0	19.5	22.2	16.1	11.8	10.6	12.4
人権が侵害されていると思った経験	知っているもの、見聞きしたことがあるものはない	1364	44.7	25.1	21.2	20.3	12.9	11.7	13.6
	大いにある	4345	25.4	16.3	15.2	13.0	12.5	11.7	10.4
	少しはある	729	50.3	34.6	29.5	31.6	25.9	25.8	25.7
	あまりない	2782	46.7	29.8	26.8	23.1	19.6	19.1	19.0
	まったくない	4036	38.8	22.6	21.2	16.4	14.0	13.1	13.0
	自身の人権を侵害した経験	2453	24.5	17.4	15.8	13.0	11.2	10.5	9.9
情報に関する意識・行動	大いにある	243	60.5	55.1	46.1	46.9	42.8	43.2	44.4
	少しはある	1781	48.8	35.5	30.8	27.7	24.4	23.2	24.9
	あまりない	4477	38.6	21.8	19.9	16.8	13.3	13.2	12.6
	まったくない	3499	31.0	19.5	18.6	14.1	12.6	11.3	10.5
	新しいニュースや話題、出来事などに敏感である	2813	49.3	29.5	28.0	25.6	19.6	18.7	18.1
	ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに関して知識が深いと思う	1820	52.2	37.4	30.8	29.0	24.2	21.6	22.9
	ネット情報の問題点について熟知している	1309	49.6	34.1	29.0	27.4	25.0	21.3	23.4
	人工知能(AI)は便利なものだが、頼りすぎるのは危険だと思う	3896	48.9	27.5	24.7	20.3	16.1	14.6	15.9
	新聞紙(スポーツ紙などは除く)を、ほぼ毎日読む	1715	46.2	28.3	29.4	21.3	18.8	18.1	18.5
	新聞社や通信社のウェブサイトや、ほぼ毎日見る	924	46.1	31.9	28.0	25.3	22.5	18.7	20.5
テレビやラジオのニュースを、ほぼ毎日見聞きする	3471	47.6	25.6	26.8	19.6	16.2	14.8	15.2	
発信元や出典が曖昧な情報は信頼しない	2977	47.8	23.6	22.2	17.4	13.5	11.4	12.6	
情報の真偽を複数のメディアで確認することがある	2136	46.6	24.4	19.8	18.4	13.6	10.4	13.7	
特になし	2665	16.7	11.7	10.8	8.6	7.7	7.7	7.2	

人権に係る偏見・差別を解消するための有効な方策【属性別】

Q9 あなたは、ハンセン病問題をはじめとする人権に係る偏見・差別を解消するためには、どのような方策が有効だと思いますか。(最大5つまで選択可) (MA)

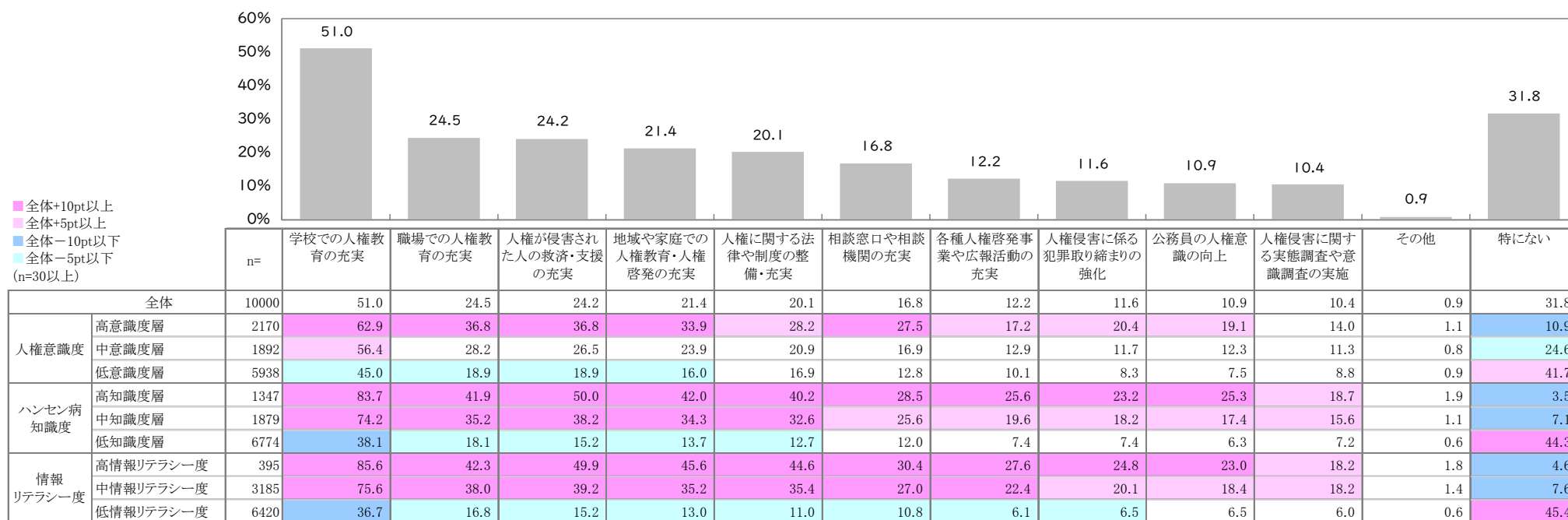
- 年代別でみると、「60代以上」は「学校での人権教育の充実」の割合が全体よりも高い。
- 居住地のハンセン病施設有無別でみると、「鹿児島県」は「学校での人権教育の充実」「職場での人権教育の充実」、「沖縄県」は「学校での人権教育の充実」「人権が侵害された人の救済・支援の充実」の割合が全体よりも高い。



人権に係る偏見・差別を解消するための有効な方策【セグメント別】

Q9 あなたは、ハンセン病問題をはじめとする人権に係る偏見・差別を解消するためには、どのような方策が有効だと思いますか。(最大5つまで選択可) (MA)

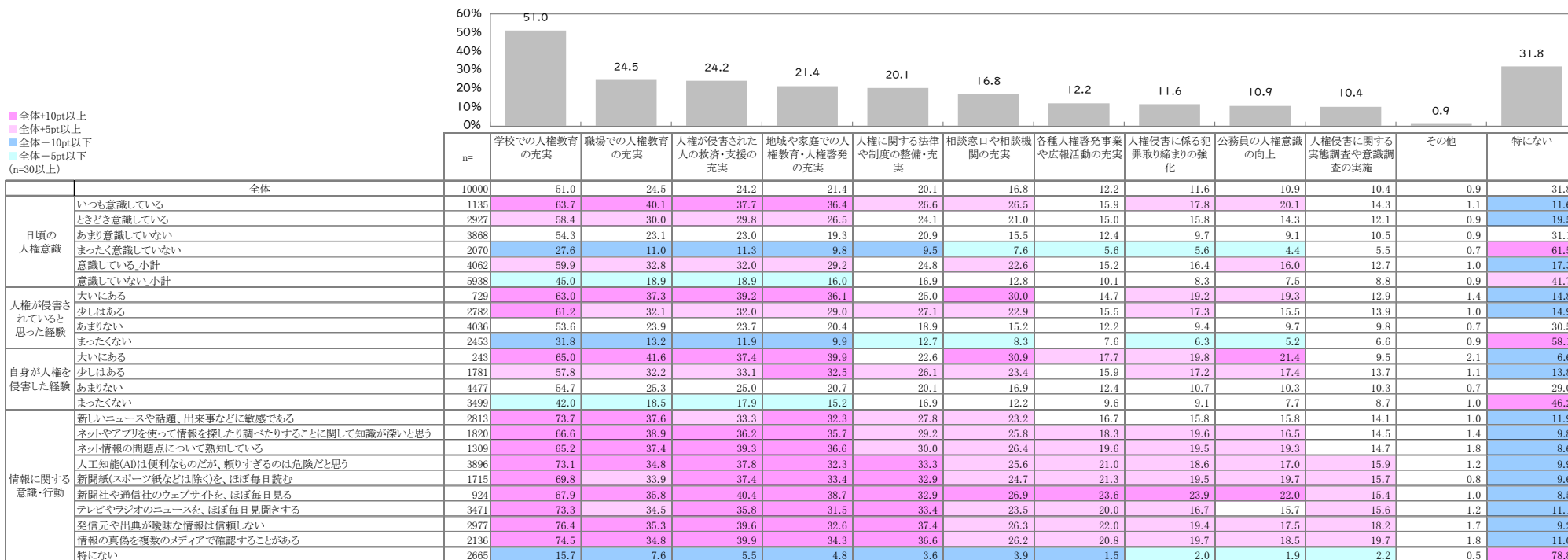
- 人権意識度別でみると、「高意識度層」は「学校での人権教育の充実」「職場での人権教育の充実」「人権が侵害された人の救済・支援の充実」「地域や家庭での人権教育・人権啓発の充実」「相談窓口や相談機関の充実」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病知識度別でみると、「高知識度層」はほとんどの項目の割合が全体よりも10p以上高い。中知識度層は高知識度層よりは低い傾向がみられるものの、すべての項目の割合が全体よりも高い。
- 情報リテラシー度別でみると、「高情報リテラシー度層」はほとんどの項目の割合が全体よりも10p以上高い。中情報リテラシー度層は高情報リテラシー層よりは低い傾向がみられるものの、すべての項目の割合が全体よりも高い。



人権に係る偏見・差別を解消するための有効な方策【設問間クロス】Q9×Q1、Q11、Q12、Q16

Q9 あなたは、ハンセン病問題をはじめとする人権に係る偏見・差別を解消するためには、どのような方策が有効だと思いますか。(最大5つまで選択可) (MA)

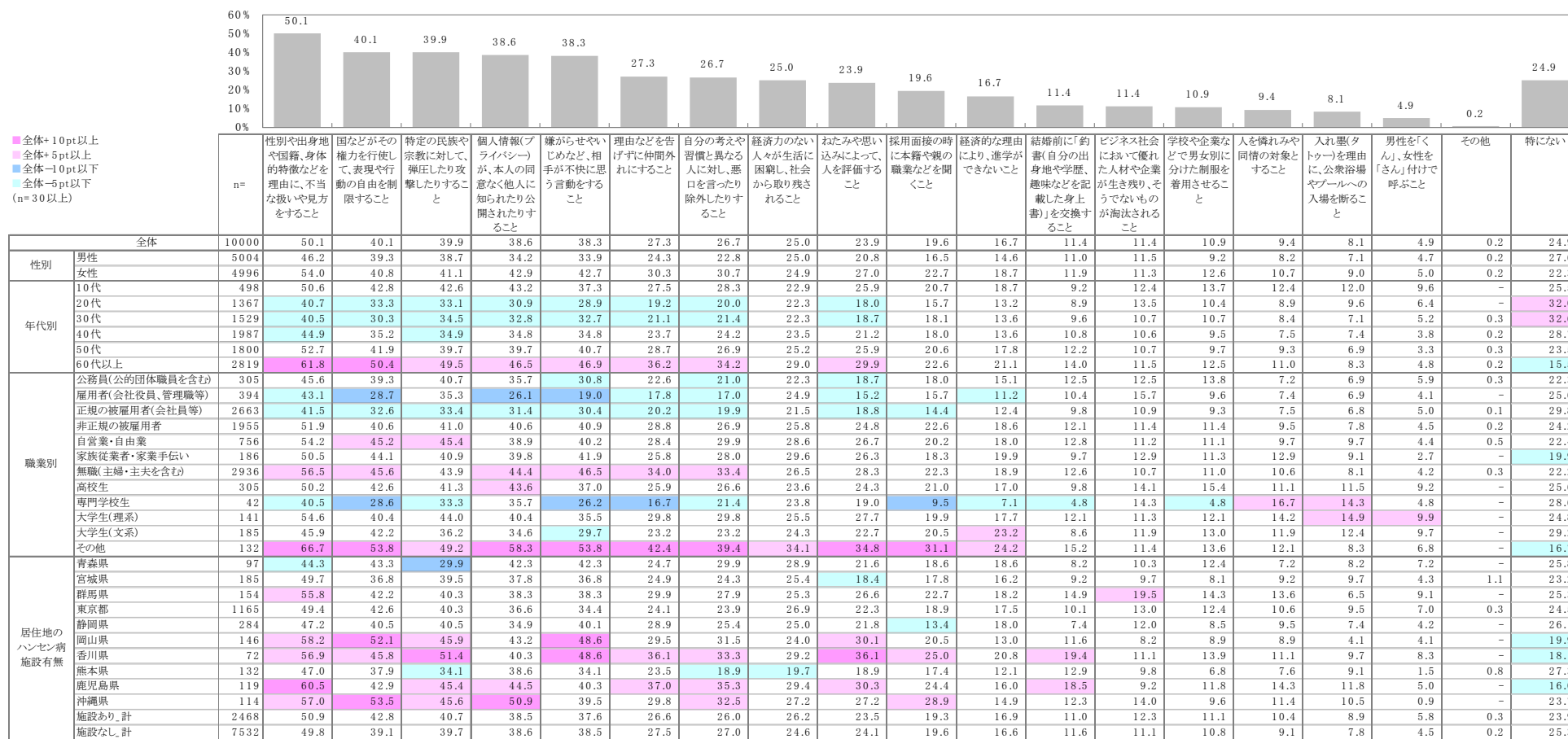
- 日頃の人権意識別でみると、「いつも意識している」層は「学校での人権教育の充実」「職場での人権教育の充実」「人権が侵害された人の救済・支援の充実」「地域や家庭での人権教育・人権啓発の充実」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 人権が侵害されていると思った経験別でみると、「大いにある」層は「学校での人権教育の充実」「職場での人権教育の充実」「人権が侵害された人の救済・支援の充実」「地域や家庭での人権教育・人権啓発の充実」「相談窓口や相談機関の充実」、「少しはある」層は、「学校での人権教育の充実」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 自身が人権を侵害した経験別でみると、「大いにある」層は「学校での人権教育の充実」「職場での人権教育の充実」「人権が侵害された人の救済・支援の充実」「地域や家庭での人権教育・人権啓発の充実」「相談窓口や相談機関の充実」「公務員の人権意識の向上」、「少しはある」層は「地域や家庭での人権教育・人権啓発の充実」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報に関する意識・行動別でみると、「新聞社や通信社のウェブサイト、を、ほぼ毎日見る」層はほとんどの項目の割合が全体よりも10p以上高い。



人権侵害や差別だと思うこと【属性別】

Q10 あなたが、人権侵害や差別だと思うことはどれですか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

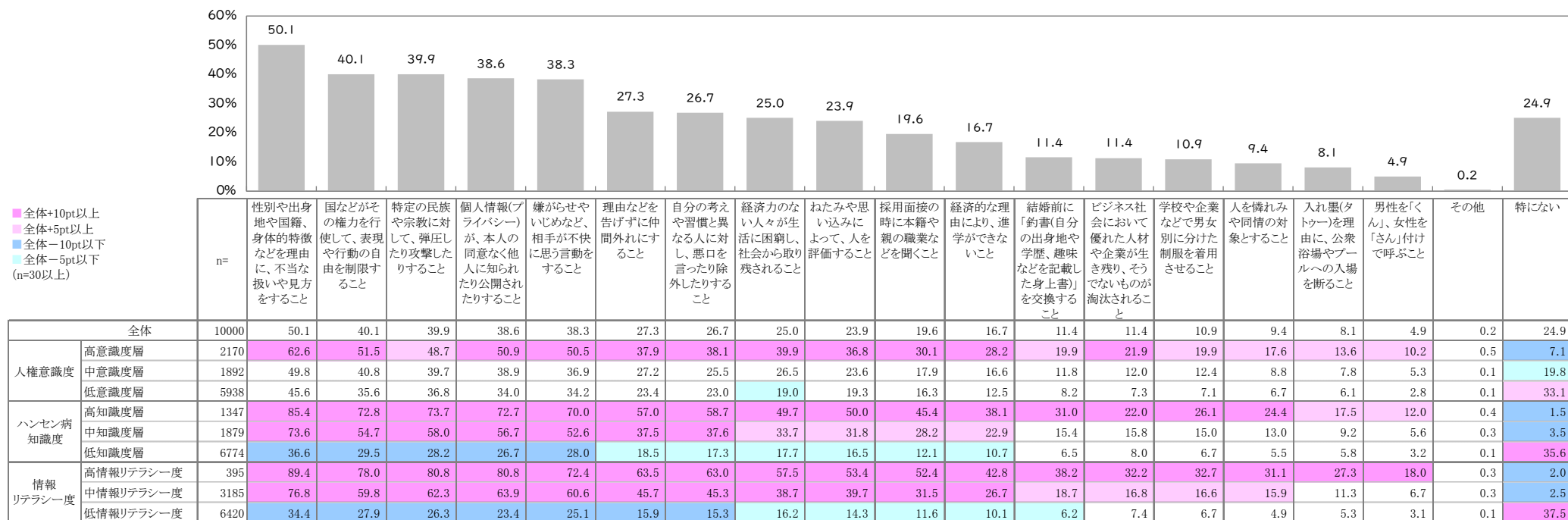
- 年代別で見ると、「60代以上」は「性別や出身地や国籍、身体的特徴などを理由に、不当な扱いや見方をすること」「国などがその権力を行使して、表現や行動の自由を制限すること」の割合が全体よりも10pt以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無別で見ると、「岡山県」は「国などがその権力を～」「嫌がらせやいじめ～」、「鹿児島県」は「性別や出身地～」、「沖縄県」は「国などがその権力を～」「個人情報が～」の割合が全体よりも10pt以上高い。



人権侵害や差別だと思うこと【セグメント別】

Q10 あなたが、人権侵害や差別だと思うことはどれですか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

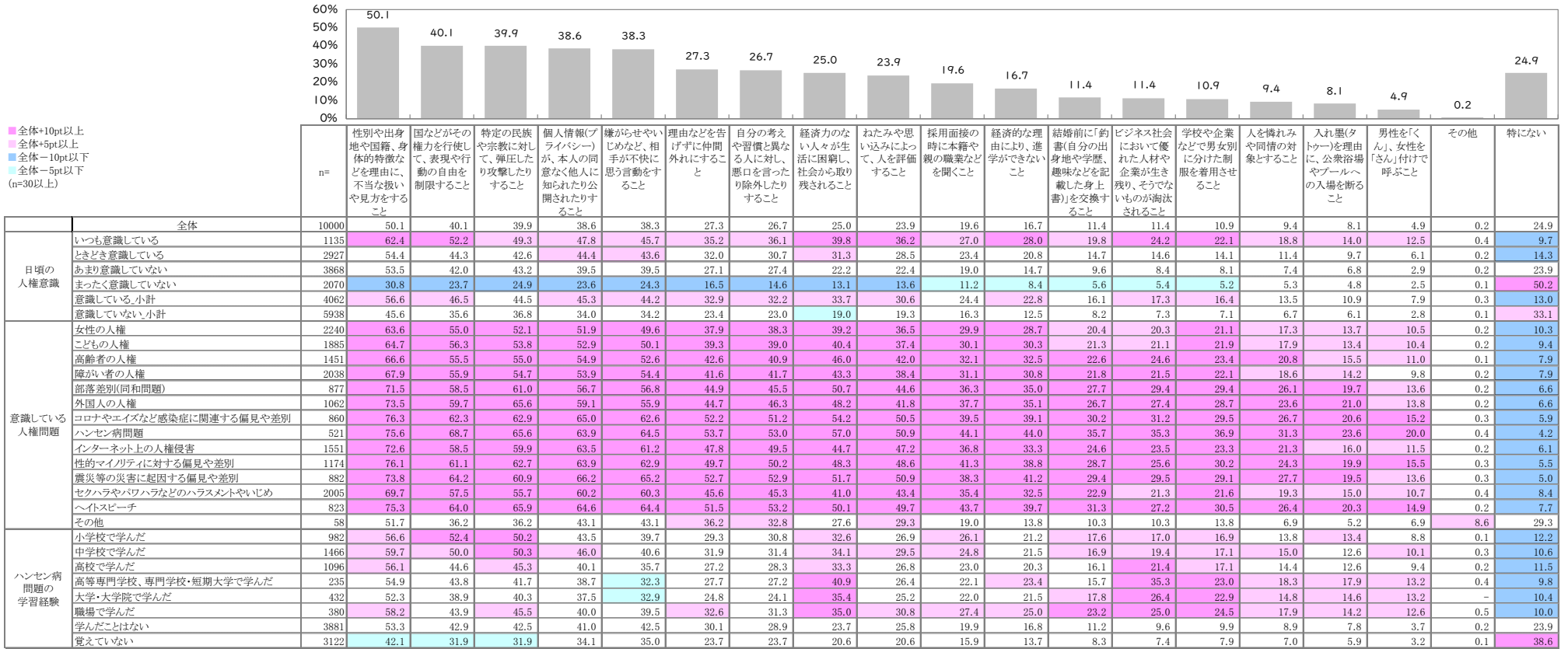
- 人権意識度別で見ると、「高意識度層」はすべての項目の割合が全体より高い。
- ハンセン病知識度別で見ると、「高知識度層」はほとんどの項目の割合が全体より10p以上高い。「中知識度層」は高知識度層よりは低い傾向がみられるものの、多くの項目の割合が全体よりも高い。
- 情報リテラシー度別で見ると、「高情報リテラシー度層」はすべての項目の割合が全体より10p以上高い。「中情報リテラシー度層」は高情報リテラシー層よりは低い傾向がみられるものの、多くの項目の割合が全体よりも高い。



人権侵害や差別だと思うこと【設問間クロス】Q10×Q1、Q2、Q3

Q10 あなたが、人権侵害や差別だと思うことはどれですか。(「特がない」を除き、いくつでも) (MA)

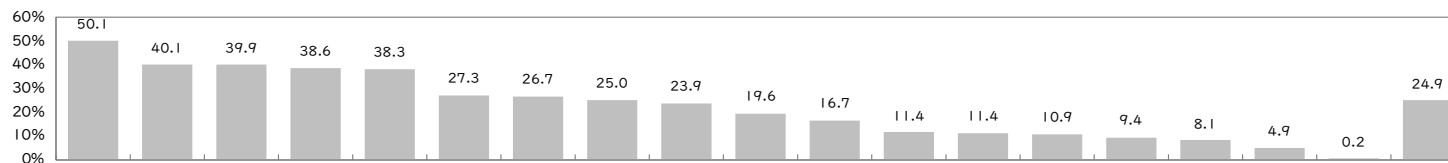
- 日頃の人権意識別で見ると、「いつも意識している」層は「性別や出身地や国籍、身体的特徴などを理由に、不当な扱いや見方をすること」「国などがその権力を行使して、表現や行動の自由を制限すること」「経済力のない人々が生活に困窮し、社会から取り残されること」「ねたみや思い込みによって、人を評価すること」「経済的な理由により、進学ができないこと」「ビジネス社会において優れた人材や企業が生き残り、そうでないものが淘汰されること」「学校や企業などで男女別に分けた制服を着用させること」の割合が全体よりも10p以上高い。



人権侵害や差別だと思うこと【設問間クロス】Q10×Q11、Q14、Q16

Q10 あなたが、人権侵害や差別だと思うことはどれですか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

- 人権が侵害されていると思った経験別で見ると、「大いにある」層はほとんどの項目の割合が全体より10p以上高い。
- 自身が人権を侵害した経験別で見ると、「大いにある」層はすべての項目の割合が全体よりも高い。



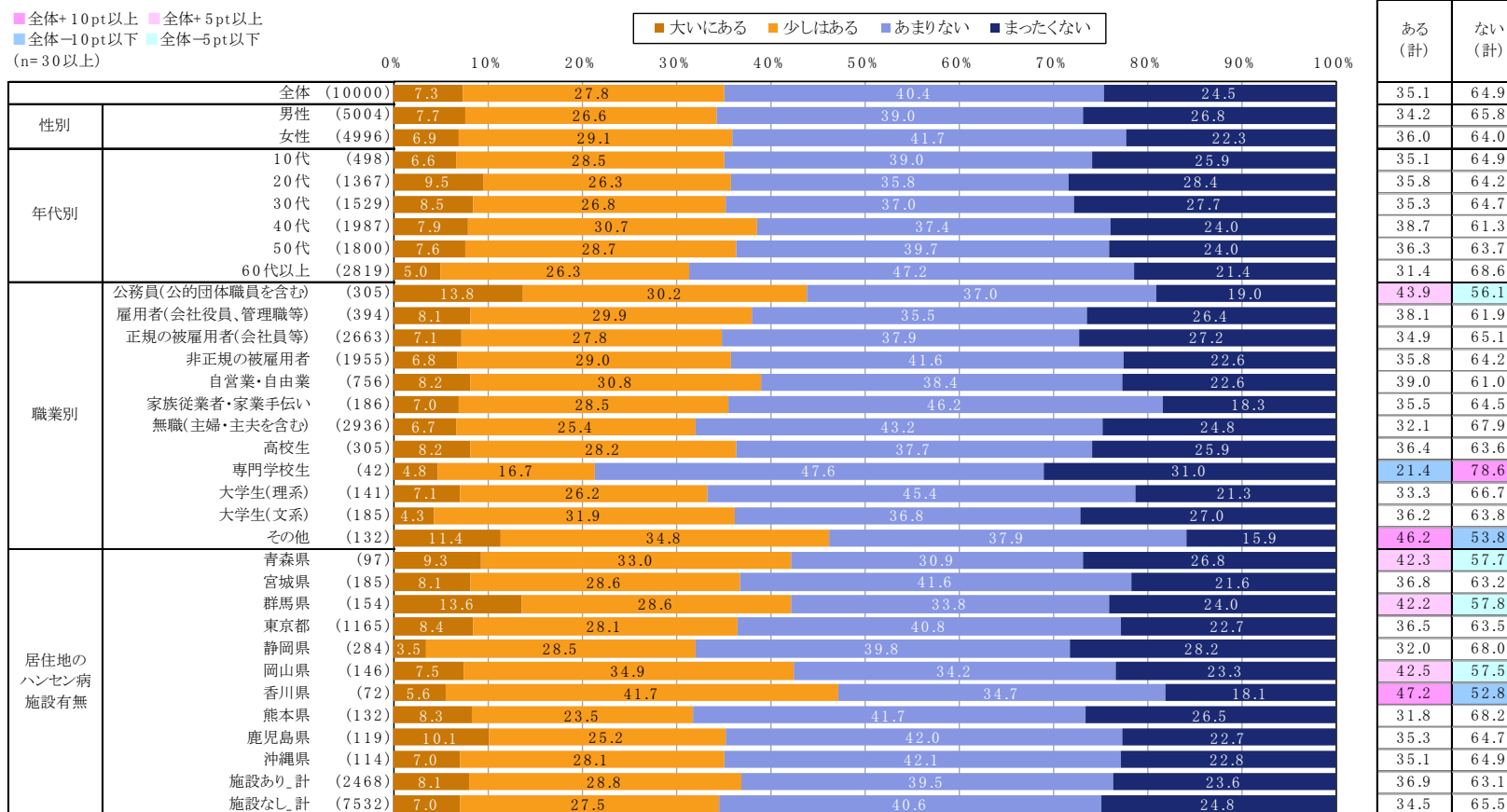
■全体+10pt以上
■全体+5pt以上
■全体-10pt以下
■全体-5pt以下
(n=30以上)

		n=	性別や出身地や国籍、身体的特徴などを理由に、不当な扱いや見方をすること	国などがその権力を使って、表現や行動の自由を制限すること	特定の民族や宗教に対して、強圧したり攻撃したりすること	個人情報(プライバシー)が、本人の同意なく他人に知られたり公開されたりすること	嫌がらせやいじめなど、相手が不快に思う言動をすること	理由などを告げずに仲間外れにすること	自分の考えや習慣と異なる人に対し、悪口を言ったり除外したりすること	経済力のない人々が生活に困窮し、社会から取り残されること	ねたみや思い込みによって、人を評価すること	採用面接の時に本籍や親の職業などを聞くこと	経済的な理由により、進学ができないこと	結婚前に「約書(自分の出身地や学歴、趣味などを記載した身上書)」を交換すること	ビジネス社会において優れた人材や企業が生き残り、そうでないものが淘汰されること	学校や企業などで男女別に分けた制服を着用させること	人を憐れみや同情の対象とすること	入れ墨(タトゥー)を理由に、公衆浴場やプールへの入場を断ること	男性を「くん」、女性を「さん」付けで呼ぶこと	その他	特にない
全体		10000	50.1	40.1	39.9	38.6	38.3	27.3	26.7	25.0	23.9	19.6	16.7	11.4	11.4	10.9	9.4	8.1	4.9	0.2	24.9
人権が侵害されていると思った経験	大いにある	729	62.3	52.1	53.1	54.2	57.9	43.8	42.2	43.9	44.4	36.1	35.1	23.5	26.1	24.3	21.5	18.2	12.1	1.4	7.4
	少しはある	2782	61.9	49.9	47.7	49.8	50.6	37.0	36.2	35.1	33.5	26.5	23.4	15.9	16.4	14.9	14.0	10.7	7.3	0.1	8.9
	あまりない まったくない	4036 2453	51.2 31.2	40.7 24.2	41.4 24.8	37.9 22.3	36.6 21.0	25.4 14.5	25.2 13.9	22.5 12.0	21.2 11.5	18.1 9.2	14.1 7.8	10.0 5.2	9.0 5.2	9.2 5.1	7.2 4.3	7.0 3.8	3.5 2.2	0.1 0.1	22.8 51.9
自身が人権を侵害した経験	大いにある	243	58.4	56.8	53.9	47.7	40.3	33.7	36.6	44.0	32.5	32.1	30.0	22.6	26.7	28.8	20.2	21.8	17.3	2.1	3.7
	少しはある	1781	60.9	45.1	49.0	46.3	46.7	35.6	35.0	35.5	31.4	26.2	23.3	17.5	18.0	16.7	14.8	12.2	7.5	0.3	8.4
	あまりない まったくない	4477 3499	53.0 40.3	42.6 33.1	41.5 32.3	41.1 30.8	40.5 31.0	28.1 21.6	28.2 19.9	24.9 18.5	24.7 18.6	20.8 13.8	16.7 12.3	11.2 7.9	10.5 8.1	10.4 7.2	9.1 6.4	7.5 5.7	4.4 3.3	0.0 0.2	21.6 39.0
情報に関する意識・行動	新しいニュースや話題、出来事などに敏感である	2813	64.5	60.0	55.0	50.4	50.1	37.7	35.3	37.0	32.8	27.5	25.2	17.7	17.6	15.6	15.0	11.7	7.6	0.2	6.4
	ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに関して知識が深いと思う	1820	67.3	56.3	56.8	53.9	50.4	38.5	37.1	39.2	33.4	28.4	25.1	18.3	21.1	18.8	15.9	12.9	8.8	0.2	5.2
	ネット情報の問題点について熟知している	1309	70.1	54.9	56.2	56.5	50.3	39.7	39.1	42.9	35.3	31.1	25.1	20.2	23.9	18.9	16.3	14.8	9.8	0.2	4.1
	人工知能(AI)は便利なものだが、頼りすぎるのは危険だと思う	3896	75.4	58.6	60.7	63.3	58.9	45.4	44.8	38.1	39.0	32.2	25.9	19.1	17.2	16.5	15.6	12.7	7.2	0.2	3.8
	新聞紙(スポーツ紙などは除く)を、ほぼ毎日読む	1715	72.3	56.4	58.7	56.4	51.3	39.7	39.9	38.1	31.8	28.5	24.7	20.0	19.0	18.8	15.5	13.1	9.0	0.1	4.3
	新聞社や通信社のウェブサイトを、ほぼ毎日見る	924	69.5	55.1	59.6	61.8	51.0	42.0	42.4	44.7	37.2	35.6	29.7	24.8	24.7	23.1	19.7	16.7	11.3	0.2	4.1
	テレビやラジオのニュースを、ほぼ毎日見聞きする	3471	73.3	56.7	58.7	57.9	56.5	43.6	42.5	34.7	36.7	30.0	25.9	18.3	15.8	16.2	14.9	11.9	7.0	0.1	5.7
発信元や出典が曖昧な情報は信頼しない	2977	79.2	62.2	64.9	69.1	66.8	51.5	51.6	38.6	44.2	35.5	29.4	20.8	16.3	17.6	18.3	13.2	7.7	0.3	3.3	
情報の真偽を複数のメディアで確認することがある	2136	76.8	62.7	64.0	67.6	66.5	49.5	51.3	39.9	44.7	37.6	29.6	22.0	16.6	18.2	18.7	13.5	7.7	0.5	4.6	
特にない	2665	15.5	13.2	12.3	11.1	13.2	7.5	7.6	7.5	7.3	5.7	5.7	3.1	2.9	4.0	2.9	3.0	2.3	0.2	72.0	

人権が侵害されていると思った経験【属性別】

Q11 あなたは、あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことはありますか。 (SA)

- 職業別で見ると、「公務員」は「ある(計)」の割合が全体よりも5p以上高い。

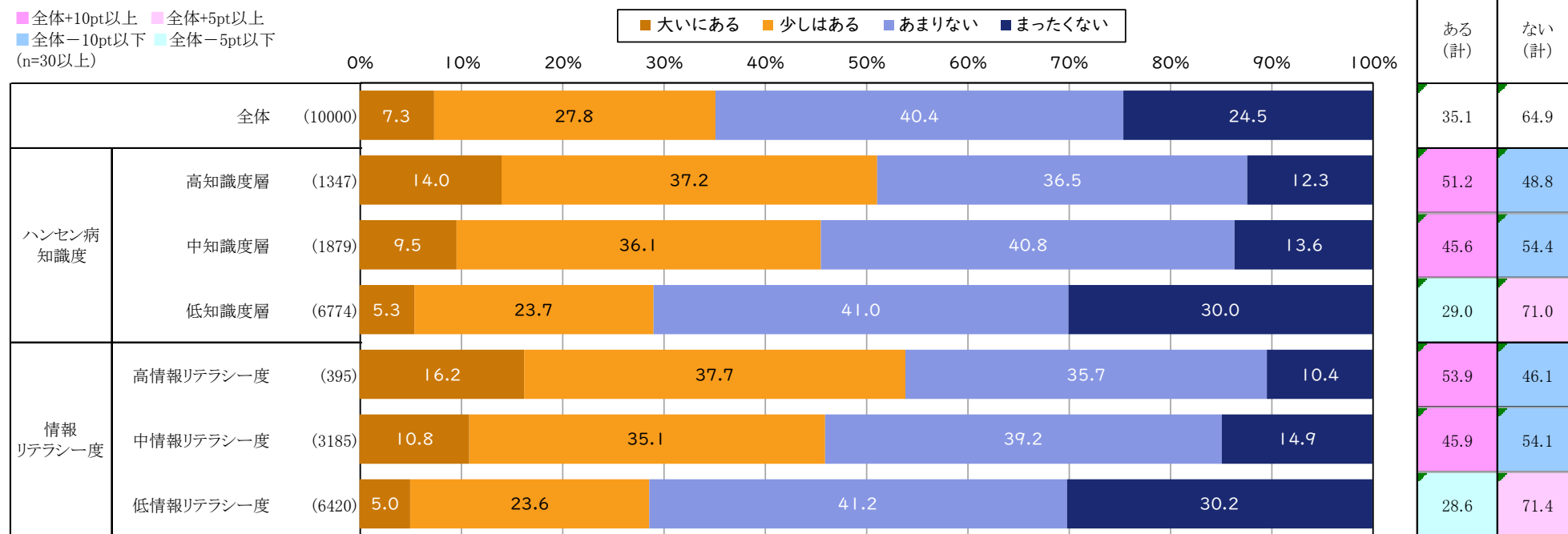


2%未満の数値ラベルは非表示

人権が侵害されていると思った経験【セグメント別】

Q11 あなたは、あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことはありますか。 (SA)

- ハンセン病知識度別でみると、「高知識度層」「中知識度層」は「ある(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別でみると、「高情報リテラシー度層」「中情報リテラシー度層」は「ある(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。

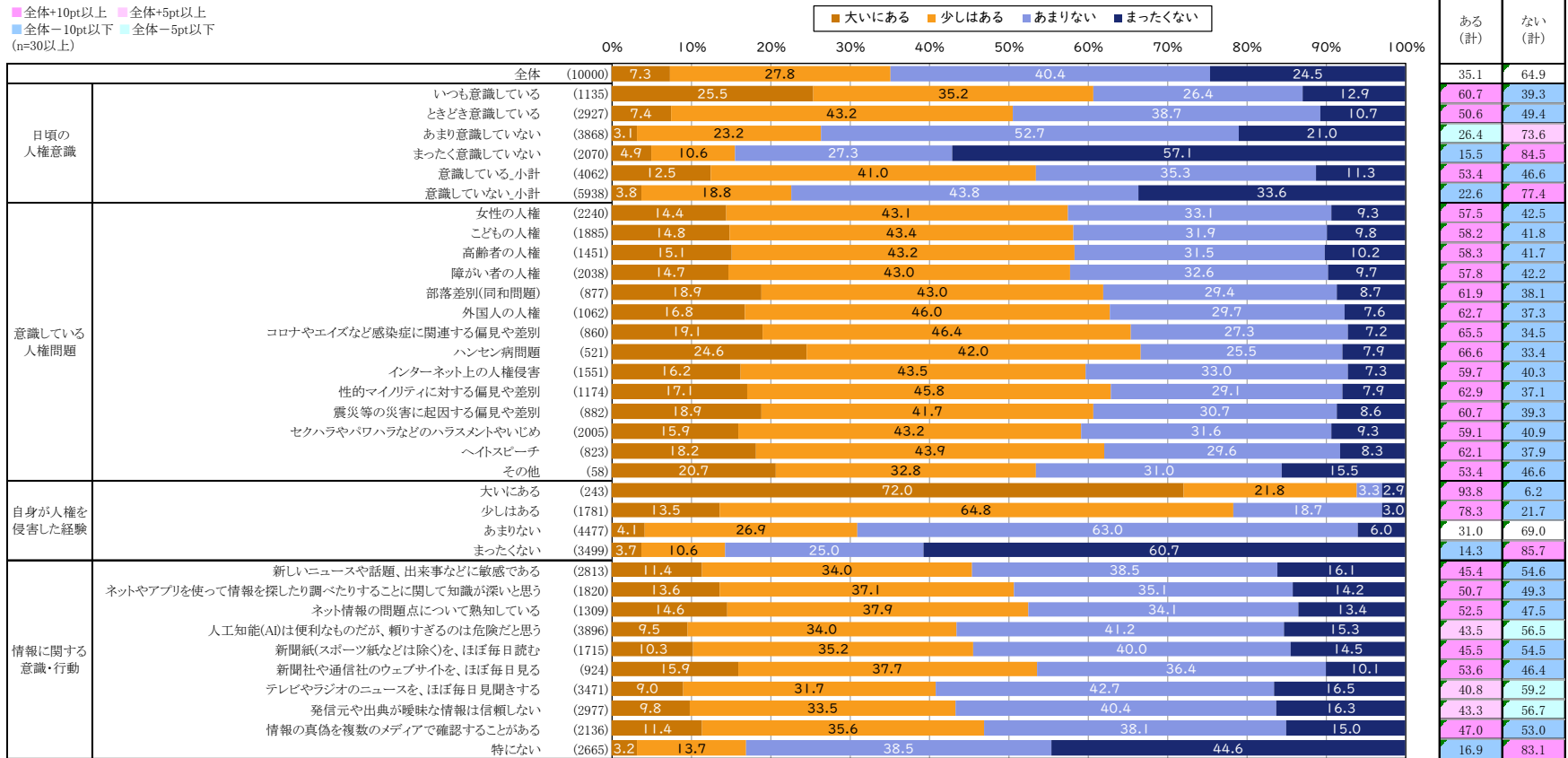


2%未満の数値ラベルは非表示

人権が侵害されていると思った経験 【設問間クロス】Q11×Q1、Q2、Q14、Q16

Q11 あなたは、あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことはありますか。 (SA)

- 日頃の人権意識別でみると、「いつも意識している」「ときどき意識している」層は「ある(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 自身が人権を侵害した経験別でみると、「大いにある」「少しはある」層は「ある(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報に関する意識・行動別でみると、「新しいニュースや話題、出来事などに敏感である」「ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに関して知識が深いと思う」「ネット情報の問題点について熟知している」「新聞紙(スポーツ紙などは除く)を、ほぼ毎日読む」「新聞社や通信社のウェブサイト、を、ほぼ毎日見る」「情報の真偽を複数のメディアで確認することがある」層は、「ある(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。

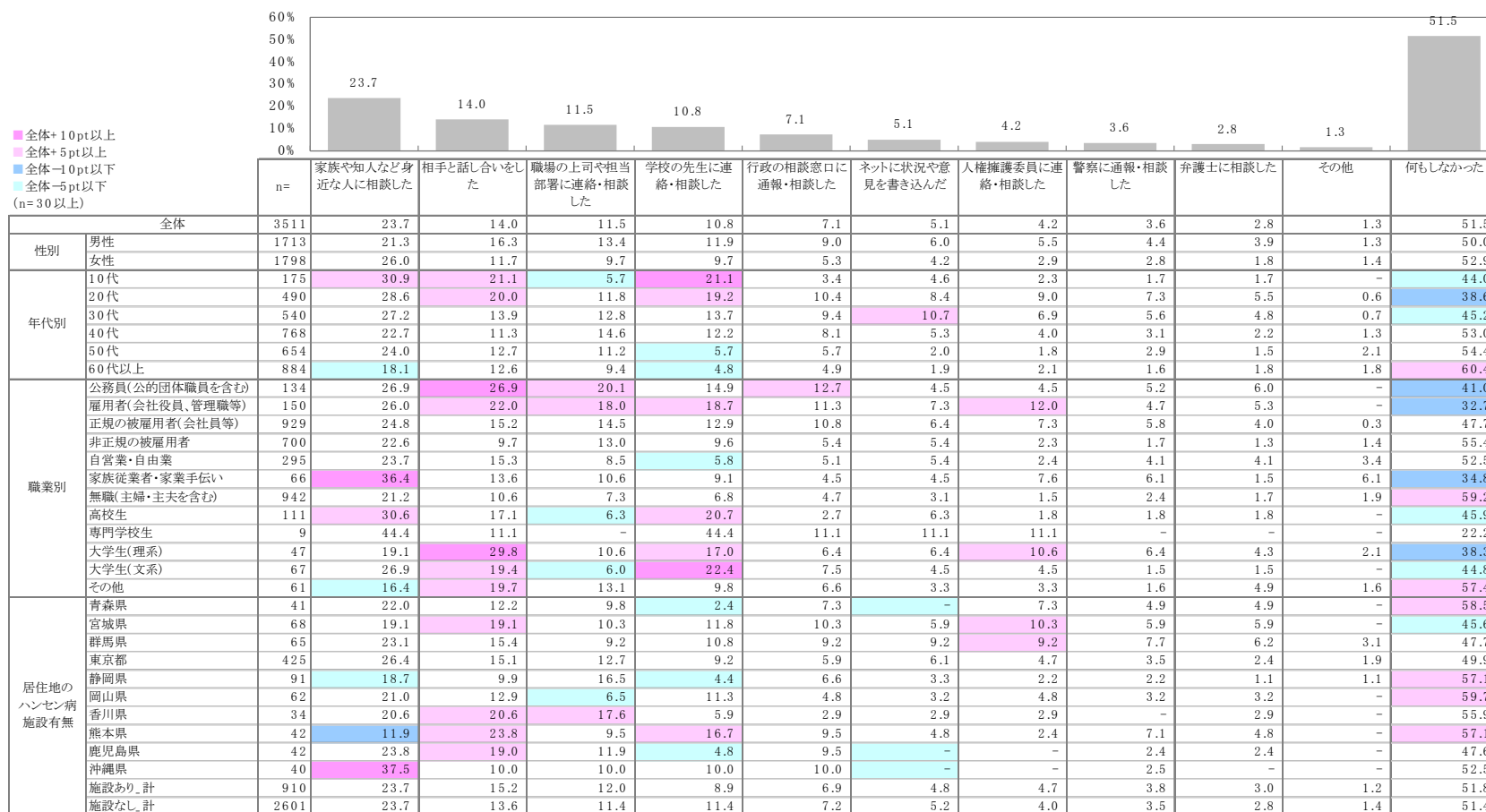


2%未満の数値ラベルは非表示

人権が侵害されていると思った時の行動【属性別】

Q12 あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことがあると回答した方にお伺いします。あなたは、その時にどうしましたか。(「特になし」を除き、いくつでも) (MA)

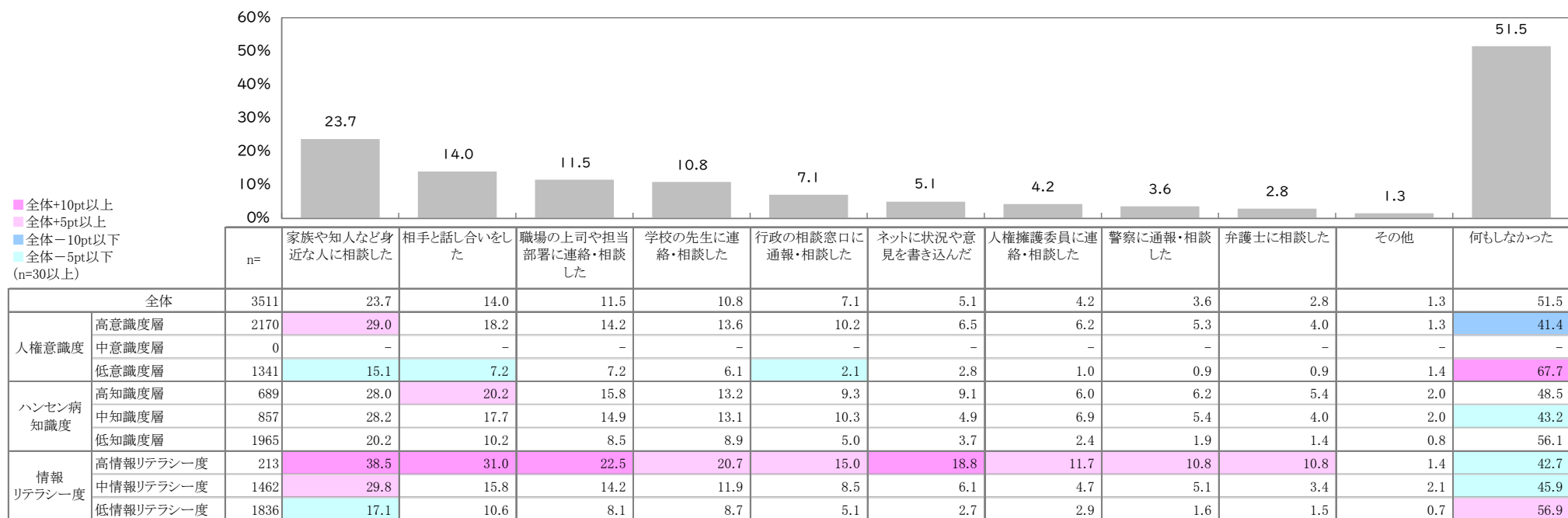
- 年代別で見ると、「10代」は「学校の先生に連絡・相談した」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 職業別で見ると、「公務員(公的団体職員を含む)」は「相手と話し合いをした」、の割合が全体よりも10p以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無別で見ると、「沖縄県」は「家族や知人など身近な人に相談した」の割合が全体よりも10p以上高い。



人権が侵害されていると思った時の行動【セグメント別】

Q12 あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことがあると回答した方にお伺いします。あなたは、その時にどうしましたか。（「特にない」を除き、いくつでも）（MA）

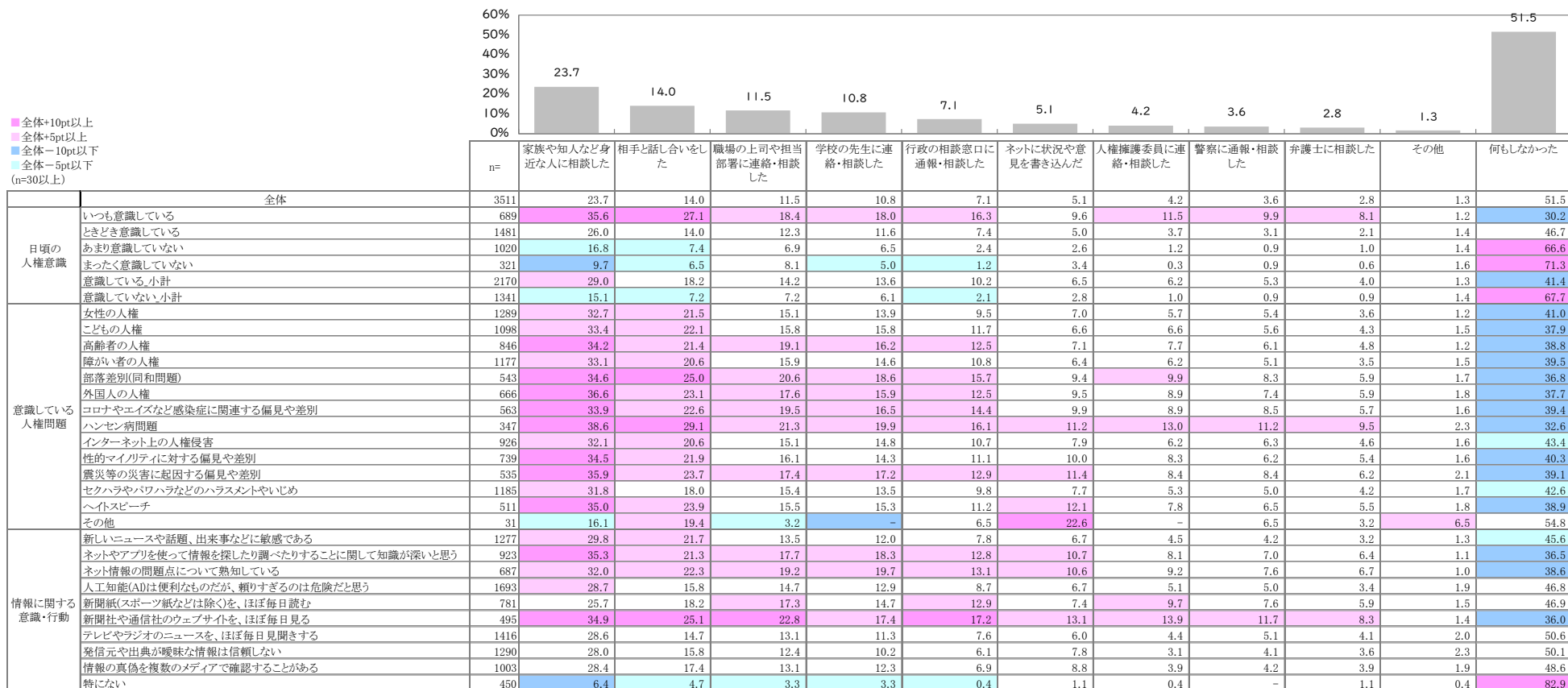
- 人権意識度別で見ると、「低意識度層」は「何もしなかった」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病知識度別で見ると、「高知識度層」は「相手と話し合いをした」の割合が全体より5p以上高い。
- 情報リテラシー度別で見ると、「高情報リテラシー度層」は「家族や知人など身近な人に相談した」「相手と話し合いをした」「職場の上司や担当部署に連絡・相談した」「ネットに状況や意見を書き込んだ」の割合が全体よりも10p以上高い。



人権が侵害されていると思った時の行動【設問間クロス】Q12×Q1、Q2、Q16

Q12 あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことがあると回答した方にお伺いします。あなたは、その時にどうしましたか。（「特にない」を除き、いくつでも）（MA）

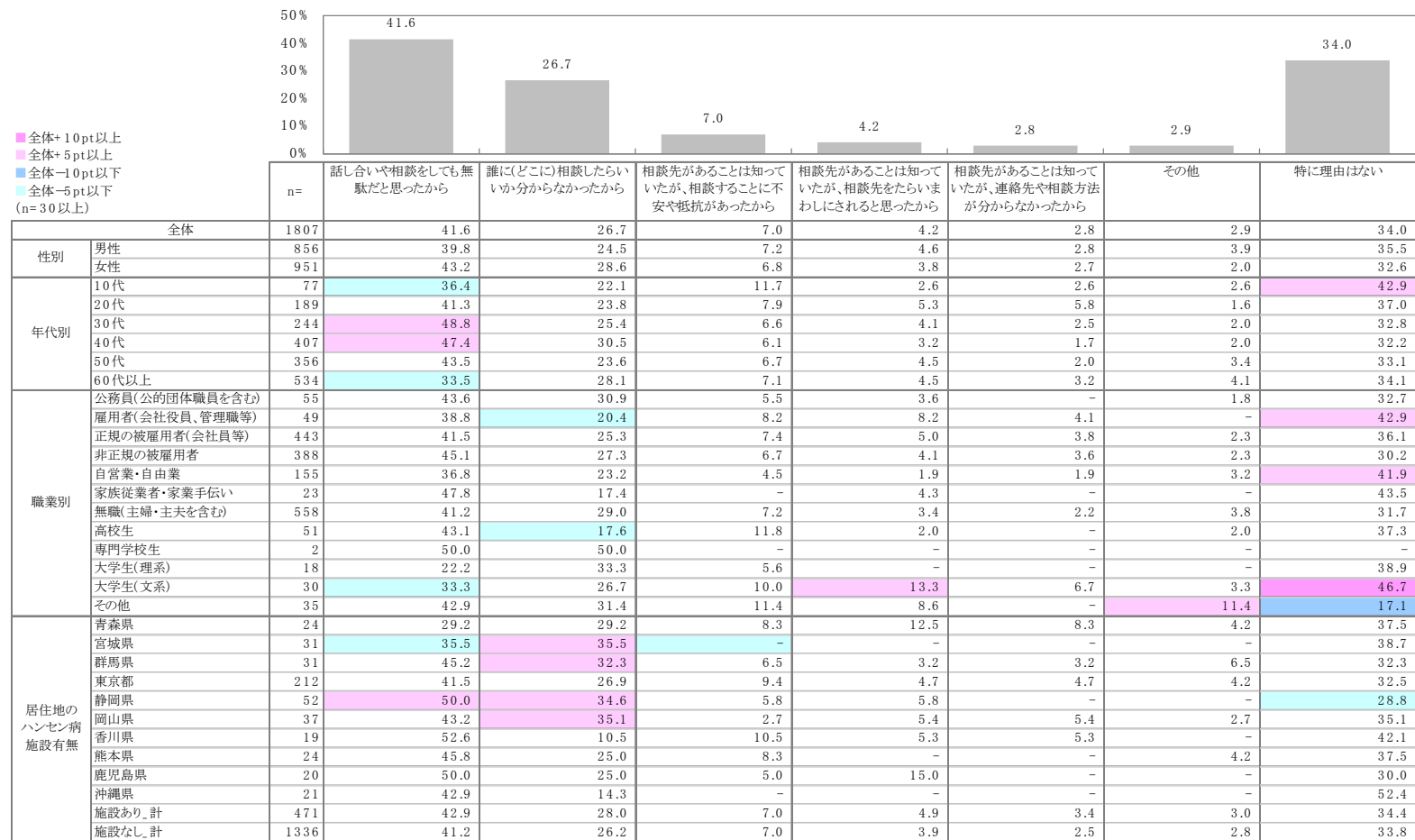
- 日頃の人権意識別でみると、「いつも意識している」層は「家族や知人など身近な人に相談した」「相手と話し合いをした」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報に関する意識・行動別でみると、「ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに関して知識が深いと思う」層は「家族や知人など身近な人に相談した」、「新聞社や通信社のウェブサイトを、ほぼ毎日見る」層は「家族や知人など身近な人に相談した」「相手と話し合いをした」「職場の上司や担当部署に連絡・相談した」「行政の相談窓口に通報・相談した」の割合が全体よりも10p以上高い。



人権が侵害されていると思った時に「何もしなかった」理由【属性別】

Q13 あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことがあるが、それに対して「何もしなかった」と回答した方にお伺いします。それはどうしてですか。(「特に理由はない」を除き、いくつでも) (MA)

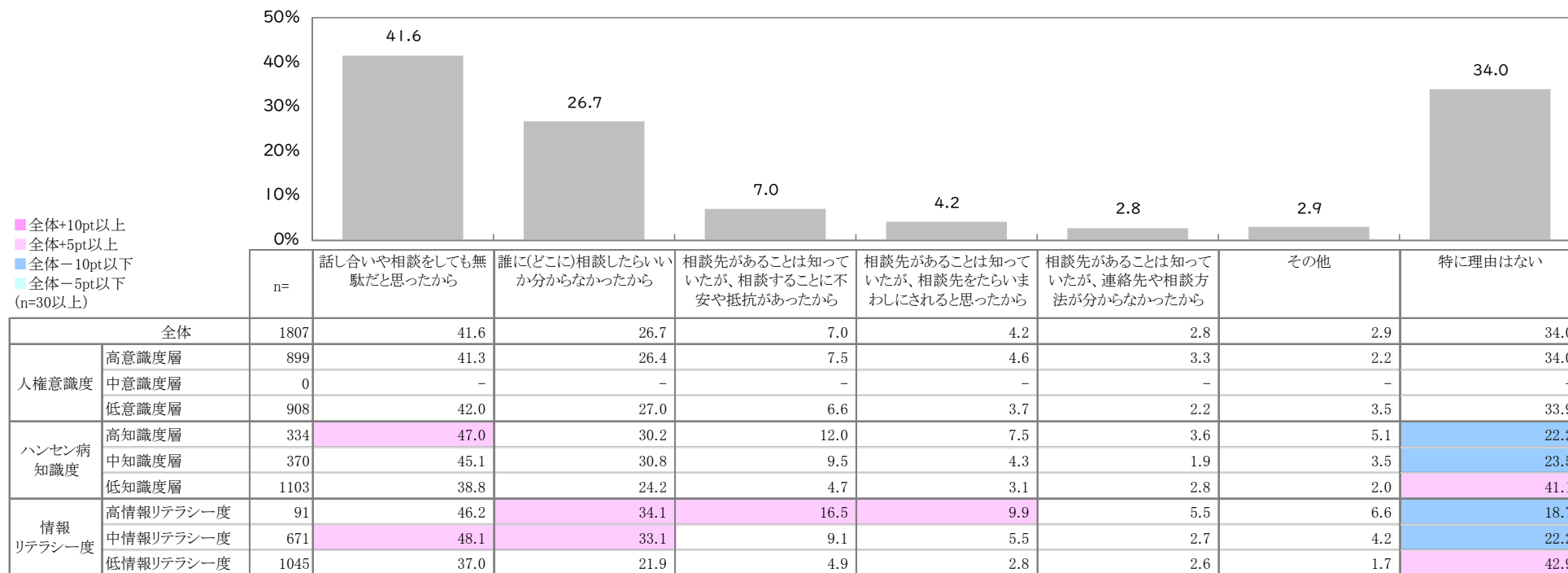
- 年代別で見ると、「30代」「40代」は「話し合いや相談をしても無駄だと思ったから」の割合が全体よりも5p以上高い。



人権が侵害されていると思った時に「何もなかった」理由【セグメント別】

Q13 あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことがあるが、それに対して「何もなかった」と回答した方にお伺いします。それはどうしてですか。（「特に理由はない」を除き、いくつでも）（MA）

- ハンセン病知識度別でみると、「高知識度層」は「話し合いや相談をしても無駄だと思ったから」の割合が全体より5p以上高い。また「高知識度層」「中知識度層」は「特に理由はない」が全体より10p以上低い。
- 情報リテラシー度別にみると、「中情報リテラシー層」は「話し合いや相談をしても無駄だと思ったから」「誰に（どこに）相談したらいいか分からなかったから」の割合が全体より5p以上高く、「特に理由はない」の割合が全体より10p以上低い。



人権が侵害されていると思った時に「何もしなかった」理由【設問間クロス】Q13×Q1、Q3、Q16

Q13 あなた自身や身の回りで、人権が侵害されていると思ったことがあるが、それに対して「何もしなかった」と回答した方にお伺いします。それはどうしてですか。(「特に理由はない」を除き、いくつでも) (MA)

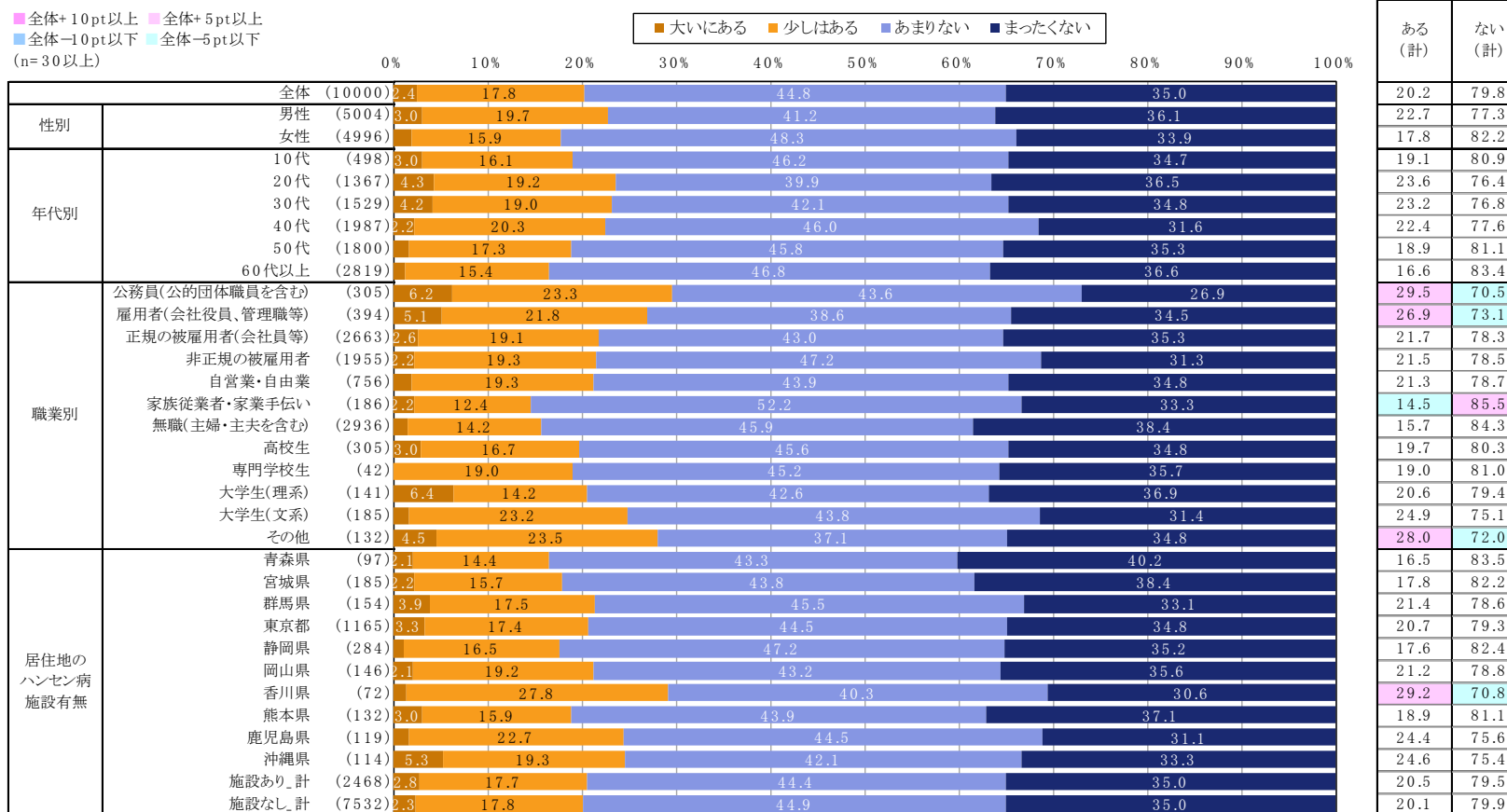
- 意識している人権問題別でみると、「震災等の災害に起因する偏見や差別」を選んだ層は「話し合いや相談をしても無駄だと思ったから」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報に関する意識・行動別でみると、「情報の真偽を複数のメディアで確認することがある」層は「話し合いや相談をしても無駄だと思ったから」の割合が全体よりも10p以上高い。



人権を侵害した経験【属性別】

Q14 あなたは、あなた自身が誰かの人権を侵害していたと思うことはありますか。 (SA)

- 職業別で見ると、「公務員(公的団体職員を含む)」と「雇用者(会社役員、管理職等)」は「ある(計)」の割合が全体より5p以上高く、「ない(計)」の割合が全体より5p以上低い。「家族従事者・家事手伝い」は「ある(計)」の割合が全体より5p以上低く、「ない(計)」の割合が全体より5p以上高い

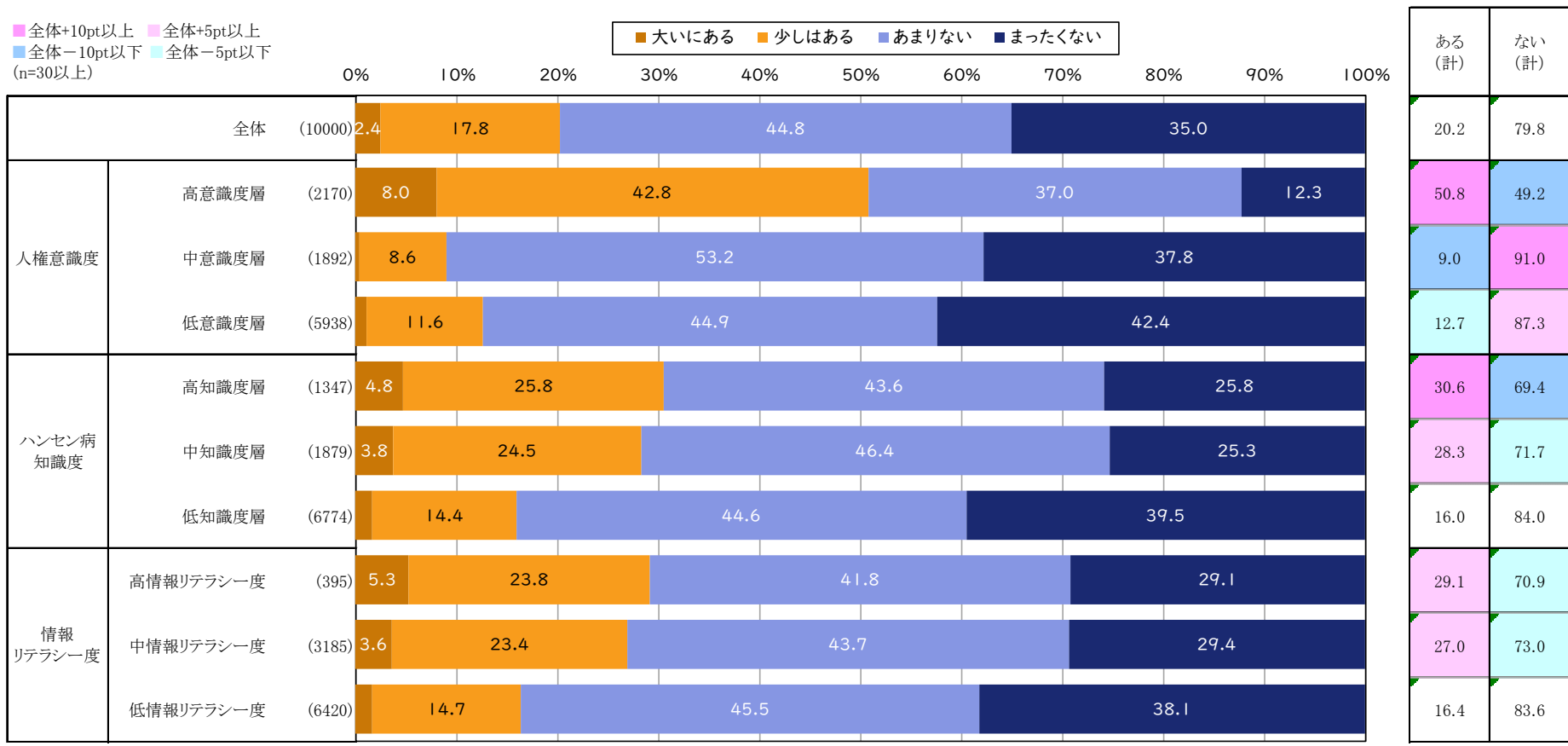


2%未満の数値ラベルは非表示

人権を侵害した経験【セグメント別】

Q14 あなたは、あなた自身が誰かの人権を侵害していたと思うことはありますか。 (SA)

- 人権意識度別でみると、「高意識度層」は「ある(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。「中意識度層」は「ない(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病知識度別でみると、「高知識度層」は「ある(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。



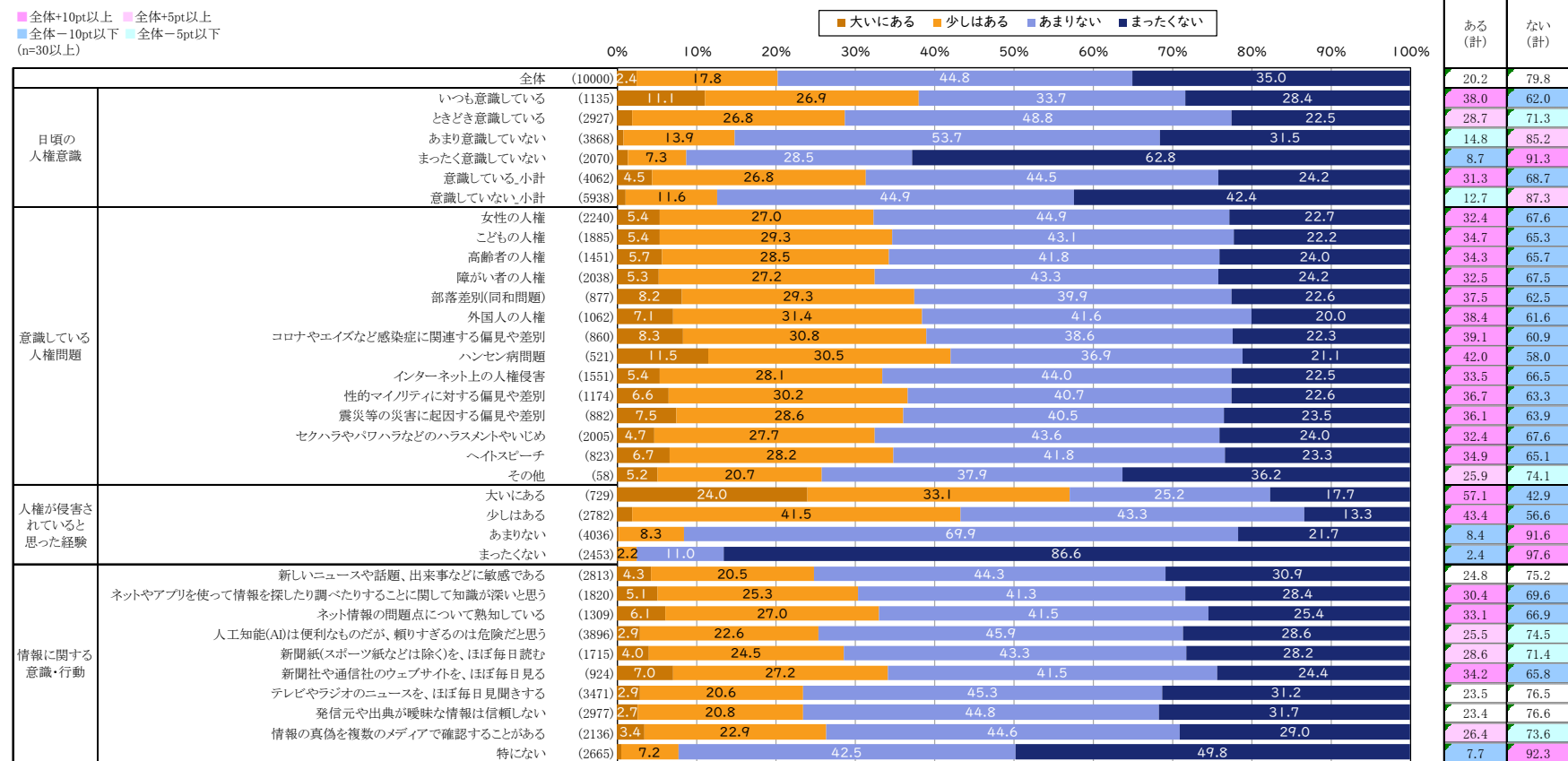
2%未満の数値ラベルは非表示

人権を侵害した経験【設問間クロス】Q14×Q1、Q3、Q11、Q16

Q14 あなたは、あなた自身が誰かの人権を侵害していたと思うことはありますか。 (SA)

- 日頃の人権意識でみると、「いつも意識している」層は「ある(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 人権が侵害されていると思った経験でみると、「大いにある」「少しはある」層は「ある(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報に関する意識・行動でみると、「ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに関して知識が深いと思う」層、「ネット情報の問題点について熟知している」層、「新聞社や通信社のウェブサイトを、ほぼ毎日見る」層は、「ある(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。

■全体+10pt以上 ■全体+5pt以上
 ■全体-10pt以下 ■全体-5pt以下
 (n=30以上)



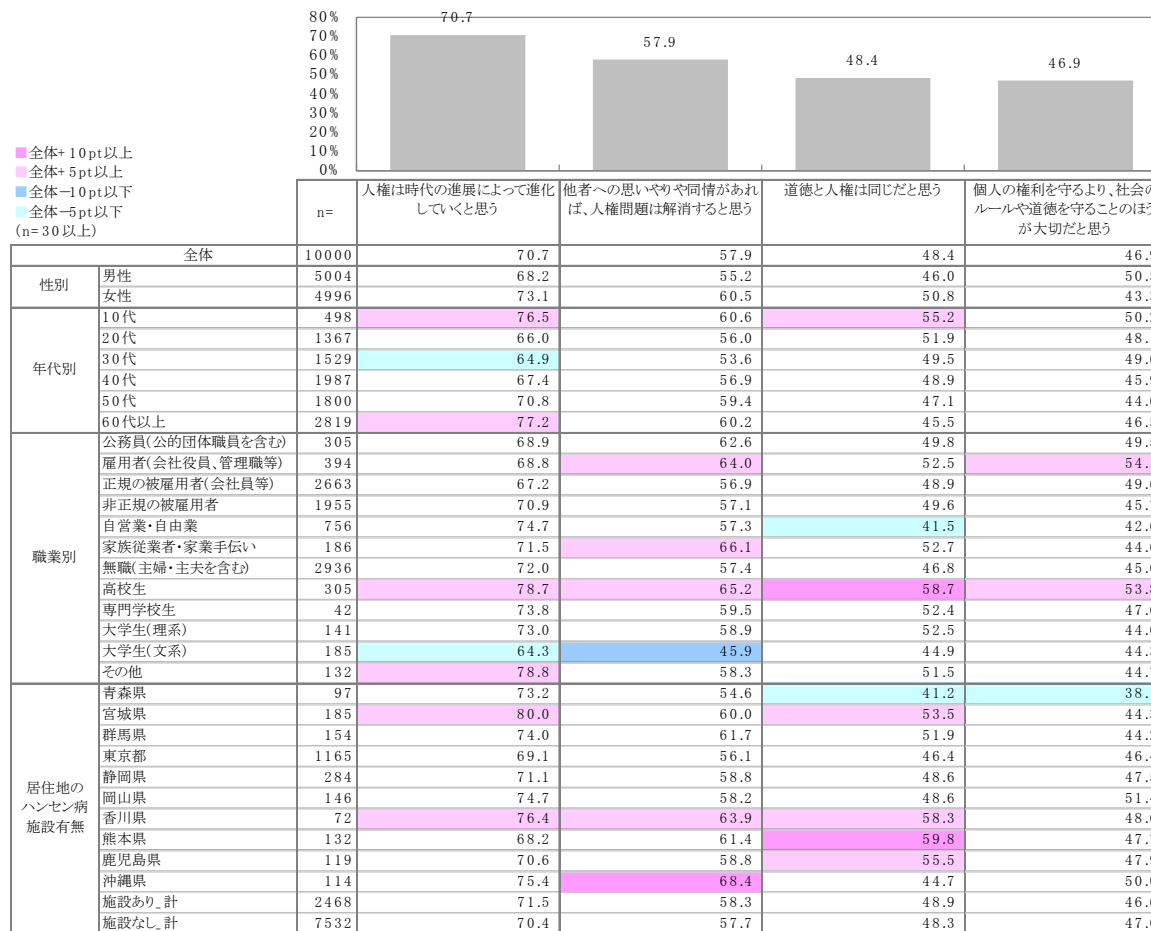
2%未満の数値ラベルは非表示

人権に対する認識や考え【属性別】

Q15 以下の項目について、あなた自身の認識や考えにあてはまると思うものはありますか。 (SA)

- 職業別で見ると、「高校生」は「道徳と人権は同じだと思う」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無別で見ると、「熊本県」は「道徳と人権は同じだと思う」、「沖縄県」は「他者への思いやりや同情があれば、人権問題は解消すると思う」の割合が全体よりも10p以上高い。

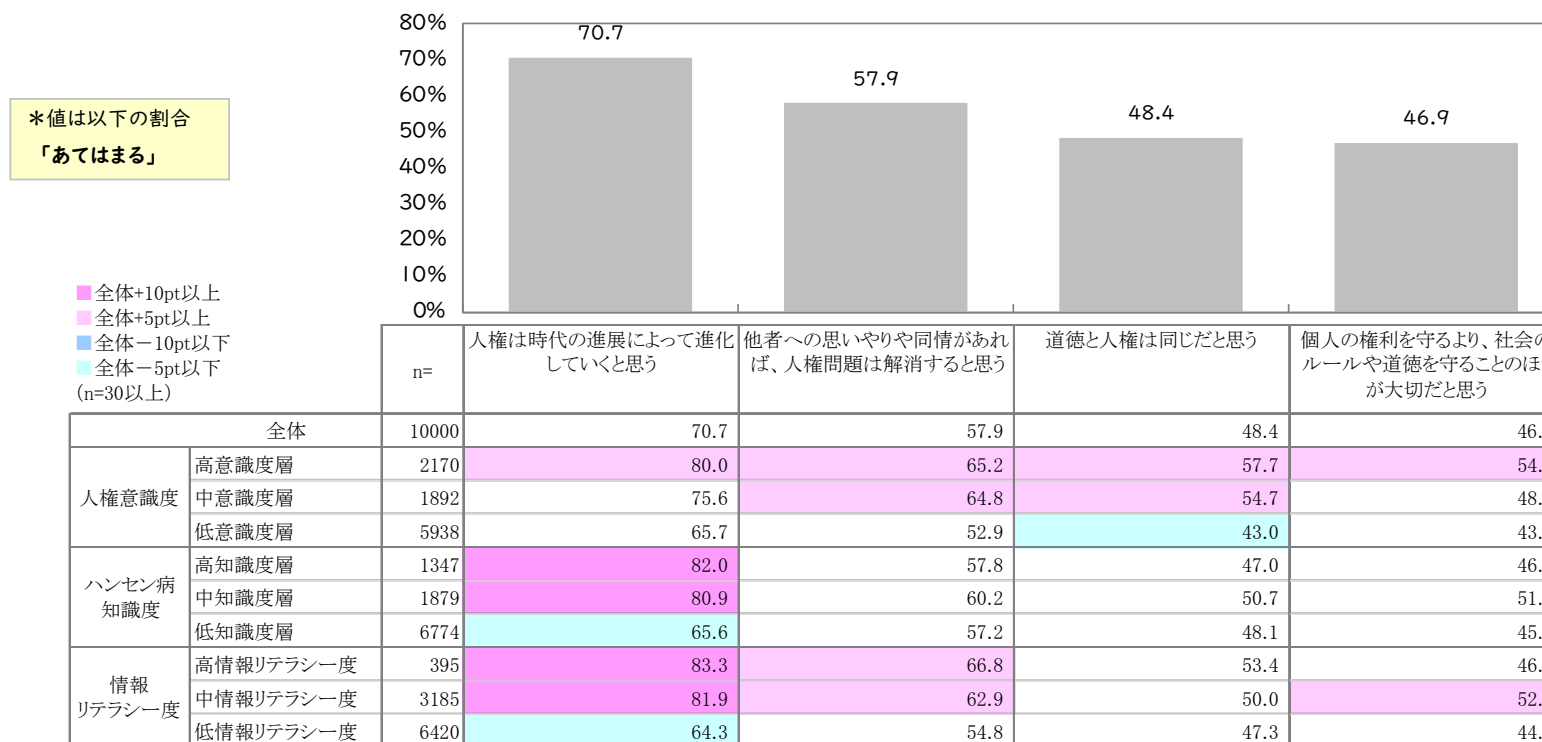
*値は以下の割合
「あてはまる」



人権に対する認識や考え【セグメント別】

Q15 以下の項目について、あなた自身の認識や考えにあてはまると思うものはありますか。 (SA)

- 人権意識度別にみると、「高意識度層」はすべての項目の割合が全体より5p以上高い。低意識度層は「道徳と人権は同じだと思う」の割合が全体より5p低い。
- ハンセン病知識度別でみると、「高知識度層」「中知識度層」は「人権は時代の進展によって進化していくと思う」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別でみると、「高情報リテラシー度層」「中情報リテラシー度層」は「人権は時代の進展によって進化していくと思う」の割合が全体よりも10p以上高い。

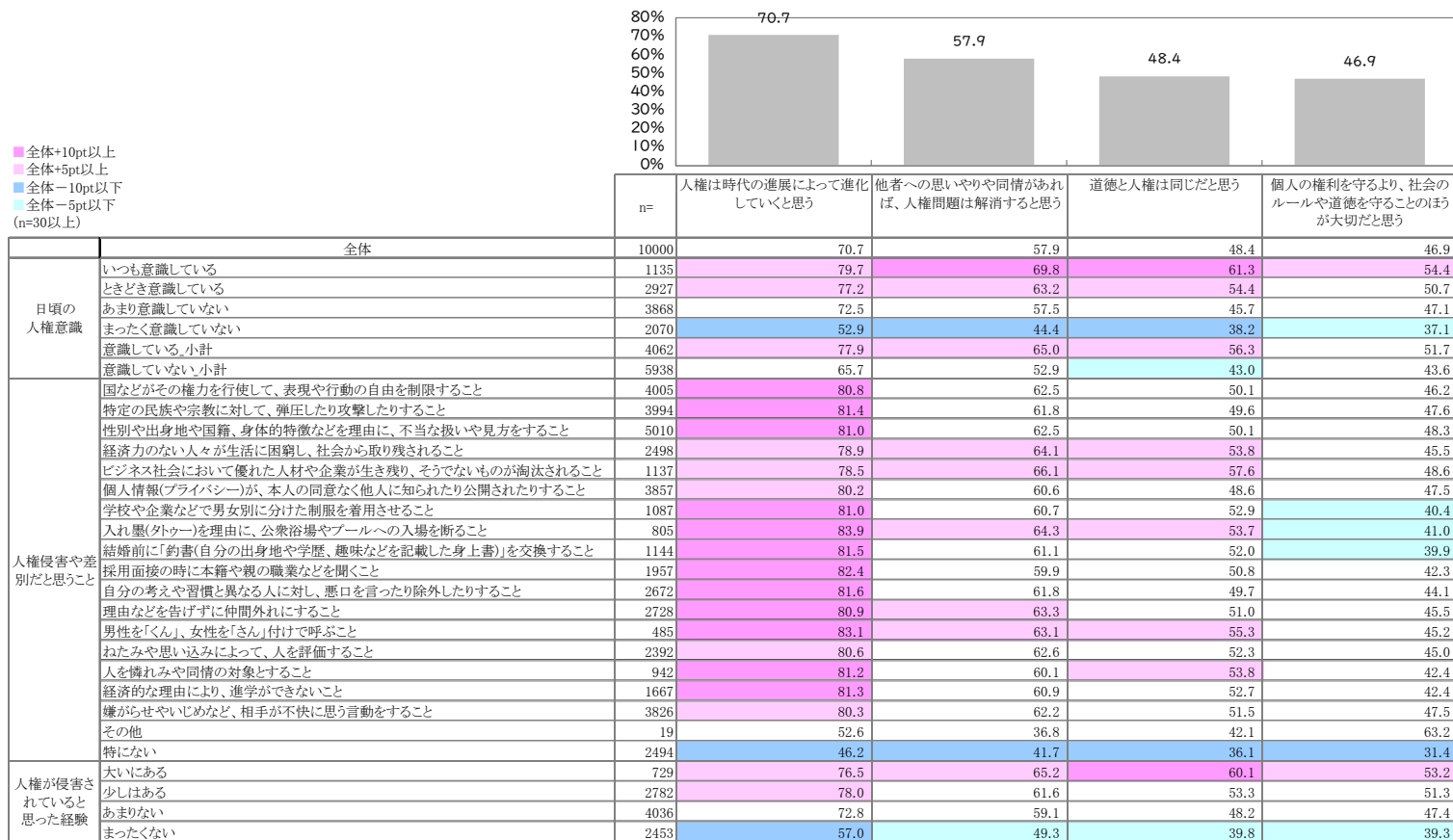


人権に対する認識や考え 【設問間クロス】Q15×Q1、Q10、Q11

Q15 以下の項目について、あなた自身の認識や考えにあてはまると思うものはありますか。 (SA)

- 日頃の人権意識別で見ると、「いつも意識している」層は「他者への思いやりや同情があれば、人権問題は解消すると思う」「道徳と人権は同じだと思う」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 人権が侵害されていると思った経験別で見ると、「大いにある」層は「道徳と人権は同じだと思う」の割合が全体よりも10p以上高い。

*値は以下の割合
「あてはまる」



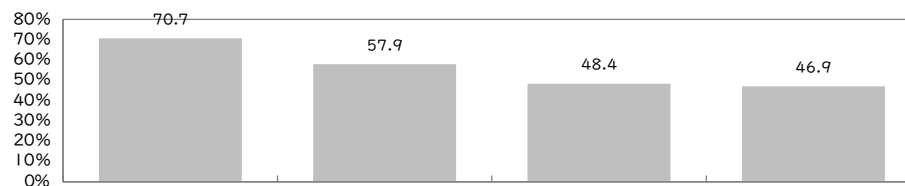
人権に対する認識や考え【設問間クロス】 Q15×Q12、Q14、Q16

Q15 以下の項目について、あなた自身の認識や考えにあてはまると思うものはありますか。 (SA)

- 自身が人権を侵害した経験別でみると、「大いにある」層は「道徳と人権は同じだと思う」「個人の権利を守るより、社会のルールや道徳を守ることのほうが大切だと思う」、「少しはある」層は「個人の権利を守るより、社会のルールや道徳を守ることのほうが大切だと思う」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報に関する意識・行動別でみると、「新しいニュースや話題、出来事などに敏感である」層は「人権は時代の進展によって進化していくと思う」「他者への思いやりや同情があれば、人権問題は解消すると思う」の割合が全体よりも10p以上高い。「ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに関して知識が深いと思う」層は「人権は時代の進展によって進化していくと思う」の割合が全体よりも10p以上高い。「ネット情報の問題点について熟知している」層は「人権は時代の進展によって進化していくと思う」「個人の権利を守るより、社会のルールや道徳を守ることのほうが大切だと思う」の割合が全体よりも10p以上高い。「人工知能(AI)は便利なものだが、頼りすぎるのは危険だと思う」層は「人権は時代の進展によって進化していくと思う」、「テレビやラジオのニュースを、ほぼ毎日見聞きする」層は「人権は時代の進展によって進化していくと思う」、「情報の真偽を複数のメディアで確認することがある」層は「人権は時代の進展によって進化していくと思う」の割合が全体よりも10p以上高い。

*値は以下の割合
「あてはまる」

■全体+10pt以上
■全体+5pt以上
■全体-10pt以下
■全体-5pt以下
(n=30以上)

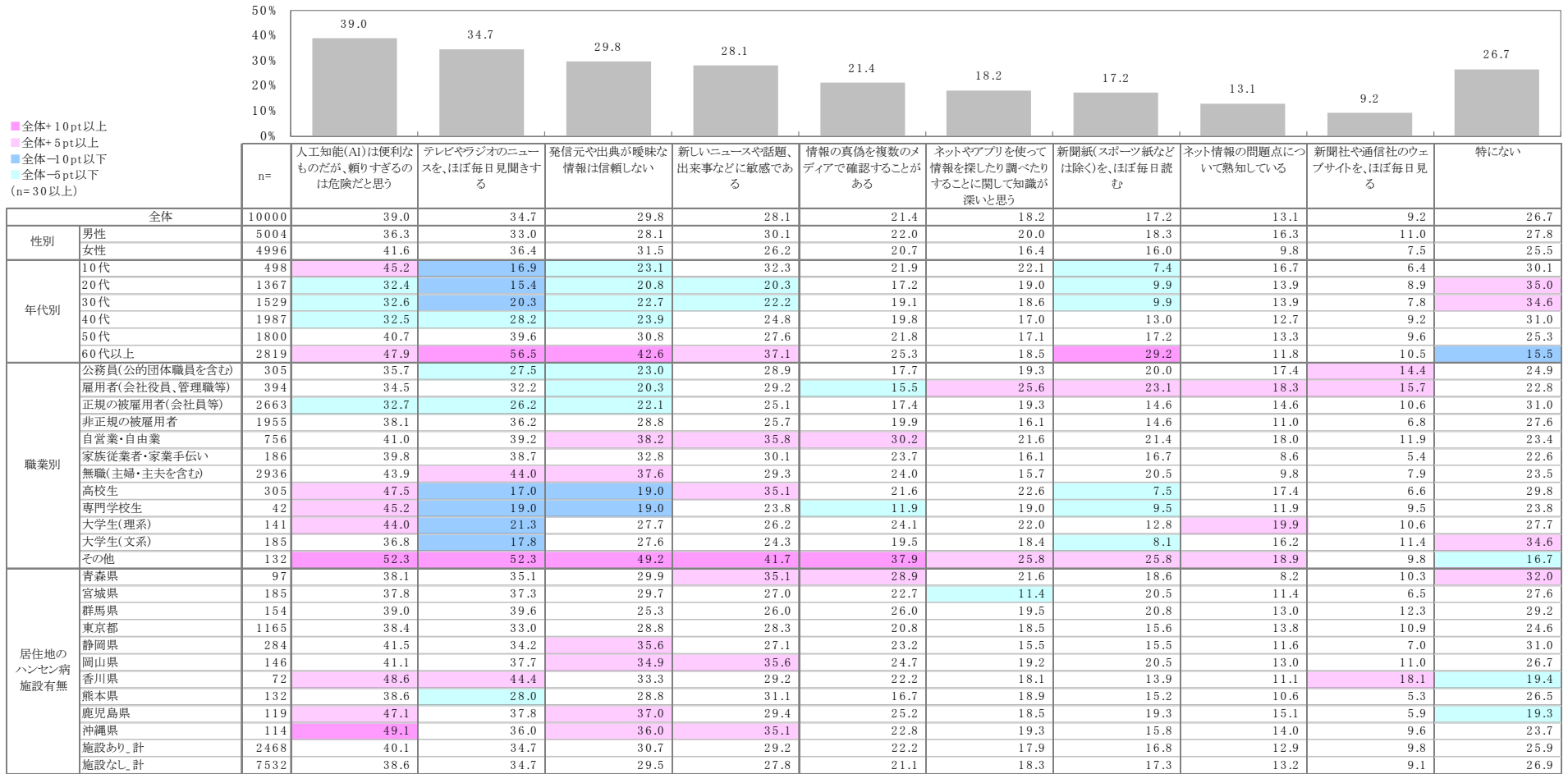


		n=	人権は時代の進展によって進化していくと思う	他者への思いやりや同情があれば、人権問題は解消すると思う	道徳と人権は同じだと思う	個人の権利を守るより、社会のルールや道徳を守ることのほうが大切だと思う
全体		10000	70.7	57.9	48.4	46.9
人権が侵害されていると 思った時の行動	相手と話し合いをした	491	83.1	71.7	63.5	58.7
	家族や知人など身近な人に相談した	832	82.2	69.0	60.8	57.1
	学校の先生に連絡・相談した	378	80.2	69.8	64.3	66.7
	職場の上司や担当部署に連絡・相談した	405	77.8	68.9	61.2	57.3
	行政の相談窓口に通報・相談した	250	82.0	72.4	65.6	73.2
	人権擁護委員に連絡・相談した	147	81.6	76.9	74.8	81.0
	警察に通報・相談した	126	80.2	77.0	70.6	81.0
	弁護士に相談した	99	83.8	71.7	72.7	76.8
	ネット(ウェブサイトやSNSなど)に状況や意見を書き込んだ	178	82.0	68.0	61.2	57.9
	その他	47	76.6	48.9	42.6	46.8
何もしなかった	1807	75.7	57.6	50.3	45.5	
自身が人権を侵害した経験	大いにある	243	78.2	66.7	64.6	66.7
	少しはある	1781	78.0	59.8	54.8	57.4
	あまりない	4477	72.8	58.3	49.1	45.9
	まったくない	3499	63.6	55.6	43.2	41.5
情報に関する意識・行動	新しいニュースや話題、出来事などに敏感である	2813	82.4	68.0	56.1	52.7
	ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに関して知識が深いと思う	1820	82.7	67.5	57.4	56.4
	ネット情報の問題点について熟知している	1309	81.7	66.3	55.6	57.4
	人工知能(AI)は便利なものだが、頼りすぎるのは危険だと思う	3896	80.8	61.4	49.7	50.5
	新聞紙(スポーツ紙などは除く)を、ほぼ毎日読む	1715	79.4	63.7	50.4	52.8
	新聞社や通信社のウェブサイトを、ほぼ毎日見る	924	79.0	61.7	53.0	52.9
	テレビやラジオのニュースを、ほぼ毎日見聞きする	3471	81.6	65.6	50.9	50.1
	発信元や出典が曖昧な情報は信頼しない	2977	80.4	59.7	47.3	48.6
	情報の真偽を複数のメディアで確認することがある	2136	80.8	57.7	47.5	49.9
特になし	2665	47.2	41.6	37.3	31.1	

情報に関する意識・行動【属性別】

Q16 あなた自身について、あてはまると思う項目はどれですか。(「特にない」を除き、いくつでも) (MA)

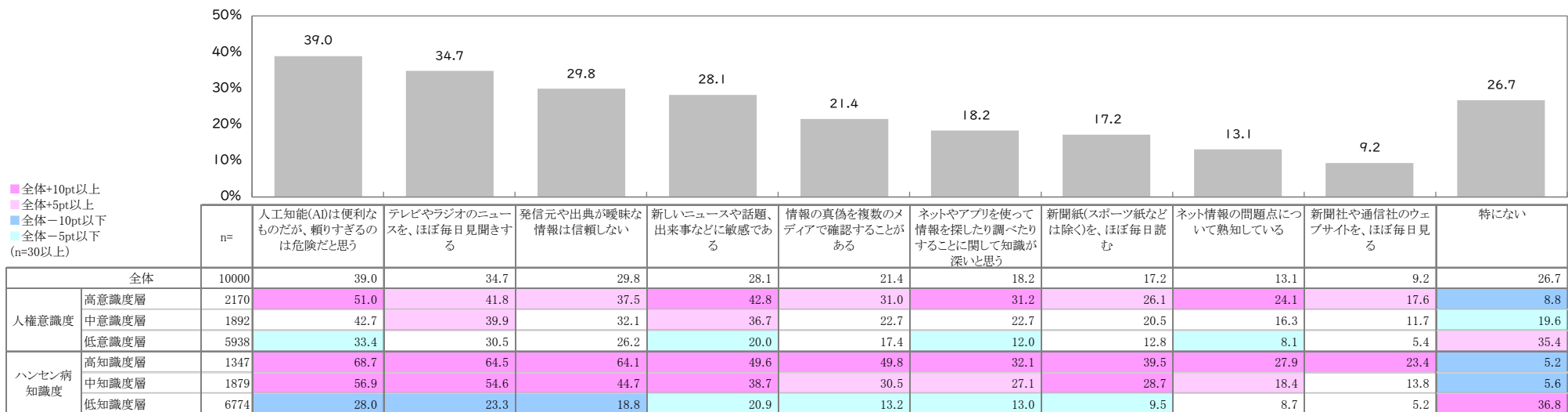
- 年代別で見ると、「60代以上」は「テレビやラジオのニュースを、ほぼ毎日見聞きする」「発信元や出典が曖昧な情報は信頼しない」「新聞紙(スポーツ紙などは除く)を、ほぼ毎日読む」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無別で見ると、「沖縄県」は「人工知能(AI)は便利なものだが、頼りすぎるのは危険だと思う」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 一方、「10代」から「30代」、「高校生」「大学生(理系・文系)」は「テレビやラジオのニュースを、ほぼ毎日見聞きする」の割合が全体よりも10p以上低い。



情報に関する意識・行動【セグメント別】

Q16 あなた自身について、あてはまると思う項目はどれですか。（「特にない」を除き、いくつでも）（MA）

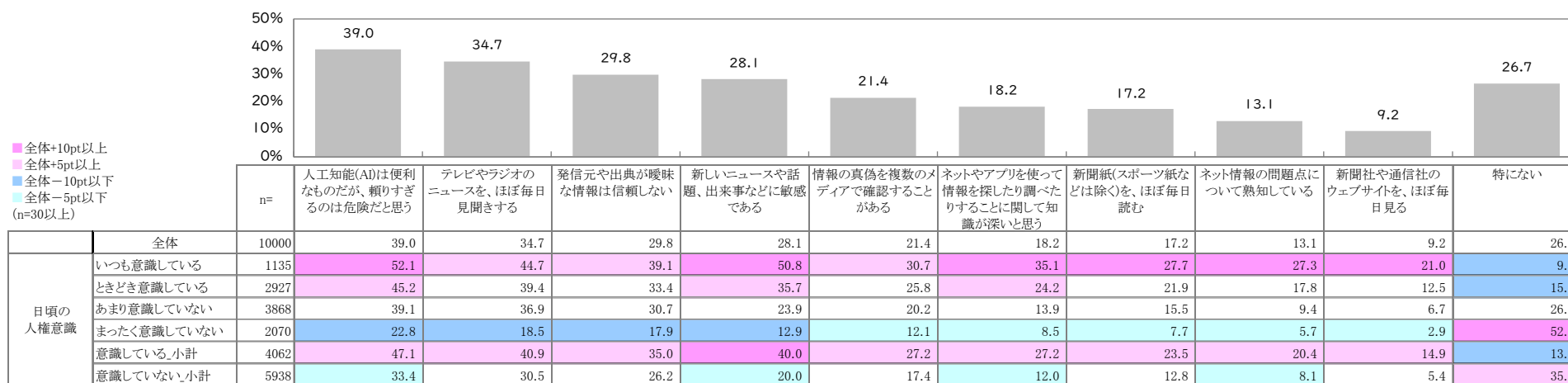
- 人権意識度別で見ると、「高意識度層」は「人工知能(AI)は便利なものだが、頼りすぎるのは危険だと思う」「新しいニュースや話題、出来事などに敏感である」「ネットやアプリを使って情報を探したり調べたりすることに関して知識が深いと思う」「ネット情報の問題点について熟知している」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病知識度別で見ると、「高知識度層」はすべての項目の割合が全体よりも10p以上高い。「中情報リテラシー度層」は高情報リテラシー層よりは低い傾向がみられるものの、多くの項目の割合が全体よりも高い。



情報に関する意識・行動【設問間クロス】Q16×Q1

Q16 あなた自身について、あてはまると思う項目はどれですか。（「特にない」を除き、いくつでも）（MA）

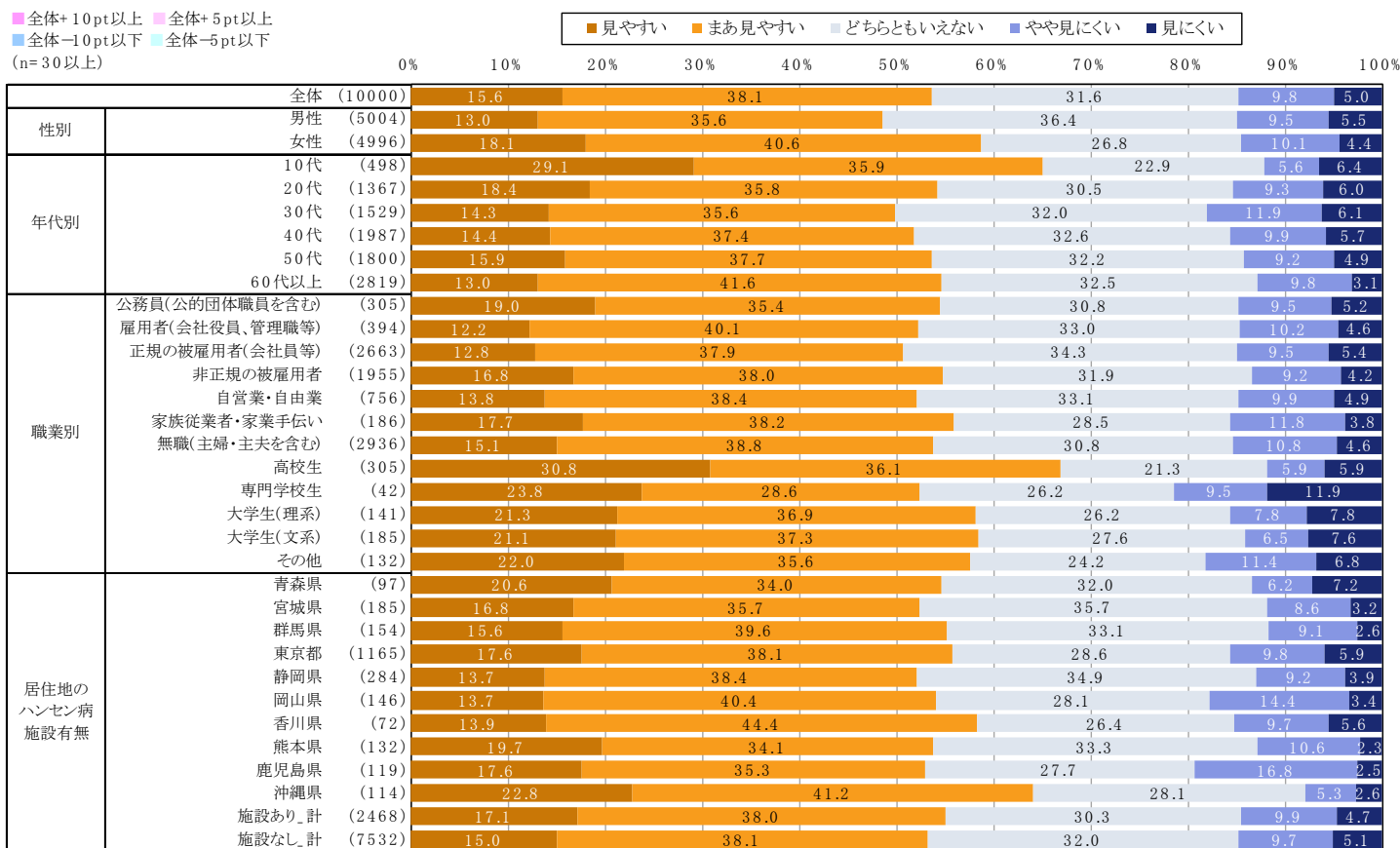
- 日頃の人権意識別で見ると、「いつも意識している」層は、すべて項目の割合が全体よりも高い。「まったく意識していない」層は、すべて項目の割合が全体よりも低い。



ウェブサイトの「デザイン・レイアウト」の見やすさ【属性別】

Q17_I 国立ハンセン病資料館ウェブサイトの「デザイン・レイアウト」は、見やすかったですか。 (SA)

- 年代別で見ると、「10代」は「見やすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 職業別で見ると、「高校生」は「見やすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無別で見ると、「沖縄県」は「見やすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。



見やすい(計)	見にくい(計)
53.6	14.7
48.6	15.0
58.7	14.5
65.1	12.0
54.2	15.3
49.9	18.1
51.8	15.6
53.7	14.2
54.6	12.9
54.4	14.8
52.3	14.7
50.7	15.0
54.8	13.4
52.1	14.8
55.9	15.6
53.8	15.4
66.9	11.8
52.4	21.4
58.2	15.6
58.4	14.1
57.6	18.2
54.6	13.4
52.4	11.9
55.2	11.7
55.7	15.7
52.1	13.0
54.1	17.8
58.3	15.3
53.8	12.9
52.9	19.3
64.0	7.9
55.1	14.5
53.2	14.8

2%未満の数値ラベルは非表示

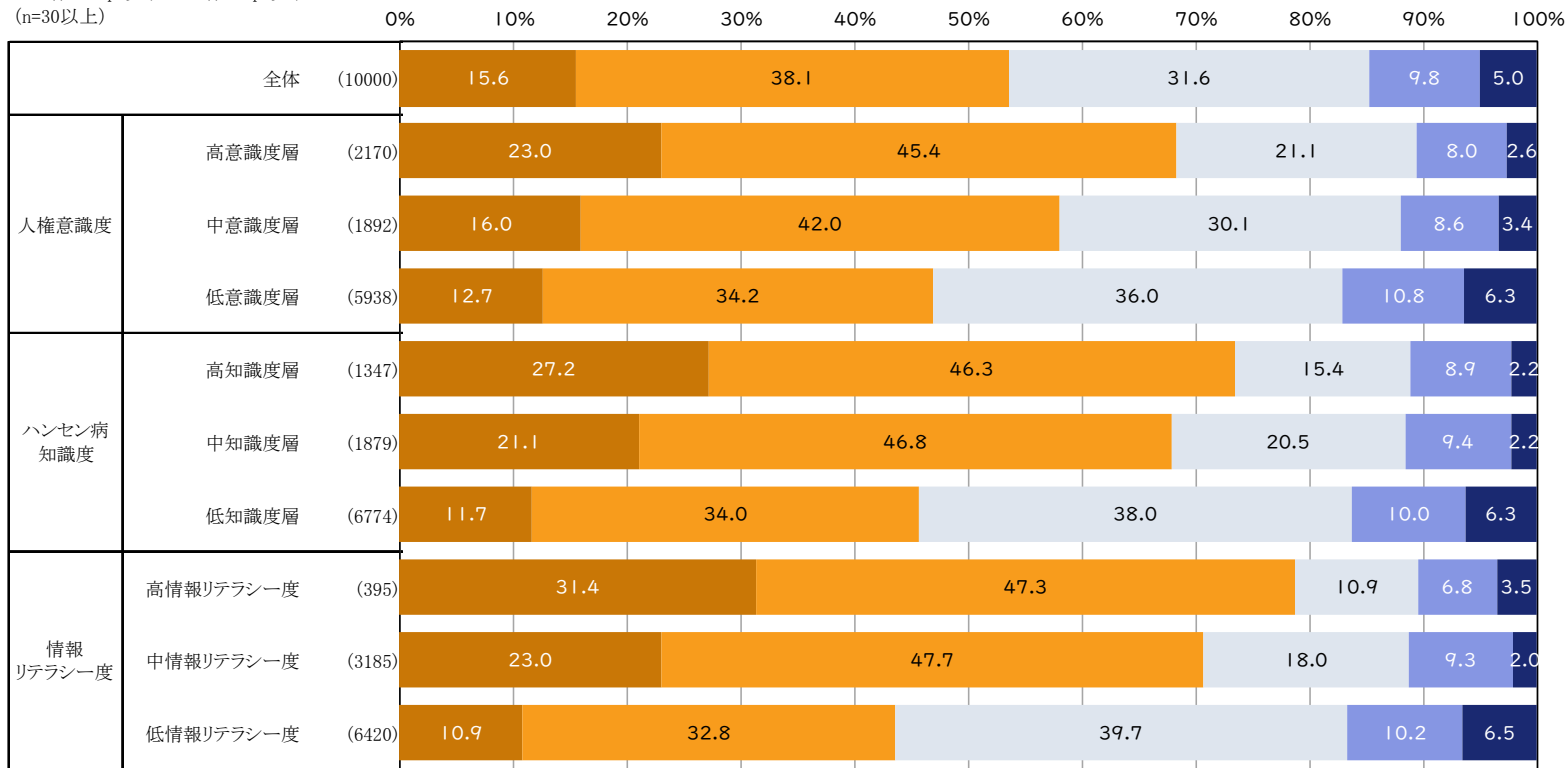
ウェブサイトの「デザイン・レイアウト」の見やすさ【セグメント別】

Q17_1 国立ハンセン病資料館ウェブサイトの「デザイン・レイアウト」は、見やすかったですか。 (SA)

- 人権意識度別で見ると、「高意識度層」は「見やすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病知識度別で見ると、「高知識度層」「中知識度層」は「見やすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別で見ると、「高情報リテラシー度層」「中情報リテラシー度層」は「見やすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。

■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上
■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下
 (n=30以上)

■ 見やすい ■ まあ見やすい ■ どちらともいえない ■ やや見にくい ■ 見にくい



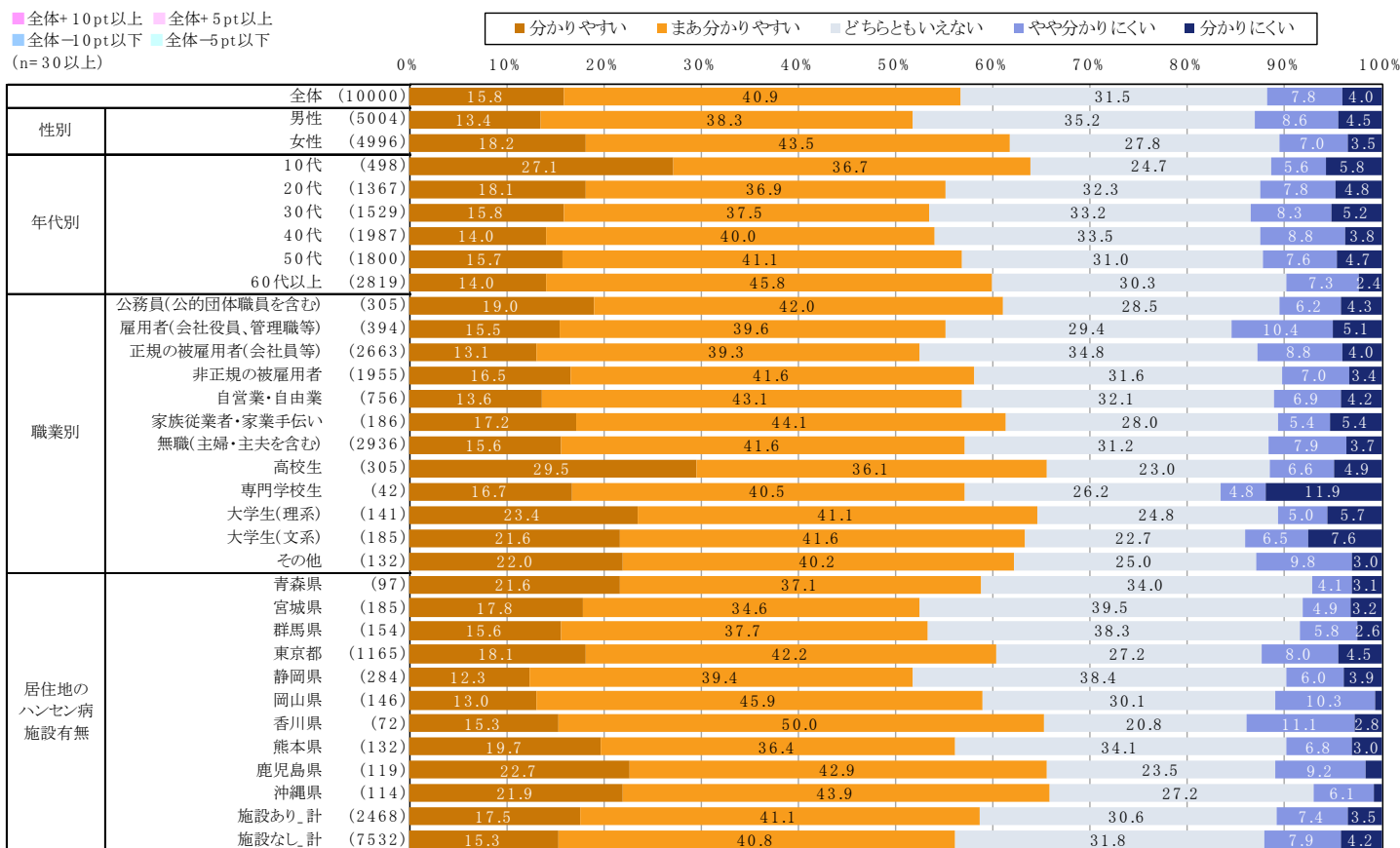
見やすい(計)	見にくい(計)
53.6	14.7
68.4	10.6
58.0	11.9
46.9	17.1
73.5	11.1
67.9	11.6
45.7	16.3
78.7	10.4
70.7	11.3
43.6	16.7

2%未満の数値ラベルは非表示

ウェブサイトの「内容」の分かりやすさ【属性別】

Q17_2 国立ハンセン病資料館ウェブサイトの「内容」は、分かりやすかったですか。 (SA)

- 年代別で見ると、「10代」は「分かりやすい(計)」の割合が全体よりも5p以上高い。
- 職業別で見ると、「高校生」「大学生(理系)」「大学生(文系)」は「分かりやすい(計)」の割合が全体よりも5p以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無別で見ると、「鹿児島県」「沖縄県」は「分かりやすい(計)」の割合が全体よりも5p以上高い。



属性	分かりやすい(計)	分かりにくい(計)
全体	56.7	11.8
性別	51.7	13.1
性別	61.7	10.5
年代別	63.9	11.4
年代別	55.1	12.6
年代別	53.4	13.5
年代別	54.0	12.6
年代別	56.8	12.2
年代別	59.9	9.8
職業別	61.0	10.5
職業別	55.1	15.5
職業別	52.4	12.8
職業別	58.1	10.3
職業別	56.7	11.1
職業別	61.3	10.8
職業別	57.2	11.6
職業別	65.6	11.5
職業別	57.1	16.7
職業別	64.5	10.6
職業別	63.2	14.1
職業別	62.1	12.9
居住地のハンセン病施設有無	58.8	7.2
居住地のハンセン病施設有無	52.4	8.1
居住地のハンセン病施設有無	53.2	8.4
居住地のハンセン病施設有無	60.3	12.4
居住地のハンセン病施設有無	51.8	9.9
居住地のハンセン病施設有無	58.9	11.0
居住地のハンセン病施設有無	65.3	13.9
居住地のハンセン病施設有無	56.1	9.8
居住地のハンセン病施設有無	65.5	10.9
居住地のハンセン病施設有無	65.8	7.0
居住地のハンセン病施設有無	58.6	10.9
居住地のハンセン病施設有無	56.1	12.1

2%未満の数値ラベルは非表示

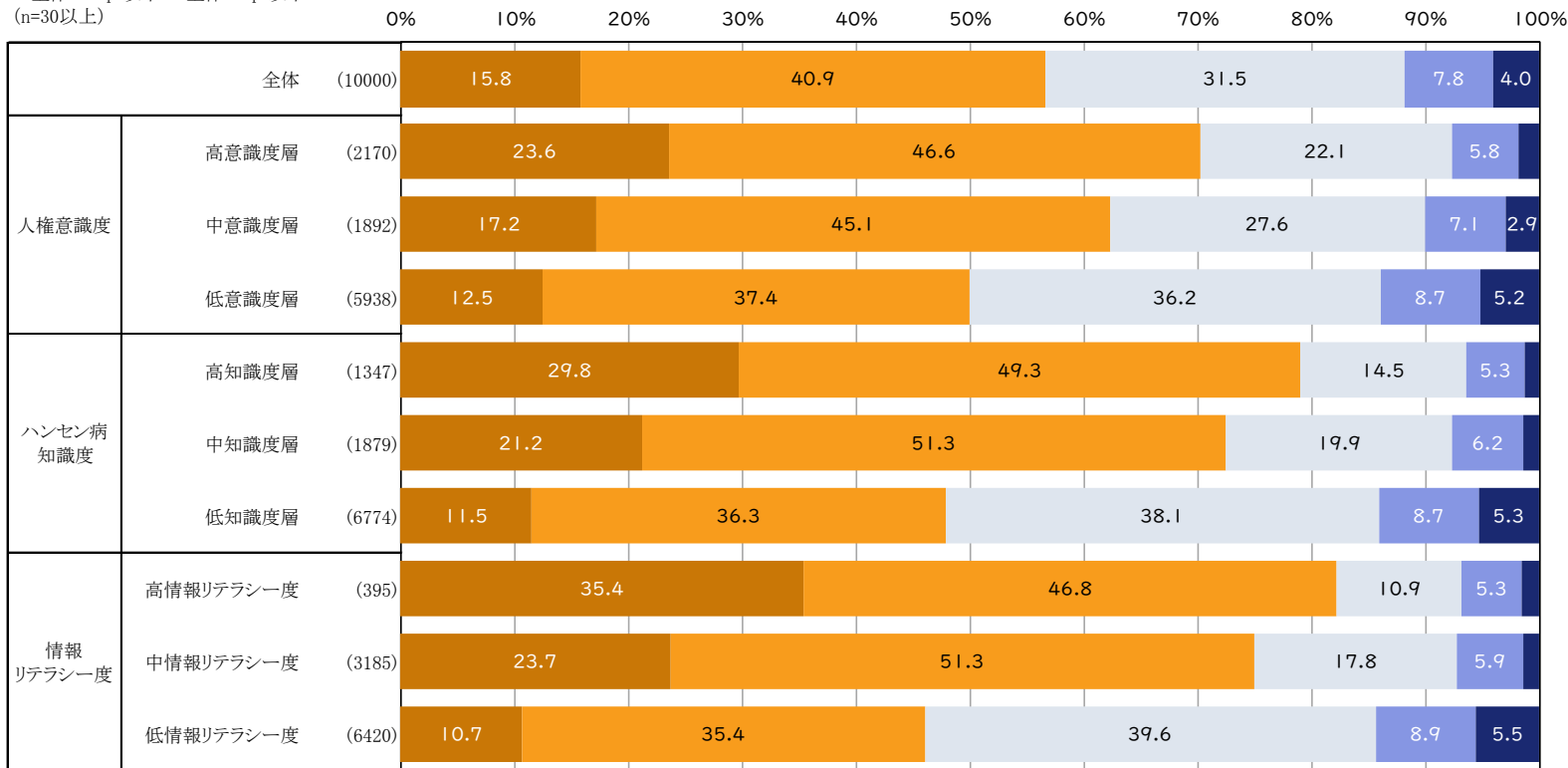
ウェブサイトの「内容」の分かりやすさ【セグメント別】

Q17_2 国立ハンセン病資料館ウェブサイトの「内容」は、分かりやすかったですか。 (SA)

- 人権意識度別でみると、「高意識度層」は「分かりやすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病知識度別でみると、「高知識度層」「中知識度層」は「分かりやすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別でみると、「高情報リテラシー度層」「中情報リテラシー度層」は「分かりやすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。

■ 全体+10pt以上 ■ 全体+5pt以上
■ 全体-10pt以下 ■ 全体-5pt以下
 (n=30以上)

■ 分かりやすい ■ まあ分かりやすい ■ どちらともいえない ■ やや分かりにくい ■ 分かりにくい



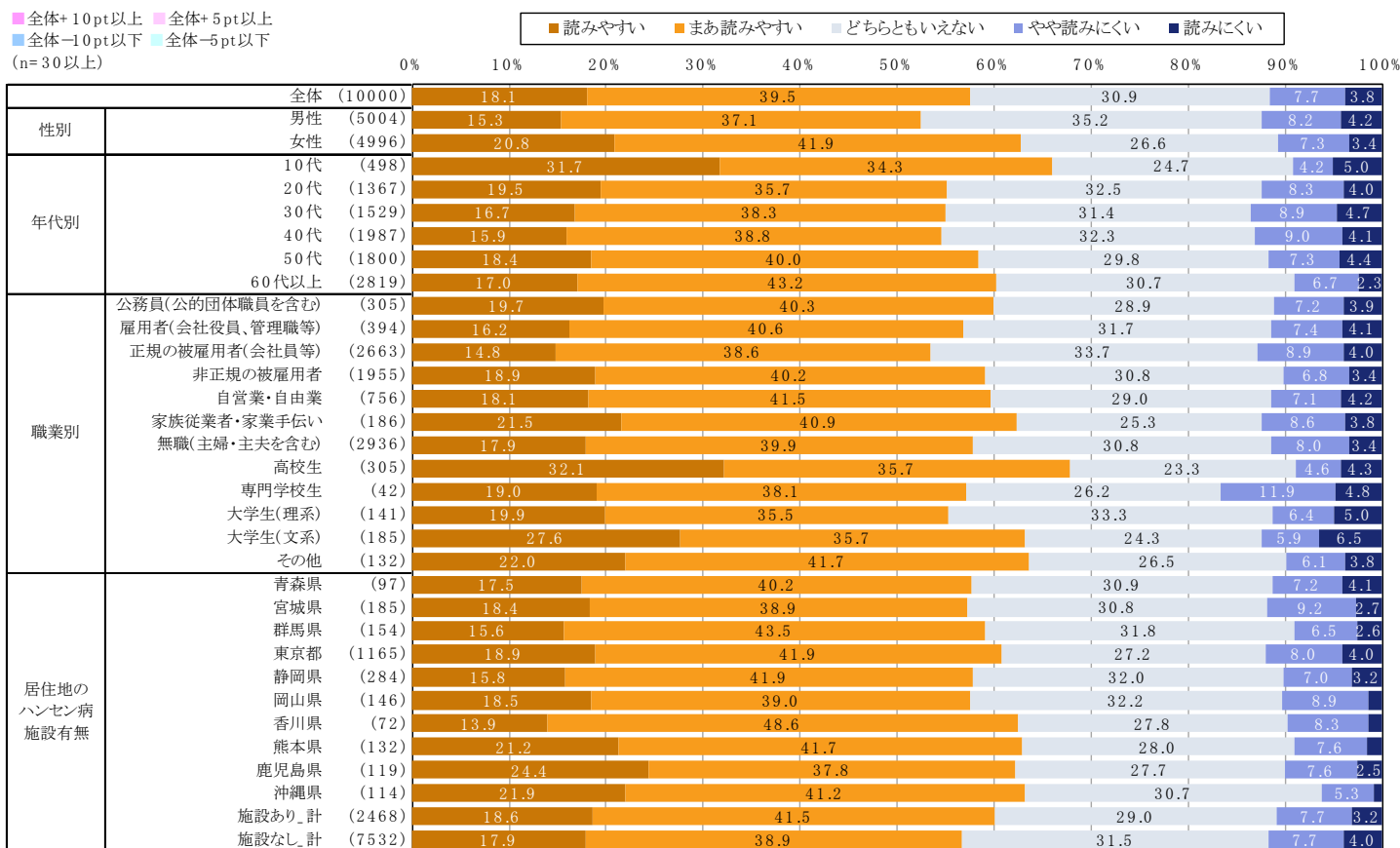
分かりやすい(計)	分かりにくい(計)
56.7	11.8
70.2	7.6
62.3	10.0
49.9	13.9
79.1	6.5
72.5	7.6
47.9	14.0
82.3	6.8
75.0	7.3
46.0	14.4

2%未満の数値ラベルは非表示

ウェブサイトの「文章」の読みやすさ【属性別】

Q17_3 国立ハンセン病資料館ウェブサイトの「文章」は、読みやすかったですか。 (SA)

- 年代別で見ると、「10代」は「読みやすい(計)」の割合が全体よりも5p以上高い。
- 職業別で見ると、「高校生」は「読みやすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。「大学生(文系)」は「読みやすい(計)」の割合が全体よりも5p以上高い。
- 居住地のハンセン病施設有無別では、「熊本県」「沖縄県」は「読みやすい(計)」の割合が全体よりも5p以上高い。



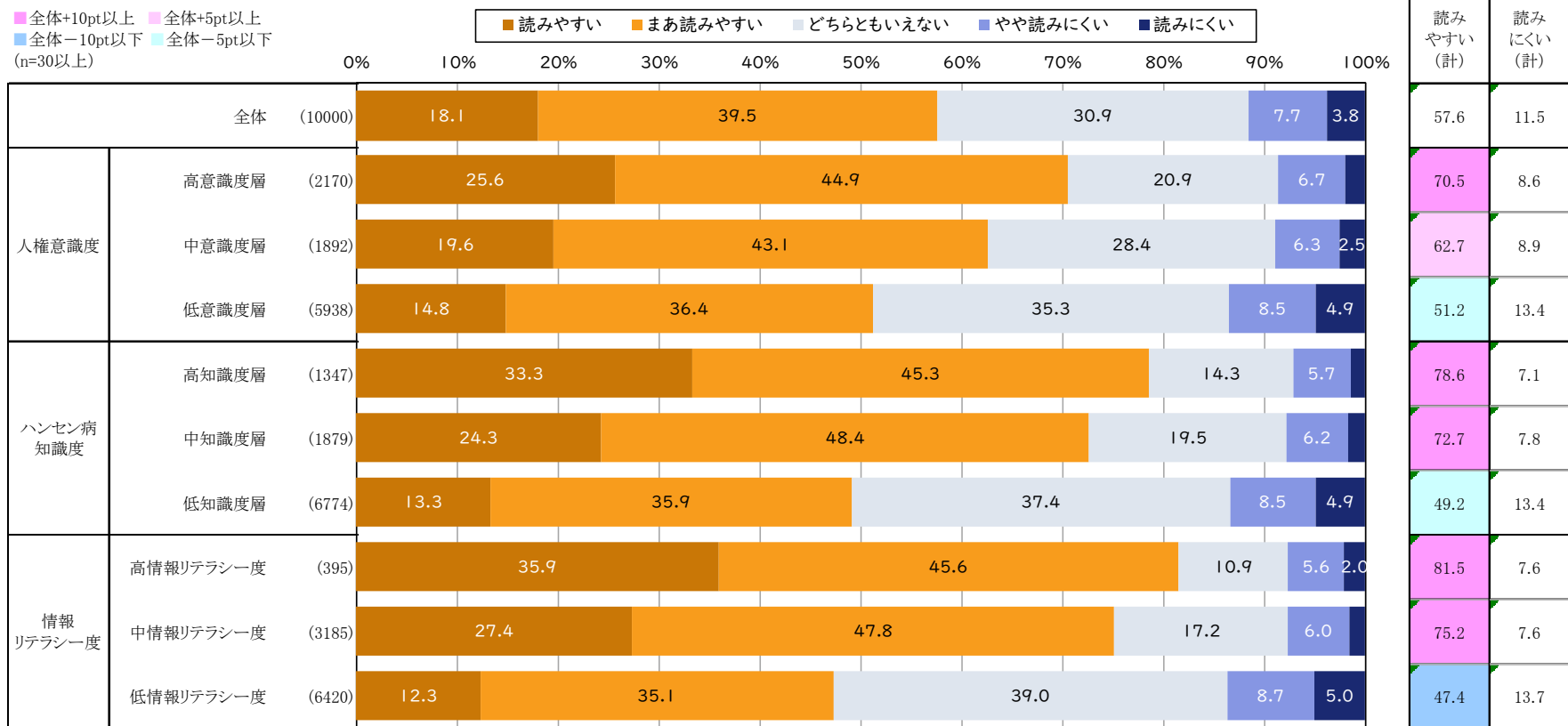
読みやすい(計)	読みにくい(計)
57.6	11.5
52.4	12.4
62.7	10.7
66.1	9.2
55.2	12.4
55.0	13.6
54.6	13.1
58.4	11.8
60.2	9.1
60.0	11.1
56.9	11.4
53.4	12.9
59.0	10.2
59.7	11.4
62.4	12.4
57.8	11.4
67.9	8.9
57.1	16.7
55.3	11.3
63.2	12.4
63.6	9.8
57.7	11.3
57.3	11.9
59.1	9.1
60.8	12.0
57.7	10.2
57.5	10.3
62.5	9.7
62.9	9.1
62.2	10.1
63.2	6.1
60.1	10.9
56.8	11.7

2%未満の数値ラベルは非表示

ウェブサイトの「文章」の読みやすさ【セグメント別】

Q17_3 国立ハンセン病資料館ウェブサイトの「文章」は、読みやすかったですか。 (SA)

- 人権意識度別で見ると、「高意識度層」は「読みやすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- ハンセン病知識度別で見ると、「高知識度層」「中知識度層」は「読みやすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。
- 情報リテラシー度別で見ると、「高情報リテラシー度層」「中情報リテラシー度層」は「読みやすい(計)」の割合が全体よりも10p以上高い。「低情報リテラシー度層」は「読みやすい(計)」の割合が全体よりも10p以上低い。



2%未満の数値ラベルは非表示

資料館に関するFA傾向まとめ

国立ハンセン病資料館のウェブサイトや各種サービス等への感想・意見

国立ハンセン病資料館のウェブサイトについての感想・改善点 ①

Q17_4：国立ハンセン病資料館ウェブサイト（SNSを含む）についての印象・感想や改善点、追加してほしい機能やコンテンツなどがございましたら、ご自由にお書きください。

デザイン・色彩についての印象・感想

- 画面の色がコバルトブルーで統一されていますがもう少し明るい色を使った方がいいと思う。冷たい印象を受ける。無理にカラフルにする必要はないと思うが、もう少し色数を増やして欲しい。
- サイトのベース色は青ではない方がいいと思う。青がイメージカラーだとしても、もう少し軽めの青色のほうが良い。動画のサムネイルも、もう少しライトな雰囲気のものでもいい気がしました。
- 青が濃くて少し暗い印象を受ける。もう少し明るめの表示をしてもいいと思う。暗い歴史だけでなく、将来や夢を見られるようなイメージがあってもいいと思う。
- 背景の青で文字が少しみづらい。
- サイト全体青い色が多くて、冷たいような、マイナスの印象が残った。

文字サイズ・レイアウトの印象・改善点

- 落ち着いたデザインとレイアウトで、ハンセン病を扱うにあたって誠実な印象を受けた。
- トップページで、もっとどこにどんな情報があるのか、はっきり分かるレイアウトになっているとより見やすいと思う。各ページの文字は大きくて読みやすいが、文字が多く読みにくい人もいるかもしれない。もっと図や絵などを入れると見やすいかもしれない。
- 全体的に文字の大きさを大きくしてほしい。ハンセン病の現在の罹患数や感染原因をイラストや図、グラフなどの用いて視覚的に分かりやすく説明すればもっと分かりやすくなると感じました。
- レイアウトが全体的に重く感じる。ポップに論じていいものではないが、もう少し明るさも欲しい。キッズコーナーをトップページにするほうが良いと感じる。

国立ハンセン病資料館のウェブサイトについての感想・改善点 ②

Q17_4：国立ハンセン病資料館ウェブサイト（SNSを含む）についての印象・感想や改善点、追加してほしい機能やコンテンツなどがございましたら、ご自由にお書きください。

コンテンツの分かりやすさ、改善点・追加してほしい機能

- まず「らい菌」などのワードでつまづいてしまった。これを分かるような説明(リンク)をして欲しい
- グローバルナビを追加してほしい。
- ハンセン病についてのLINE公式情報を追加してほしい。
- 青色を押すと知りたい情報にリンクして、分かりやすいデザインで初めてでも迷う事なく操作ができました。追加できそうであれば、ハンセン病を初めて知る人には写真や絵図などで初期から後遺症までの説明にもらえる周知しやすく記憶に残り、誰かに伝える力につながります。
- レイアウトの改善をしたほうがいいのかと思います。長崎で平和ボランティア活動をしているのですが、その活動でハンセン病をモチーフにしたデザインを手がけた画家の方の絵を衣装にしてハンセン問題を発信しているtenboさんというデザイナーの方も追加してほしいです。

サイト構造・情報の探しやすさについての改善点

- トップページにもっとハンセン病について書いたほうが良い。
- どこから見るのか分かりづらい。文字が動くのは、落ち着かない。
- 情報がカテゴライズ出来ていて見やすいが、知りたい情報への階層が深すぎる気がする。
- 見たい情報にすぐに辿り着けない。ハンセン病とは何かを知るのに何回かクリックしないと辿り着けなかった。
- 最初にまずハンセン病とはのリンクを出してほしいと思う。ハンセン病を知らない身からしてみれば一番知りたい情報だから、スクロールしなくても見れるようにしてほしいと思った。
- トップページ情報が下にスクロールしなきゃいけない感じが少し面倒に感じる。上のほうでタブによってほしい情報ページに飛べるようにすると見やすいのではないと思う。

国立ハンセン病資料館の展示や各種サービスなどについてご意見やご要望 ①

Q17_5：国立ハンセン病資料館の展示や各種サービスなどについて、ご意見やご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

周知・広報活動の強化

- 私のようにハンセン病を全然知らない人も多いと思うので、Webだけでなく、大きなショッピングモールや図書館、市役所などに専門的な展覧会/展示会をすれば、少しは理解が進むのではないのでしょうか。
- ハンセン病の隔離の事などは知っていたが、資料館があったことは知らなかった。ハンセン病の事は、学校とかで習わなかった。もっと全国にPRしてほしい。
- もっとTVCMなどを流したり、ポスターを貼ったりして、皆が資料館のことを知る機会を増やしてほしい。
- 私は大人になってから樹木希林さんの映画を見て初めてこの問題を知ったので、私より若い世代の人はさらに触れる機会がないと思います。ポップな広報はあまりしにくいテーマだと思いますが、SNSショート動画などを活用してみれば10代の方々にも届きやすくなるかもしれません。

教育現場での活用・学習機会の拡充

- 小学校の社会科見学で学ぶべき。
- 修学旅行の行程にハンセン病資料館の見学を入れてもいいのではないかと。
- ハンセン病資料館の存在を初めて知りました。この資料館の存在を知る人が日本国民どれだけいるのでしょうか。人権に関わる大きい事件の一つで生存者も少ないと聞いています。今の子供たちに知ってもらいたいです。遠足や修学旅行、何かのイベントのスタンプラリー等でこの資料館を知ってもらいたいです。
- 偏見や差別を現代社会でなくすためには、小さい時から正しいハンセン病の知識を教えていくしかないと思います。
- らい病については学校の授業で習った。その時感じたのは、感染者以外の人は怖がる必要も何もないことをしっかり悟った。歴史を知る上でもっと多くの人に知れるようにしてほしい。

国立ハンセン病資料館の展示や各種サービスなどについてご意見やご要望 ②

Q17_5：国立ハンセン病資料館の展示や各種サービスなどについて、ご意見やご要望などがございましたら、ご自由にお書きください。

展示内容・情報発信の工夫

- 直接来館できる人ばかりではないため、セキュリティ対策等をした上でオンライン上で展示内容の閲覧ができるようにしても良いと思う。
- 来館案内⇒フロアマップで、各フロアの写真が少し載っているが、一般の人が最初に興味をもって行くか行かないかを決めたり、行かなくてもWebで理解できるように、もっと写真を載せたりたほうが良いと思う。載せづらい写真もあるのかもしれないが、隠さずに真実を知らせるべきだと思う。
- 展示内容がとても丁寧で、歴史的背景や当事者の声がしっかり伝わってきました。一方で、初めて訪れる人にとっては情報量が多く、やや難しく感じる部分もあるため、もう少し要点を整理したガイドや映像解説があると理解しやすいと思います。また、オンラインでの展示紹介や講演動画などを充実させると、来館が難しい人にも学びの機会を広げられると感じました。
- ハンセン病患者の生の声をもっと聴きたいと思いました。

アクセス・開催地域の拡大

- 場所が遠すぎて行きづらい。
- 地方での広報も行ってほしい。
- 東村山は、すべての人が行きやすい場所ではなく、啓蒙の見地から立地に不利を感じる。移動展示、移動講演等の資金を国およびクラウドファンディングも含めて集め、定期的に全国レベルでの周知活動を行うべきだと思う。
- 実際に来館して展示を見たいが、なかなか行けない場所なので、全国各地への出前講座や展示をしてほしい。
- 説明文だけでなく、使われていた消防道具などがあるのが、生活が伝わってくる感じがありました。こちらの資料館に行きたいと思いましたが、遠くて行けません。移動資料館みたいな感じで、全国を回ってほしいです。